令和6年第1回大多喜町議会定例会

9月会議会議録

令和6年 9月3日 開会

令和6年 9月17日 散会

大 多 喜 町 議 会

令和六年 第一回定例会〔九月会議〕

大多喜町議会議録

令和六年 第一回定例会〔九月会議〕

大多喜町議会議録

令和六年 第一回定例会〔九月会議〕

大多喜町議会議録

令和六年 第一回定例会〔九月会議〕

大多喜町議会議録

令和6年第1回大多喜町議会定例会9月会議会議録目次

第 1 号 (9月3日)

出席議員	1
欠席議員	1
地方自治法第121条の規定による出席説明者	1
本会議に職務のため出席した者の職氏名	1
議事日程	2
開議の宣告	3
行政報告	3
諸般の報告	5
会議録署名議員の指名	7
一般質問	7
山田久子君	7
渡辺善男君	27
山口定夫君	37
吉野一男君	52
吉野僖一君	68
報告第11号の上程、説明	74
報告第12号の上程、説明	75
同意第12号の上程、説明、質疑、討論、採決	77
散会の宣告	78

第 2 号 (9月4日)

出席議員	79
欠席議員	79
地方自治法第121条の規定による出席説明者	79
本会議に職務のため出席した者の職氏名	79
議事日程	80
開議の宣告	82

議事日程の報告	82
議案第37号の上程、説明、質疑、討論、採決	82
議案第38号の上程、説明、質疑、討論、採決	84
議案第39号の上程、説明、質疑、討論、採決	88
議案第40号の上程、説明、質疑、討論、採決	91
議案第41号の上程、説明、質疑、討論、採決	94
議案第42号の上程、説明、質疑、討論、採決	95
議案第43号の上程、説明、質疑、討論、採決	97
議案第44号の上程、説明、質疑、討論、採決	115
議案第45号の上程、説明、質疑、討論、採決	116
議案第46号の上程、説明、質疑、討論、採決	119
議案第47号～議案第52号、報告第13号及び報告第14号の一括上程、説明	120
日程の追加	150
議案第53号の上程、説明、質疑、討論、採決	150
散会の宣告	152

第 3 号 (9月17日)

出席議員	155
欠席議員	155
地方自治法第121条の規定による出席説明者	155
本会議に職務のため出席した者の職氏名	155
議事日程	156
開議の宣告	157
行政報告	157
諸般の報告	158
議事日程の報告	158
議案第47号の質疑、討論、採決	158
議案第48号の質疑、討論、採決	167
議案第49号の質疑、討論、採決	168
議案第50号の質疑、討論、採決	168

議案第 5 1 号の質疑、討論、採決	169
議案第 5 2 号の質疑、討論、採決	170
休会について	171
散会の宣告	171
署名議員	173

第 1 回大多喜町議会定例会 9 月会議

(第 1 号)

令和6年第1回大多喜町議会定例会9月会議会議録

令和6年9月3日(火)

午前10時00分 開議

出席議員(12名)

1番	渡辺善男君	2番	麻生勇君
3番	野村賢一君	4番	末吉昭男君
5番	根本年生君	6番	吉野僖一君
7番	山田久子君	8番	渡辺八寿雄君
9番	山口定夫君	10番	森久君
11番	吉野一男君	12番	渡邊泰宣君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定による出席説明者

町長	平林昇君	副町長	西郡栄一君
教育長	佐久間靖夫君	代表監査委員	滝口延康君
総務課長	麻生克美君	企画課長	米本敏克君
財政課長	君塚恭夫君	税務住民課長	西川栄一君
健康福祉課長	長野国裕君	建設課長	市原芳則君
農林課長	秋山賢次君	農林課主幹	森芳博君
商工観光課長	渡邊陽二君	環境水道課長	小高一哉君
会計室長	須藤明実君	教育課長	吉野正展君
生涯学習課長	木島丈佳君		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

事務局長	宮原幸男	書記	市原和男
書記	佐藤さおり		

議事日程（第1号）

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 一般質問

日程第 3 報告第11号 継続費精算報告書について

日程第 4 報告第12号 専決処分の報告について

日程第 5 同意第12号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

◎開議の宣告

○議長（渡邊泰宣君） おはようございます。

心配された台風も温帯低気圧になりましたけれども、まだまだ雨が続くようで、稲刈りの残っている方は、ちょっと心配ですが心情を察します。

本日は、令和6年第1回議会定例会9月会議を招集しましたところ、議員各位をはじめ、町長及び執行部職員の皆様には、ご出席をいただきまして誠にご苦労さまでございます。

また、滝口代表監査委員には、ご出席をいただきまして誠にご苦労さまでございます。

ただいまの出席議員は12名全員です。したがって、会議は成立しました。

本日は、休会の日ですが、議事の都合により、令和6年第1回大多喜町議会定例会を開催いたします。

なお、大多喜町議会会議規則第103条により、議場に入るときには、帽子、外套、襟巻、つえ、傘等の持ち込みについて、私のほうに許可を取ることになっておりますので、6番吉野僖一君につきましては、つえの許可をいたしましたのでご承知願いたいと思います。

（午前10時00分）

◎行政報告

○議長（渡邊泰宣君） 日程に先立ち、町長から行政報告があります。

町長。

○町長（平林 昇君） それでは、令和6年第1回議会定例会9月会議の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げさせていただきたいと思います。

本日は、令和6年第1回議会定例会9月会議を再開させていただきましたところ、議長をはじめ、議員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

行政報告につきましては、お手元に配付させていただきました報告書のとおりでございますので、これによりご了承いただきたいと存じ上げます。

初めに、パリオリンピックが開催され、日本代表選手の活躍にも多くの感動等を頂きましたが、昨年度に引き続き、本町の大多喜中学校の柔道部が、夏の県大会において、女子が優勝、それから男子が準優勝という快挙を成し遂げてくれました。個人戦におきましても、女子が優勝1名、男子が準優勝1名と、それぞれの階級ですばらしい成績を収めていただきま

した。そして千葉県代表として出場した神奈川県で行われました関東大会では、女子が団体で5位、敢闘賞を受賞、その後長野県で行われました全国大会では、今回準優勝したチームとの試合で敗れてしまい残念ながらベスト16には届きませんでしたが、いずれも県の代表として素晴らしい成績を収めていただきました。このことにつきましては、昨年度に引き続き、本町にとって大変誇らしく喜ばしいことであり、本町の宝である子供たちから、とても大きなプレゼントを頂いたことへの感謝と、学校の先生方やご家族の方、指導者として頑張っている全ての関係者の皆様に改めて心より御礼を申し上げたいと思っております。

さて、今回の定例会の会議事件でございますが、本日は一般質問が行われますが、継続費精算報告、専決処分報告、それから人事案件を提出させていただき、明日4日は、条例の一部改正、関係団体の規約の一部改正、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の補正予算を提出させていただいております。

議事日程の最終日には、令和5年度の各会計の決算認定をいただきたく、提出をさせていただきます。

ここで令和5年度の決算概要につきまして若干述べさせていただきます。

一般会計の主要事業といたしましては、地域通貨事業、物価高騰等に伴う重点支援事業、子供医療対策事業、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保及び対策事業、基幹農道整備事業、有害鳥獣駆除対策事業、面白峡遊歩道整備事業、観光施設整備事業、町道維持管理事業、町道改良事業等々を行っております。

教育関係では、西小学校の屋外運動場の暗渠排水に係る改修工事、また大多喜小学校では駐車場整備工事などを実施させていただきました。

さらに、昨年9月の台風13号の暴風雨などにより、被災した公共土木施設及び農地、農業用施設などの災害復旧費が主なものでございます。

このように臨時的な事業も含め、一般会計の歳出決算額は、前年度対比8.5パーセント増の64億4,633万8,000円となりました。

特別会計につきましては、それぞれの目的に沿った決算となっております。

水道事業会計では、水を安定供給するため、老朽化した配水管の布設替工事などを実施したところでございます。

なお、それぞれの決算に対する財政の健全化の指標につきましては、いずれも早期健全化基準の範囲であり、財政の健全化が図られているところでございます。

結びに、各議案とも可決、ご承認くださいますよう心よりお願いを申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） これで行政報告を終わります。

◎諸般の報告

○議長（渡邊泰宣君） 次に、諸般の報告であります。第1回議会定例会6月会議以降の議会関係の主な事項は、お配りしました印刷物によりご了承願いたいと思います。

なお、このうち、8月30日に、第2回夷隅郡市広域市町村圏事務組合定例会が開催されました。

この件について、11番吉野一男君から報告願います。

○11番（吉野一男君） それでは報告いたします。

令和6年第2回夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会が8月30日10時に消防本部の会議室において招集され、渡邊泰宣議長、野村賢一議員、私と3人で出席しましたので、ご報告させていただきます。

議案第8号 令和6年度夷隅郡市広域市町村圏事務組合一般会計補正予算（第1号）については、事務局のあるいすみ市農林業センターの電気契約名義を組合に変更したことに伴う予算の組替え及び千葉県消防学校の初任科教育課程に4名分の受入れが可能となったことから、旅費及び研修会負担金を増額するものです。

債務負担行為の設定については、24時間電話健康医療相談事業を途切れることなく実施するため、年度内に業者選定を行い、令和7年4月1日から3年間の複数年契約をしようとするもので、限度額を1,800万円とするものです。

続いて議案第9号 令和5年度夷隅郡市広域市町村圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定については、歳入総額は20億8,431万5,969円、歳出総額は20億1,854万495円で、歳入歳出差引額は6,577万5,470円となりました。

次に、本案に関し、監査委員の花崎喜好氏から、令和5年度夷隅郡市広域市町村圏事務組合一般会計の歳入歳出決算については、去る7月22日に実施した審査結果の報告があり、適法、適正に執行されており、かつ計数も正確でありました。

よって、令和5年度夷隅郡市広域市町村圏事務組合一般会計歳入歳出決算は、適正であると認めたところです。

続いて、議案第10号 財産の取得について及び議案第11号 財産の取得について一括して説明があり、議案第10号については、岬分署に配備している水槽付消防ポンプ自動車は15年を経過したため更新整備をするものであります。

契約の相手方は、株式会社モリタ東京支店、支店長、山北忠司氏であります。

続いて、議案第11号については、御宿分署に配備している災害対応特殊救急自動車が10年を経過したため、更新整備するものであります。

契約の金額は3,959万8,000円、契約の相手方は千葉日産自動車株式会社、代表取締役、横田好之であります。

続いて、報告第1号 令和5年度夷隅郡市広域市町村圏事務組合一般会計繰越明許費繰越計算書について、繰越しをした事業は、消防本部空調設備改修工事で、改修に当たり、内部配線の調査及び設計等に時間を要し、年度内での工事完了が見込めないことから繰越しをしたもので、繰越額は1,364万円であります。

全議案とも全員賛成で可決及び認定されました。

以上で、令和6年第2回夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会の報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

次に、監査委員から、6月25日、7月25日及び8月26日に実施しました例月出納検査の結果の報告がなされています。お手元に配付の報告書の写しにより、ご了承願います。

これで諸般の報告を終わります。

次に、本9月会議の審議期間は、本日から9月17日までとします。本日と明日4日、明後日5日、そして17日を本会議開催日とし、この間、10日と11日に総務文教・福祉経済合同常任委員会協議会を開催する予定です。

10日は総務文教常任委員会が所管する事務、11日は福祉経済常任委員会が所管する事務について、決算の内容説明を受けることとしています。執行部の皆様にはよろしく願います。

また、議会報編集のため、議会事務局職員による写真撮影を許可したので、ご了承願います。

それでは、お配りしています議事日程に従い、議事を進めてまいります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（渡邊泰宣君） これから日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、

6番 吉野 僖一 君

7番 山田 久子 君

を指名します。

◎一般質問

○議長（渡邊泰宣君） 日程第2、一般質問を行います。

通告順に発言を許します。

◇ 山田久子君

○議長（渡邊泰宣君） 初めに、7番山田久子君の一般質問を行います。

7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 皆様おはようございます。7番山田久子でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

本日は、大綱4点にわたり質問させていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに大綱1、命を守る熱中症対策として「高齢者等エアコン購入費設置費助成制度」の創設についてお伺いをいたします。

この夏も、猛暑による熱中症対策が、連日のように発表をされておりました。夷隅郡市広域市町村事務組合消防本部内でも、熱中症、疑いを含むによる救急搬送が見られ、8月2日から8月8日で見ますと、軽症4件、中症1件、8月22日から8月25日では、重症1件、軽症1件の搬送報告が発表されております。

発生状況別、市町村別、そのほかの日の状況を、ちょっと調べ切れませんでしたので、参考までということでお話をさせていただきます。

大多喜町は、比較的自然が豊かな地域でありますので、以前は窓を開け、風を通しながら扇風機を使用することで、夏の暑さをしのぐことができていたように思います。しかしながら、今年のような暑さでは、扇風機では熱風をかき回しているような状況となっております。

熱中症の約4割は、自宅で発症しているとのデータもございます。熱中症対策では、室内

ではエアコンの使用をと呼びかけておられますが、エアコンの設置がされていないご家庭もあるようでございます。新たに設置を考えても、経済的に難しい世帯もあるようです。

この猛暑は、来年の夏以降も予想されますことから、このようなことから、熱中症から命を守るためにも、自宅にエアコンが設置されていない、または現在壊れてしまっていて使用できるエアコンが1台もないご高齢者や障害者、低所得世帯の方にエアコン購入費の助成をしてはどうかと考えますが、町の見解をお伺いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（長野国裕君） ただいまのご質問に、健康福祉課からお答えさせていただきます。

近年の夏の猛暑については、議員の言われるとおり、以前と比べものにならないくらい暑いと感じる方が多いと思います。熱中症警戒アラートについても、連日のように発表されている上、これまでと違い夜になっても気温が下がらない日も多くなっています。そのような状況において、熱中症予防対策は大変重要なものと考えます。

エアコン等空調機の設置については、体調管理の上でも必要があると思われませんが、エアコンはあくまで個人の財産であり、助成が受けられる人と受けられない人との不公平感が生まれないようにする必要があるなど、助成の実施については慎重な判断が必要となります。

エアコンが設置されていない方や、設置されていても故障などで使用できない方がどの程度いるのか、その辺の事情を比較的把握していると思われる民生委員などから情報を収集し、需要を確認したいと思います。

また、対象者の資格要件や助成内容等について、近隣の自治体や先行実施自治体などを参考に助成制度についても考えたいと思います。

さらに、助成制度に限らず早急な対応が必要な案件がある場合には、個別での対応を考えたいと思います。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 今のお話ですと個別、緊急性がある場合には個別で対応を考えていただけるということで、そこの辺については本当にありがたいと思います。

以前に、経済対策で、省エネエアコン等の買換えということで助成をしたという、ちょっとそういった例もあったかなと思う、ちょっと観点は違うかもしれませんが、そういったものもあったと思います。

実際に、ほかの自治体さんで、このエアコンの助成を実施されているところも幾つかあるようでございますので、今後そういったところも検討していただきながら、ぜひ、もう少し前向きに、お金のないとか本当に困っている方は、たとえ1万でも2万でも助成していただけることによって助かるということもあるようでございますので、場合によっては省エネエアコン、省エネエアコンですと、その後の電気代も助かりますので、そういったものも含めながら、再度ご検討を、引き続きよりよい方向でご検討いただくことができればと思うところですが、いかがでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（長野国裕君） ただいま議員さんおっしゃっているように、今後の対応については、個別に、本当にもう差し迫って、体調管理等で、もうサポートとか必要な案件については、もうその都度対応しているところでございます。

ただそれ以外の家庭について、やはり不公平感、先ほどからの繰り返しになりますけれども不公平感等がない、不公平感等生まれないような対応を考えながら、少し考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） よろしく申し上げます。なかなか命に関わるので難しい答弁になっちゃうと思っておりますけれども、ぜひよろしくお願ひいたします。本当に困っている人もいるというところは、本当に覚えておいていただきたいなというところでございます。

次に、大綱2、観光対策として「千葉県中央博物館大多喜城分館研修室の展示内容の強化」についてお伺いをいたします。

先日も熊谷知事が、分館の研修室を視察して下さったようで、Xで投稿して下さってあったんです。またぜひ来てくださってというふうに呼びかけもして下さっていて、本当にありがたいなと思っておりました。

「城と溪谷の町」をうたっている本町にとって、県中央博物館大多喜城分館の長期休館は、観光面においても、町の活性化の面でも、大きな痛手となっていると思われまます。

そこで、現在開放されている研修室の展示内容を、もう少し強化し、見学場所として、今以上に訪れていただけるようにすることはできないかと考えます。

例えば、展示内容の一つの案として、昨年、令和5年に、メキシコ、クエルナバカ市と姉妹都市提携45周年記念事業を、町の保健センターにて実施をいたしました。このときの展

示を研修室で常設展示をしてはと思いますが、町の見解をお伺いたします。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） 山田議員のご質問につきまして、商工観光課からお答えさせていただきます。

現在、見学が可能な研修室の展示内容を強化してはどうかということでございますけれども、この施設は、ご存じのとおり、千葉県の所管により運営されております。

研修室の展示内容につきましては、千葉県立中央博物館大多喜城分館に確認したところ、現在、大多喜城と城下町をテーマとしたパネル展示や千葉県下の中世お城の分布図、それから本多忠勝の人物絵図、複数の甲冑や着物の展示を行っているとのことでございます。

今後、現在の展示内容を定期的に入れ替えるなどの考えがあるか聞いたところ、今のところ大きな変更は行わないとのことございました。

また、山田議員のご提案のメキシコ、クエルナバカ市と姉妹都市提携45周年記念事業で製作し、御宿沖で難破した母国に帰すまでの史実に基づいた屏風を展示したらどうかということでございますけれども、千葉県に確認したところ、前向きに考えていきたいとの回答をいただきました。

町としましても、ご提案のあった屏風設置につきましては、千葉県と協議を行っていきたいと考えております。

以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

私も今の展示を、ちょっと見させていただいたんですけれども、やはり、ちょっと寂しいかなっていう感じがしました。

なのでもう少し皆さん、町のことを分かっている方は、本当にこれ見て勉強になります、とても素晴らしい展示だと思うんですが、観光客の方がちょっと来て見ていただくには、もう少し簡単になっていうんじゃないんですけれども、もう少し、言葉は悪いんですけれども、何かちょっともう少し分かりやすいっていうか、目で見て分かるとか、ちょっと触って分かるとか、そういった分かりやすい展示、またもう少し華やかな展示のほうが何かいいのかなというふうに感じたところでございます。

県のほうからもご協力をいただけるということでございましたので、今後、休館中だけじゃなくて、もう博物館が再開後の、この大多喜町の、このお城のアピールにもつながるよう

な、そういった展示っていうか、そういった内容も含めながら考えていただいてやっていただけるとよろしいのかなと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

次に、大綱3、子育て支援について伺います。

本町では、「特色ある保育園」を人口減少対策の取組の一つとして考えております。

そこで、子育て支援の一層の充実に向け、以下の事業を実施してはどうかと考えることからお伺いをいたします。

初めに、保育園の給食費の主食の提供と、その無償提供についての実施についてでございます。

現在、副食は給食として提供していただいておりますが、主食は各家庭から持参しております。この主食を給食として提供していただき、子育て世帯の朝の忙しさの軽減につなげてはどうでしょうか。

また、この主食にかかる費用を町で負担していただき無償提供していくという考えはないかと思いますが、町の見解をお伺いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） それでは、教育課のほうからお答えをさせていただきます。

今、山田議員もおっしゃるとおり、現在保育園におきましては、3歳児以上の副食費、いわゆるおかずですけれども、これは実費負担としており、主食、御飯はご自宅から持参していただいております。

また、3歳児未満につきましては、主食は既に提供しており、副食と共に保育料として頂いているところでございます。

ご質問の3歳児以上の自宅から持参している主食、御飯を保育園で提供すること、またこれを無償とすることについてのご質問ですけれども、町では現在、庁内の関係部署の担当者により、継続的に人口減少の抑制や地域社会の活性化を図ることを目的に、移住支援推進会議というものを設置し、保育園の給食につきましても、その中で協議をしているところでございます。

このことから、今後、主食の提供等につきまして関係課と協議をしてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 直接、町長にお考えをお伺いさせていただきたいと思うんですが、町

長いかがでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） ただいまの山田議員の質問でございますけれども、実は山田議員からお話をいただく以前に、私のほうからお願いしている、この移住支援推進会議という中で、どのようにしたら若い世代の方たちが、もっともっと移住してくれるだろうかという話合いの中の一つに、このお弁当の問題が実は出ておりました。

既にもう大体どのくらいの予算でできるのか、それから保育園の中の給食センターといえますか食事を作っているところに、スタッフに、過度な仕事の配分が増えないか等々いろいろと見てまいっております。

基本的には、イッカセイのところでは器具の購入等々に約100万ぐらいかかるかな。それから、お子さんたちの人数からすると、大体御飯が、1年間で大体100万ぐらいかかるかなということもありますので、基本的にはどうもいけそうかなということは今考えてはおりません。

ただ、今の段階でやりますとは、ちょっと言い切れませんので、4月以降の流れに向けて、前向きには、今ちょうど担当課とも、まず検討を重ねている次第でございますので、4月頃には乞うご期待でお待ちいただければというふうに考えております。

本当に、今各担当課が、担当課だけじゃなくて、いろいろな担当課とみんなでぶつけ合って、どんな形で多くの移住者を呼んでいこうか、そのために、今までの大多喜町にない新しい流れをつくりたいということで一生懸命やってくれていますので、もうしばらくお待ちいただければありがたいと思っております。よろしくどうぞお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

何か町長から少し希望の見えるお話を伺ったところでございますけれども、次に希望が見えたところで、もう一つずうずうしく、お願いをさせていただきたいと思っているんですが、次に保育所の給食費、3歳児以上の副食費の無償化ということについてお伺いをしたいと思っております。

もしかしたらもう既に町長のほうでお考えをいただいている中に含まれているかもしれないんですが、本町では、小中学校の給食費の無償化を、ほかの自治体に先んじて実施をされた経緯があると思います。今では多くの自治体で実施されてきております。

そのような中、最近近隣の自治体で、保育所等の給食費の全額免除が実施されてきており

ます。このことから、本町でも、給食費の副食費の無償化を実施してはどうかと思いますが、町の考えをお伺いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 3歳児以上の副食費、おかずにつきましては、材料費分の実費を保護者にご負担をいただいているところでございます。

先ほど主食についてお答えをさせていただきましたが、この副食費につきましても、関係課と今後協議してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 度々の質問で恐れ入ります。町長、続きまして副食費、どのようにお考えになるか、お考えをお伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） 3歳児以上の副食費の件でございますので、これにつきましても、今鋭意、最終的な数字の合わせに入っておりますので、基本的に簡単にやりますよとは言い切れるところではございませんけれども、なるべく前向きには考えていきたいなど。そうすることによって、多くの若い世代が、大多喜に残る、移住するという決断に至るのであれば、基本的には前向きな方向性もいいのではないかというふうに、今考えている段階でございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。希望の持てるご回答をいただきまして、感謝申し上げます。

本当に、若い方の情報の入手というのは、比較的本当に無視しがたい、早くて、比較をするという部分では本当にたけているものがありますので、やはり今、町長がおっしゃられたように、移住や転居などを考える際の比較の要素に考えられてしまうということも大きいものもあるのかなというふうにも感じるところでございます。

それから、あまりこれは、お金のかかる問題でございますけれども、この少子化という今の状況の中において、子育ては子供もいない人もみんな、みんなできり組むんだ、みんなできり合っていくんだという考え方も出てきている今の時代背景もあるのかなと思いますので、ぜひよろしくお伺いしたいと思います。

それでは最後に、大綱4の質問に移らせていただきます。

防災・減災・発災時対策についてお伺いをさせていただきます。

9月1日は防災の日であり、8月30日からの1週間は防災週間です。町長はじめ職員の皆様、関係者の皆様には、日頃より災害対策、災害復旧にお取り組みをいただき、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、自然災害の発生が連日のように報道されております。今までも質問させていただいてまいりましたが、能登半島地震など各地の災害現場の教訓なども含め、本町の対策について改めて考えをお伺いさせていただきます。重複することがありましたらお許しをいただきたいと思います。

初めに、中項1、緊急輸送道路である「基幹農道」の橋の耐震補強が実施をされますが、道路のり面の点検や対策はどのように町は考えているのか、お伺いをさせていただきます。

○議長（渡邊泰宣君） 森農林課主幹。

○農林課主幹（森 芳博君） ただいまのご質問に対し、農林課からお答えさせていただきます。

基幹農道の点検については、国土交通省が定める点検要領に基づき、橋梁、トンネル、道路のり面、道路舗装の定期点検を5年に1回の頻度で実施しています。

ご質問のありました道路のり面の点検につきましては、令和2年度に川畑平沢線と平沢田代線の2路線に存在する道路切土のり面及び盛土のり面の21か所の点検を実施しております。

この点検結果では、健全で工事等の必要がない箇所が5か所、経過観察が必要な箇所が14か所、早期に工事等の措置が必要な箇所が2か所という結果となりました。

その結果から、早期に措置が必要となった2か所については、点検結果に基づきまして、令和4年度に、のり面保護工事や土石流対策工事を実施しております。経過観察が必要となりました14か所につきましては、定期点検以降、定期的な道路パトロールなどを行っております。

また、今後の対応としましては、この21か所について道路パトロールなど、維持管理に加え5年に1回の頻度で実施する定期点検を計画的に実施し、安全性の確保に努めてまいります。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

今ご答弁いただきまして、令和4年度に対応していただいた箇所になるのではないかと
思うんですが、橋沢トンネルの脇からかなりの、雨が降るとかなりの流水量の水が噴き出
しているという状況がいまだに見られるのかと思うんですが、水は山から回ってくる
ので仕方ないと思うんですけれども、木ですとか土砂とか、ここは随分流れたと思
うんですけれども、その辺の部分は、もうこれで、取りあえず大丈夫というふう
に考えさせていただいてもいいんでしょうか。鉄砲水のように今も、流れ出
ている状況、目にしているんですが、この辺はどうなんですか。

○議長（渡邊泰宣君） 森農林課主幹。

○農林課主幹（森 芳博君） 今のご質問の橋沢トンネルの付近なんですが、沢がありまして
そこにやはり水が集まってきます。

それで、山の流木等も一どきに流れてきておりましたので、そこに頑丈なフェンスを設
置しまして、流木等が道路に流れ出ないように工事の対策をしております。

それによって水のほうも、以前のように道路に出るようなこともなく、現状は落ち着い
ているという状況ですので、大丈夫だとは思いますが。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 分かりました。ありがとうございます。

今のお話で、そうしますと、基幹農道も、これから全体的な安全面も含めて、段階的に整
備をしていく状況にあると、このように受け取らせていただいているものによ
ろしいものでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 森農林課主幹。

○農林課主幹（森 芳博君） 安全性は確保しつつ維持管理のほうに努めてまいりたいと思
います。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 基幹農道なんですけれども、行政の皆様が悪いということじゃなく
て動物の影響もかなりあります。あるかと思っております。動物が上り下りしている関係で
崩れてしまって、そこに雨が降ると一気に流れてしまうというような形で、行政のほうでは、
都度都度いろいろ対応して下さって本当に手を加えていただくんですけれども、やるとそ
の隣がまたそういうふうになるというような形で、もう際限のないような形が今生まれてい
るような状況もあります。

先ほどの話で、点検をしていただいているということですのであれなんです、小さな崩落はもう頻繁に、見られているという、ちょっとそんな状況がございます。

しかしこの道路、比較的通行量もそれなりにありますので、先ほどご答弁いただきましたように、日常の点検や早めの、そういったものを見つけたときには、早めの警告などにも気をつけていただきながら管理をしていただくことができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、中項2、千葉県は、先般、各自治体の「孤立地域」を発表いたしました。本町の孤立地域の状況と災害の発災前、または発災後の対策はどのように考えているのか、お伺いをいたします。発災前というのは平時というところも含めましてお伺いできればと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問につきまして、総務課からお答えさせていただきます。

初めに、千葉県が発表した孤立地域の調査目的等につきましてご説明させていただきます。

令和6年能登半島地震では、地震に伴う土砂災害等の発生により、石川県で多数の孤立集落が発生し、本県も石川県と同様の半島性を有していることから、孤立集落対策の必要性が改めて認識されたところでございます。

これを受け、本県の自然災害による孤立集落対策の検討のため、国の過去の災害時の調査手法を参考に、農林業センサスにおける統計上の農業集落等を基準に調査を実施したことから、本町の行政区とは、一部異なっている区域もございます。

そして、この調査内容に基づきまして、土砂災害警戒区域等に隣接している対象集落で、全てのアクセス道路の一部区間が途絶される可能性があると判断した本町12地域を、孤立の可能性集落として報告をさせていただいたところでございます。

次に、孤立集落への対策事業である千葉県孤立集落対策緊急支援補助金の補助対象内容についてご説明をさせていただきます。

補助対象事業につきましては、避難環境の強化として、備蓄品等の整備に要する経費やライフラインの確保として、通信手段の確保、発電機、蓄電池等の整備などのハード対策や、自助、共助の推進、対応能力の向上に係るソフト対策と、幅広い事業分野が補助対象経費に含まれているところでございます。

補助金につきましては、補助率2分の1以内で、ハード対策事業は1集落当たり100万円が上限で、事業の実施期間は令和8年度までの3か年を集中的に支援するものとなっている

ところでございます。

ご質問の本町の孤立地域の状況と災害の発災前・発災後の対策についてでございますが、現在もアクセス道路が崖崩れなどにより途絶され孤立する可能性のある地区におきましては、飲料水である備蓄品の整備や、災害対策として、その都度、防災行政無線、通信手段の貸出しなどで対応をさせていただいているところでございますが、災害時における、さらなる強化を図るため、本事業の予算規模や採択条件等精査し前向きに計画することとし、孤立の可能性のある集落の対策強化の取組に努めたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） すみません。もしかするとまだ詳しいことが分かっていない状況であるのかも分からないんですが、幾つか、申し訳ありません、お伺いさせていただきたいと思うんですが、孤立地域というのは、県としてはここですよって発表していないかと思います。

町としては、その孤立地域に指定された関係者の皆さん、もしくは関係集落になるんでしょうか、そういった皆さんには指定されたことをお伝えする、周知する、そういった部分についてはどのようにお考えになっておりますでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいま議員さんおっしゃったとおり、県はあくまでも非公開という形になっております。本町につきましても、公に公表するという考えはございません。

ただ、やはり、その5地区につきましては、先ほど発災前・発災後等のお話もありましたが、ある程度、その地域の方、自分のところがこうなるよというところは当然分かっているところではございます。

本年度、事業を実施するに当たり、当然この後精査をしながら、また議員の皆様には予算等の協議もいただきながら事業のほうを計画させていただきたいなという前向きな段階ではいるところではございますが、本年度はそのような形で、今まで通信手段の遮断されるような場所、そちらを中心にした事業計画をさせていただきながら、その指定された12地域の行政区の方たちとアンケート等取り合いながら、その地区として必要なものはどういうものなのかというところを勘案をさせていただきながら、この事業採択に向けて準備をさせていただきたいなというところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 孤立対策という部分では、本当に本町では台風もしくはいろいろな形の中で孤立する地域がたくさんございます。考えようによっては町全体が孤立してしまうんじゃないかというような、そういった地形の問題もあると思います。そういう中で本当に町では、本当に山を越えて何かを運んでいただいたり事前に対応していただいたと、本当に瞬時にいろいろ対応していただいているところで感謝をしているところがございますが、この孤立地域、先ほど課長がおっしゃられたように、ある程度分かっている地域と、えって思うようなところ、ここも孤立になるのって、ちょっと私感じた地域も入っていたんです。

ですので一度、関係地区の皆様もしくはその場所、先ほど行政区単位ではないって言うておられましたので、その辺も含めて、ちゃんと、ご本人たちにだけにでも教えていただいたほうがいいのかなというふうに思いました。

それによってやはり心構えが違うと思うんです。自分のところは土砂警戒地域には入っているけれども、孤立地域にまでは入っていないって思っている方もいるのではないかな。それから孤立するとなると、やはり準備するものも変わってくる、考え方も変わってくるのかなというふうな、ちょっとそんな思いもしました。

ただ、公にするのは、いろいろな部分でデメリットもあるというところも伺っておりますので、関係者の皆様には、それなりに情報が伝わるようにしていただけたらよろしいのかなというふうに思ったところがございます。

それと、先ほどの補助金の、県の補助金の件なんですけど、1集落当たりで100万円ということでもございましたけれども、これは、先ほど、行政区の区の単位ではなくて農業、何でしたっけ、農業集落っていうんですかね、その区間での単位っていうふうに言うておられましたけれども、ここの100万円の集落、1集落っていうのは、その農業単位での1集落という捉え方になるのか、その辺はどのような感じになるんでしょうか。もし分かりましたら結構なんですけど。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） 今回の補助対象地区といたしましては、集落単位というところがございます。

（「農業の」の声あり）

○総務課長（麻生克美君） 農業の集落単位でっていうところになっております。

ただ、その集落単位も、実は大きく分けると一つの行政区というようなところもございまして、そこら辺を勘案しながら対応をさせていただきたいというところがございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ぜひよろしく願いいたします。

すみません。

次に、中項3、町では避難訓練を毎年実施して下さっておりますが、ご家庭に住んでおられるお年寄りや各種の障害をお持ちの方、小さなお子さんを交えての避難訓練や、その避難時や避難場所での対応訓練などは、町としてどのように行われているのか、お伺いをさせていただきます。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） 昨年度、実施いたしました地震発災後を想定した防災訓練におきましては、ご質問の災害弱者になりやすい方を限定、想定したものではございませんが、安否確認訓練、避難訓練ということで、まずは家族の安否、家屋の安全を確認し、避難を開始すること、次に、各区長は、地区の集会場へ区の本部を設置し、区内の状況を確認すること、併せて組長は、組内の区民の状況を区長に報告し、避難を開始するようなシナリオで避難訓練を実施してございます。

この避難訓練の中で、災害弱者、支援が必要な方、避難が困難な方が取り残されないようなことも想定をしていただきながら、地域の皆様の支援で移動をお願いしているところでございます。

また、避難所においても、避難生活を想定して、高齢者や支援が必要な方が使用することも含めた段ボールベッドの作り方や、授乳や母子保護、プライバシーの確保のためのパーティションの代わりになるテントの組立てなども、避難所開設運営訓練として実施をしてございます。

大規模災害を想定した防災訓練や実際の避難所の運営においては、どうしても地域の健全者の方、消防団等の関係者のお力をいただかなければ実施できないことも多くございますので、災害発生時に町を含めた関係団体、ボランティア、地域の方のお力をいただきながら、身近にいらっしゃる災害弱者に対して、どのようなサポートができるのか、障害などの特性、多様性も理解し合い、誰も取り残さないために、ふだんから何ができるのか、また、今まで以上の地域コミュニティの醸成なども含めまして、気軽に声をかけられる隣組地域づくりが、住民の命を守る行動につながることも勘案していただき、地域の方のご意見を伺いながら、今後もより実践的な防災訓練を模索していきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

本当に今細かく、防災訓練では、本当に細かく実践的なものを、いろいろやっていただくようになっているなというところを感じたところでございます。

また、各区ですとか、自主防災組織の皆さんですとか、本当に今のいろいろ、お取組をいただいているというところを感じたところでございますが、最近はまだ、避難行動の自由度というものが昔に比べますと高まっているように思います。

要は、今までですと避難所へ逃げなさいって決まっていたものが今は、家庭の中で2階に逃げなさいですとか、お友達の家でもいいですよ、ご親戚でもいいですよ、安全なところに逃げてくださいと、もしかしたら家にとどまるのがよければ、とどまってくださいねというように、自由度が高まってきているように思います。

その中で、やはり家族にご高齢者や要介護者の方がいるかいないかといったことですとか、それぞれの置かれた状況というのが、やはり、変わりまして、命を守る行動というものが個別に変わってきている、また求められてきているという形なのかなと思っております。

このような実際に避難訓練をしていただく中で、そういう障害をお持ちである方とかご高齢の方と一緒に避難訓練をしていただいて一緒に逃げる、もしくは一緒に避難所で過ごすということを経験をしていただくことによって、運営側、また避難をされる方側も、何が足りて何が足りないのか、何が必要で何が駄目な、要らないの、要らないってことはないですね、何かそういったものが、目に見えてくるものがあるのではないかなと思っております。

昔は、元気な人が避難所に逃げて、それでみんなが避難所の運営をするとか、対応するとかってイメージが避難訓練だったと思うんですけども、今はほとんどの方が、大多喜町ですと半数の方が高齢者でございますし、場合によっては自分で逃げられない方もいらっしゃいます。場合によっては、ご家族だけで対応できないっていうケースもあると思うんです。

実際に、避難所に逃げるまでの間に、どんな問題があるのか、避難所に来ていただいたときに、お元気な方とそうじゃない方とではどういう違いがあるのかという部分が、やはり実際に見えてくるという部分も出てくるのではないかなと思っております。

ただ、そういう方の場合、お体の具合ですとか、いろいろな方があると思いますので、ご協力をいただけるかどうかという、そこからっていうところもあると思うんですが、そういう様々なケースでの避難訓練というものも考えてみてはどうかと思うんですが、その辺はど

のようにお考えになられますでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問でございます。

議員さんおっしゃるとおり、やはりこの問題につきましては、確かに個別の案件がございます。

その場合に、この訓練に参加するに当たって、参加すること自体もやはり、大変な方もいらっしゃるというふうに考えているところです。

ですから、それらも勘案しながら、やはり、確かに頭で考えても実際に、じゃ行動に移せるかというのは非常に厳しい問題ではございますが、やはり町としてもその中で、自主防災組織等の中でも、こういう方、比較的まだ大多喜町は隣組コミュニティーがしっかりしているところはございますので、そこら辺のお力もいただきながら、そのところもご協力いただけたところ等も勘案しながら、そういう個別案件に対応するための訓練も模索していかなければいけないという考えではいるところでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。よろしく願いいたします。

本当に大多喜町は、そういう意味ではコミュニティーがしっかりしていただいて、本当に皆さんの温かさっていう、そういったものが感じられる町でございますので、いざというときには助け合いで支えていただけるんだろうなとは思っているところでございます。

その一方で、今のお話を聞いていまして、ちょっと思いましたのは、たしか町は作成の努力義務に当たっていたと思うんですけども、個別避難計画を作成するような動きもあるのではないかなと思いました。

全町民の方が、これを、作成するというのは難しいかもしれませんが、そういう弱者の皆さんから、この個別避難計画を作成していただくという、こういった取組も進めていただくとありがたいのかなと、ちょっとそんなふう感じたところでございます。これはご答弁結構ですので、また今後よろしく願いいたします。

次に、中項4、備蓄倉庫の内容や状況確認は、どの程度の頻度で実施していただいているのか、お伺いをいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問でございます。

年1回、備蓄倉庫の棚卸しを実施しているところでございます。

また、災害時に使用した物資等につきましては、その都度、在庫を確認している状況でございます。予算の範囲で、そちらについても補充をさせていただいているというような状況でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 年1回棚卸しということのような感じでした。そうしますと、全備蓄倉庫を見ていただいているというふうに捉えさせていただいていいでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） そのとおりでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） よろしくお願ひします。

数もそうなんですけれども、食べ物とかがね、中身も大丈夫かどうかも確認などしていただけると。前、ちょっとね、聞いたところ、食べようと思ったら消費、賞味期限切れたみたいなのもあったような時期もあったようでございますので、ちょっと確認していただけたらと思います。

次に、中項5の質問に移らせていただきます。

コロナ禍を終えて、ある自治体で、協定先の方に連絡を取ったところ、既に会社が倒産してなくなっていたということがあったそうでございます。

本町では、各種災害協定を結んでいる関係機関との連絡確認は、どの程度の頻度で実施していただいているのか、お伺いをいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） 各種災害協定につきましては、現在40以上の協定を締結しているところでございます。

特に、東京電力などのライフラインの事業者である指定公共機関とは、その気象状況などを勘案し、発災前から連絡をお互いに取り合い、迅速に災害対応をしていただけるようお願いをしているところでございます。

また、協定の有無に限らず、防災関係機関等の銚子地方気象台とは、頻繁に連絡を交わし、今後の気象状況、風水害等に係る発令等の確認を随時行っているところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

本当に日頃からご連絡取っていただいているということでございますが、今お話があった大きなところじゃないようなところ、そういったところとの協定も結んでいると思うんですが、その辺の連絡というのは、どのような感じで日頃行われているのでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） 今のご質問の趣旨は、食料品とか備蓄品に係る部分ということで。

うちのほうの協定の内容が、ほとんど指定公共機関、また防災関係機関等の協定がほとんどでございます。

そのほかは、千葉県、また関係ある市町村等の災害協定がほとんどでございます。

備蓄品、特に食料に関わるものについては、やはり大きなところと結んでございます。最近、町内にあります大きなホームセンターとも締結をさせていただいたようなところでは。

そのような形で、定期的に、協定に関するもののご連絡をさせていただいているかというところは、実のところ、それほど頻繁にはやっていないところではございます。

いざとなったときに、確かにその協定、お願いしているものが届かないというところも、確かに想定はされる場所ではございますので、またうちのほうも、それに対して、どのような形で先方のほうにお話ができるか、また1年に1度、その協定内容を見直すようなところも考えながら、その点にも留意しながら、その協定の内容、防災力の向上に努めていきたいという考えでいるところでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） すみません。

次の質問にも関係してくるところもございますので、こちらも1年に1度ぐらい、できたら協定先と連絡を、確認などを取ってみてみるのもどうなのかなと思うところでございます。

次に、中項6の質問でございますが、災害時の協定先は、同じ事業所に複数の自治体が協定を結んでいることが多く、同時に災害が発生した場合、全体量が不足し、提供をしていただくことができなかったということがあったそうです。また、役所からの連絡を受けてから供給される場合と、プッシュ型で供給されるように協定を結んでいるケースもあるようです。

本町では、災害協定を結んでいる協定内容の供給の仕方はどのようになっているのか、お伺いをいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問でございますが、物資等の供給につきましては、協定先からの、プッシュ型ではなく、町からの要請等により供給いただくものとなっている

ところでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） 町からの要請ということでございますが、これは町として、要請のタイミングというんでしょうか、また要請は、誰が要請をするのか、そういったところも細かくもう決まっているような状況なんでしょうか。物にもよるとは思うんですけども。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） それぞれ対策本部を設置した後の形になるとは思いますが、対策本部の各班で、食料、トイレ等の供給をどうするかというところも防災、地域防災計画の中でも定められているところではございます。

確かに細かく、こういう場合は、じゃどうするんだというところまで、その協定業者等々の詰めはございませんが、避難所運営マニュアル等にも掲げてあるんですが、そこら辺も必要な数量を、まず避難所から上げてもらって、それに応じて対策本部のほうで対応させていただくというような流れで、物資に係る供給のほうは考えているところでございます。

何よりやはり、議員さんのほうもよくご心配していただくところではございますが、受入体制、要するにその物資を、人員体制が、やはり非常に厳しいところがございます。ですから、協定の内容もあくまでも、要請という形で取らせていただいております。

確かに、今回の台風の際、7号台風の際も、協定締結させていただいている自治体、荒川区のほうから、お困り事はないですか、必要なものはないですかというような丁寧な問いかけもいただいているところでございます。

そのような中、いざ災害となると、人員体制も含めながら、本町限りある、その人員の中で対応していかなければいけないので、その点も勘案しながら対応のほうさせていただければという考えでいるところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

本当に、日頃から交流のある自治体さんからの温かいお声もいただいたということで、本当にありがたく思っております。

本当に、今の支援体制のところにおきましては、私も今までは職員の方がやるものだという、議員になる前はそう思っていました。

でも違くなって、本当に違くなって、最近は本当に思っております、もうみんな、町

民の皆さんもお手伝いができる、まずできる方は、本当に一緒にやっていかなければいけない。そうしないと、行政も回っていかないし職員の皆様が疲弊してしまったらもう何もならないなって、本当にそういうふうに、何か最近ですね、感じているところなんです。職員の皆さんには申し訳ないんですけどもね。今までは役場がやれば良いという、ちょっとそういう思いで、役場がやるもんだと思っていたというのが正直なところでした。でも違うなっていうのを、本当に感じ取っています。

じゃ自分が何ができるのかというのは、本当に分かりませんが、本当に自分たちも、私自身も、そういう思いを、思いながら、たとえお手伝いできなかったとしても、そこはしっかりと自分の中で認識をしていかなければいけないなど、本当に思っているところでございます。ちょっとお話それちゃってごめんなさいね、そんな感じしております。

本当に、大多喜町の場合、本当にこの要請は、各避難所によって全然違ってくるのかなというふうに思いますので、それぞれの避難所が必要なものに対して、瞬時にご対応いただけるような、そういった体制、または仕組みづくりをしていっていただくことができればと思います。

あとやはり、本当に大きな災害が起こってしまったときのボランティア体制といいますか、そういったところも、いま一度少し強化を、今考えていただいているかも分からないんですけども、強化をしていただく。町だけでできなければ、周辺から、もしくは関係機関からも応援をいただくというような、そういった支援体制も整えていただく連絡ルートっていうんですかね、そういったものも必要なのかなと、ちょっと感じているところでございます。今後よろしく願いいたします。

次に、中項7、自然災害発生後のトイレの対応についてお伺いします。

大きな災害が起きると、水洗トイレは使えなくなることがあります。しかし、私たちの排せつは待ってくれません。震災後、何時間でトイレに行きたくなったかを、NPO法人トイレ研究所が調査した結果を見ますと、熊本地震では3時間以内が38.5パーセント、6時間以内が34.4パーセントでした。発災後6時間は、大混乱状態であると思われます。恐らくこの7割の方は、水も食事も取っていないと考えられます。それでもトイレに行きたくなるのです。水、食料より先にトイレが、トイレの対応が必要と言えるかもしれません。

そこで、災害時の避難所等のトイレ対応は、どのように行われる予定か、仮設トイレの設置時期や搬入個数などの予定も含めお伺いをいたします。

また、一般的に利用するトイレのほか、車椅子での利用やオストメイトの利用、子供や大

人のおむつ替えができる場所なども必要となる場合も想定されますが、どのように考えておられるのか、お伺いをいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問でございます。

災害時には避難所を開設しているため、まずは避難所のトイレを使用していただくということを想定してございます。

次に、停電により水が使用できない場合には、備蓄してある簡易トイレ、ラップポン等を含むものにより対応していただく考えでございます。

そして、長期の避難所生活が予想される場合は、避難者の生活に支障が生じないよう、必要な数の仮設トイレをレンタル事業者団体等から協力を受け、確保、設置し、使用の際には、衛生面、安全面に十分配慮した運用に努めたいという考えでいるところでございます。

また、2点目のご質問でございます。

本町の全ての避難所等につきましては、車椅子での利用やオストメイトの利用ができる設備が整っているところではございませんが、要配慮者への対応につきましては、和室や空調設備のある部屋、出入口から階段の上り下りを必要としない部屋などを、一般の居住のスペースとは別に設け、間仕切りテント等を活用し、要配慮者のニーズに対応した避難所運営を考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

最後に、中項8、ペット同伴の避難所の運営マニュアルやペット同伴避難をする場合の避難者の心構えや事前の準備などの周知などは図られているのか、お伺ひいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） 本町の指定避難所開設運営マニュアルにおいても示されているところではございますが、避難所では様々な価値観を持つ人が共同で生活することとなりますので、居室へのペットの持込みは、盲導犬などの伴侶動物を除き禁止されているところでございます。

また、避難所に同行したペットにつきましては、避難所敷地内に設けられた飼育スペースにて飼育するものとし、ペットの飼育に係るものにつきましては、飼い主の方が全責任を持って行っていただくようお願いしているところでございます。

このように、避難所へのペットの同行避難はできることとなっておりますが、避難者の中には動物を苦手とする方もいるため、避難所にてペットを生活させる場所を決めるなど、避難者同士がお互いの理解、協力を得ることにより、避難所生活をしていく環境づくりが必要と考えているところでございます。

また、周知方法につきましては、ペットの飼い主の方への注意事項が示されている避難所運営マニュアル、こちらにつきましては各行政区に配付をさせていただいております。

また、各避難所にも、この運営マニュアルを配備していただいておりますが、今後も防災訓練、ホームページ、おおたき通信などを通じまして、ご理解いただくよう周知を図りたいという考えでいるところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 7番山田久子君。

○7番（山田久子君） もう既に避難をされるときにペットを連れてお見えになっている方もいると思いますので、場所などをしっかりと決めといていただけるとよろしいかなと思います。

以上で、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（渡邊泰宣君） 以上で、山田久子君の一般質問を終了します。

一般質問の途中ですが、ここでしばらく休憩します。

再開は、11時25分から再開します。

（午前11時16分）

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時25分）

◇ 渡 辺 善 男 君

○議長（渡邊泰宣君） 一般質問を続けます。

次に、1番渡辺善男君の一般質問を行います。

1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） 1番渡辺善男でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告に従って質問をさせていただきます。

今回の質問は、大きな項目として、町内道路網の整備推進と促進についての1項目です。

幾つかの小さな項目に分けて質問しますので、前向きで明快な答弁をいただきたいと思えます。

質問事項1、町内道路網の整備推進と促進について。

本町の道路網は、国道2路線、県道8路線、町道522路線、これは令和2年4月現在となっておりますけれども、から成り立っています。

面積の広い本町では、この道路網の整備をいかに早く進め、安心して安全な道路環境をつくり出すことが、町政発展の重要なポイントになってくると思われれます。

しかし、残念なことに、令和元年と5年に、台風接近に伴う豪雨で、本町の道路網は甚大な被害を受け、今なお災害復旧の工事に追われている状況にあります。

一方で、高齢化率の高まりにより、道路網の整備に対する声や維持管理に対する意見も増えてきていることも事実です。

主体が町である町道については、道路整備計画に基づき速やかな整備が求められ、国道、県道については、主体が県等であるため、関係自治体・機関と連携を取りながら、早期整備を関係機関に積極的に要請することが求められています。

そこで、町道の道路整備計画の進捗状況や国・県道の整備に関する要望、要請の状況、手応え等についての現状、さらには将来を見据えての展望や課題に対する町長の見解をお伺いします。

まず初めに、町が主体的に計画している町道の改良は進んでいるのか、お伺いします。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） ただいまの渡辺議員の質問に、建設課からお答えいたします。

本町の道路整備計画は、大多喜町第3次総合計画後期基本計画と連動する個別計画の一つとして、基本構想にある将来像、ひと・まち・みどり未来に光り続けるふるさと大多喜や生活基盤の基本目標である、誰もが住みやすい安全・安心・便利なまちをつくるの実現に向け、より効果的な道路整備事業を展開するため、将来の道路環境の在り方と戦略的な道路整備の進め方を定めることを目的に策定しております。

計画の内容は、社会事情、地域事情の変化に対し、必要に応じて随時見直すこととしており、また天災による道路施設の破損は、町内交通や住民生活に支障を来すことから、本計画にとらわれず、優先的に早急な対応をすることとともに、二次災害防止のため安全施策等を迅速に行い通行の安全を図ることとしています。

基本的には、道路整備計画に沿って事業の推進に努めておりますが、昨年9月の台風13号

接近に伴う豪雨による被災箇所の復旧工事等への対応や地域路線の現状を踏まえた整備見直しなど、計画どおりに進められていない状況もございます。

今年度においては、災害復旧工事を優先しておりますが、継続している道路改良についても併せて進められるよう計画してまいりたいと考えます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） ただいま答弁の中に、戦略的な町道整備のという文言が入っております。例えばその戦略的な整備方針・改良等は、本当に大事だと思っております。

被害の多かった老川、私の住んでいるところで、いろいろなことがあって重々承知しておりますけれども、やはり将来を見据えた道路整備、また大きな流れの中での整備推進するのは大事だと思いますけれども、ここ数年間また今後数年間の中に、戦略的に行った事例とか、また行おうとしている事例とか、もしありましたらお聞かせいただきたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） ただいまのご質問ですが、老川地域で挙げますと、今現在進行しております町道会所弓木線と、あと過去に行った例としては町道宇野辺線など、道路改良工事を実施しております。

道路整備計画を推進するための財源確保としては、辺地に係る総合整備計画などを策定しまして、地方債などの財政上の支援を受けられるよう努めて推進しているところでございます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） ありがとうございます。戦略的とか、個人的な感覚ですけれども、あとは周辺地域の道路を整備することによって、その波及効果が出るという形で、そういった形の相対的な発想の中での道路整備とか改良とかというのは、本当に大事になるんじゃないかなと思っております。よろしくお願いします。

質問を変えます。

町道には、1級、2級、3級、4級があるかどうか分かりませんが、あと法定外路線とあってあると思いますが、単純に私どもから見ていると、1級が何路線、2級が何路線とあっていうことで、2級路線を1級路線に格上げするとあって、そういう考え方はあるのかなということも気になるのですが、いかがですか。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 先ほど渡辺議員からもお話があったとおり、本町の町道522路線のうち、1級は24号線、2級が52路線でございます。

それぞれの基準でございますけれども、1級は路線の区域が数行政区に及び、地区内の幹線的なもので、公用路線として高度の利用率があり、維持管理にも、行政区の公用以上の負担過多となり、町が全面的に経費の負担を要すべきものとしております。

2級におきましても、主要幹線に接続または数行政区及び搬出入用途が幹線利用に属し、1級に準じて整備するものとされております。

基本的には、いずれも維持管理においては町が主体となるべき路線であり、2級であっても1級と同じく、現状を確認し、必要な整備は計画的に実施していかなければならないことから、管理等級等の格上げについては現在考えていないところでございます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） 答弁ありがとうございます。

私自身の、ちょっと認識が違ったんですけれども、1級とか2級とかっていう等級ですけども、一般的に道路の幅員とかセンターラインの有無とか、例えば私はいつも、ここに来るときに、こちらに向かうときは中野大多喜線、これセンターラインが入っている。帰りは道を変えて、湯倉西部田線で帰っているんですが、これはセンターラインが入っていません。入っているところは確か、なかったと思います。

ということで、単純に自分としては、1級路線になるためには、2級路線になるためにはセンターラインをきちっと入れて、それなりの幅員を確保したものが1級になれて、それよりちょっと下が2級なのかなという解釈していましたが、実際のところは、ただいま建設課長のほうから、そういった意味合いでの級ですよということで、話は何となく分かりましたけれども、そういったところの具体的な等級基準というのは設けてないのでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 具体的な基準というものとしては、先ほどお話のあったセンターラインの有無であったり幅員の広さの問題であるとか、そういったものというものは基準としては定めておりません。

1級であっても、全ての路線でセンターラインが入っていることではなく、また2級であっても、先ほど湯倉西部田線なども入っていないんですが、場所によっては幅員の広いとこ

ろにあつてはセンターラインが入っている場所もあったりしております。

そういったような状況でございますので、これまでも道路の改良工事などによって、そういった状況が整備されているところなどもありますので、基準としては定めているものではございません。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） それでは質問を変えます。

地域住民と、先ほど申し上げましたけれども、非常に高齢化に伴って、集落道路とか住んでいる、実際に皆さんが住んでいる、住民が住んでいる、その近辺の道路管理というのが、非常に大変厳しい状況になってきているということで、数年前、いろいろと相談の結果、地域住民との協働による維持管理の方法は何かないかということで模索をして、実際に行ってきたように記憶しております。

実際に、高齢化してきて、町民の半数が、65歳以上ということになってきますと、やる気も、やる気持ちはあったとしても、なかなか体力的についていけないということで、一方で、沿道の草にしても、覆いかぶさる草にしても、これはもうとどめなく伸張していく、伸びていくという状況にあります。この辺のところを町としては、協働による維持管理というものを、今後どういう形で充実させて進めていく考えなのかをお伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 協働による維持管理の状況についてということで、本町の町道は全路線数の約85パーセント、総延長で言いますと約59パーセントが1・2級以外の、集落内道路と言われる道路でございます。

大多喜町第3次総合計画後期基本計画では、集落内道路の維持管理について、地域との協働により維持管理を推進するとともに、幹線道路における維持管理については隣接土地所有者の協力を得ながら進めるとしております。

現在、地域住民との協働により実施している主な内容としましては、集落内道路で通行の支障となる樹木の伐採事業や傷んだ道路等の補修事業などが挙げられます。樹木の伐採事業では、地権者への伐採承諾や伐採時のシセキ、さらに伐採した樹木の処理など、地域住民との協働により事業を行っております。また、道路等の維持補修事業では、これまで行っていた補修資材の支給に加えまして、自治会が行う町道等の補修事業に係る経費に対する補助制度を昨年度から行っています。これは、数多くの要望に早期に対応できない現状を踏まえまして、少しでも早く地域内の課題を解決できるよう始めた制度でございます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） やはり高齢化によって、本当に精神的に住民も、将来に対しての不安とかがあってというのは結構聞いております。

かといってそれを全部、行政のほうにというふうに言われましても、これは、はっきり言って無理なことでありまして、ではやはり今のうちに協働によるということで形を浸透させていって、できるだけこのタカギ行政と住民が一緒になってやるということで、日程調整とか、いろいろしながら進めていくのがいいのかなというふうに思っております。一時は広報にも、作業前、作業後とかがあってという記事が載ったようなことも覚えております。

先ほど、建設課長のほうから、新しいその仕組み、制度というのも、もうつくったということですが、その辺のところをやはり、各区長さん方、区長さん方1年で変わってしまいますけれども、大体のところは1年で変わってしまいますけれども、やはりその辺で周知して、できるだけ一緒になって取り組んでいく形を早くつくり上げるということは大事ではないかと思いたすがいかがですか。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 今お話のありましたとおり、地域との協働による維持管理に関しましては、地域の現状を見ていきますと、今後ますます難しくなっていくことも考えられます。

地域と町が連携できるように、制度につきましては、町のホームページ、広報などでもそうなんです、区長さんを通じて、地域のほうに案内してまいりたいと考えます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） ぜひそういった形で、どうしてもやはり区長さん、1年で変わっていきますんで、引継ぎがうまくいってないと、そういったことがあるってということ、それもちよっと抜けてしまうことがあって、どちらかという、どうしたらいいのかな、どうしたらいいのかなというほうが先に立ってしまつて話が大きくなる可能性もありますので、その辺のところをよろしくお願ひしたいと思いたす。

あと聞くところによると、一部の地域で、建設課の管轄ではありませんけれども、集落支援員の方が、つなぎ役として、区長さんと役場の担当課のほうとのとか、あとは地主さん、先ほど話ありました地主さんとのとか、調整しながら進めてくれてうまくいった事例も幾つ

か聞いております。

ぜひその辺のところ、この横のつながりで、せっかく動いている制度でもありますので、うまく組み合わせして進めたらいいのではないかなというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

質問を変えます。

道路網ということになりますと、町道、もうこれは身近なもので大事だし、そして冒頭申し上げました国道があつて県道があります。これは、あくまでも主体は町ではありませんので、こちらから何らかの働きかけをして、何とか早めに改良をとということになるかと思ひますけれども、決算、いろいろな報告を見ますと、毎年毎年いろいろなことをされているようにも見受けられますけれども、現状の国・県道の整備促進の状況と、している、その手応えについて、分かりましたら教えていただきたいと思ひます。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 国・県道の整備の促進と状況と手応えということで、難しいところもございますけれども、本町の国・県道を所管する夷隅土木事務所においても、毎年様々な事業が計画され実施いただいているところでございます。

本年の計画を見ましても、国道においては、297号横山地先と、465号筒森地先のバイパス整備として、計画策定に必要な測量や設計など、また県道においても、各路線で歩道整備、橋梁修繕、トンネル修繕及び災害防止対策など、道路環境の向上を図る事業が進められております。

なお、一昨年度に、町のほうで協議会を設置しまして、整備促進に関する連携を行っております297号横山バイパス整備については、昨年の台風によりまして土砂崩落等が発生し、新たな調査などが必要になったり、予定どおり進まず遅れている部分もございます。

引き続き、県と連携を図って、少しずつでも進められるよう調整を続けてまいりたいと思ひます。

本町にとって、国道2路線、県道8路線の道路整備の推進は、道路ネットワークの強化につながり、県内外との交流の活性化や住民の安全・安心と利便性の向上も期待できることから、今後も、これまで同様、早期整備に対する要望を継続してまいりたいと思ひます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） やはり国・県道になりますと、地元からの要望とかも、要望活動とか

も、微力ながらやっておりますけれども、はっきり言って、ちょっと、ただ話を聞いてもらうだけみたいな感じになってきます。

この辺のところは、やはり国・県に対して、またそれに関わる機関とか、それに対しては、やはり町長、先頭に立って、やはりやってもらわなくちゃいけないんじゃないかなと思います。すがどうでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） すみません。なかなか形に見えるような結果出てなくて、本当に恐縮しております。

国道ですけれども、身近に考えるところで465号ですよね。筒森のトンネルから先ちょっとぐらまで、非常にきれいになりました。なかなかそこから先が、今山本建設が、ちょっと広げたりしてやっておりますけれども、なかなかそこから先が、毎年毎年、土木のほうと打合せしますが、今年はここからここまでをきちんと方向づけてどうのこうの、確かにそれが非常に遅いといいますか、流れになっています。ただ、間違いなく少しずつ進んでいるということには、変わりないかなと思っております。

私も465号、正直、大原、大多喜はありますけれども、大多喜から富津まで行ったことがなかったので、実は建設課長とも2回ほど、吉野課長と、それから市原課長と行きました。

行くたびに、道が難しく、409号と465号はごちゃごちゃになっていて、表示がなかったりして、一度は、神野寺に間違えて行っちゃったぐらい、国道を走っているにもかかわらず、なかなかうまく、使い切れないということで、県とかにも、せめて409号と465号が並走しているのであれば、そのような形の道路表示だけでもしてほしいというようなこともお話はしてきましたけれども、いずれにしても、なかなか国道の、一朝一夕になかなか進まないというのが現状で、毎年定期的に期成同盟という形で複数の市町村、または、村がありませんけれども、市町で行政に、上のほうに申入れをしているという状況でございますので、これからもしっかりと対応させていただいて、渡辺議員からけつをたたかれないように頑張りたいというふうに思っております。

それから県道につきましては、8路線があるわけですが、正直具体的に、戦略的にこういう方向でここをこうしようというのが正直出てないというのは現状だと思います。

ただ見てみましても、例えば、市原あるいは大多喜、それから里見線でしたかね、ああいのような路線とか、もうちょっと手の加えようがあるかなということで、今回の渡辺議員のご質問によって、県道の在り方、県道の捉え方、今後の県道に対する方向性、こういったも

のも土木ともよく相談しながら、国道等々だけではなく県道を使っての他市町村への移動を、もうちょっと無理なく無駄なくできるような方向ができたらなということは考えております。

これは逆に言うにご質問によって、新たに私の頭の中に県道対策ということが入ったということで、ありがたくも感じております。

それから、町道でございますけれども、先ほどから議員もおっしゃられたように、元年台風と、今年の台風ということで、町道も、かなり被害が多かったということで、現状としては、災害対応が優先になってしまって、町として戦略的にどうしようかというのが、確かに遅れているなというのもございます。

流れ的には、私も実は、渡辺議員も一緒に行っていただきました岩井原の孤立しそうなところですね。あそこも今、通常に運行している道路以外にもう一つ、岩井原新道とかって言って老津線に入っていく道がありましたんで、ご一緒に歩いてもいただきました。あれはもう町道という形はなしてないかと、ほとんど獣道みたいな形になっていましたので、ああいうところは廃止をして、もうちょっと人道的にきちんと、岩井原等々で何か起きたときには、人間だけでも救出できるというような場所を町道として造っていかなければいけないかなというように考えております。

これについては、たまたま町道ということと、それから吉野一男議員のほうからも、もうご質問もいただいておりますけれども、各地域をどういうふうに進めていくのっていう中にもありますが、そういったことも含めて、今回の道路網については、改めて渡辺議員のほうからご質問いただいて、再度私の中でも絵を描き直させていただけるような、逆にご提案をいただいたということで、今のご質問に答えるようなお答えになっているかどうかは分かりませんが、そんな方向で進めていきたいというふうに考えております。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） 丁寧な答弁ありがとうございました。

実際に国道だけで上げれば、私の知る限りだと、297号については、地元に関係する先輩議員が長年、その水面下で本当に動いてくれて、何とか一日でも早くという動きをしていることも承知しています。

465号の一番この君津寄り、どうしても私がおりますので、周りからは言われてしまいますけれども、君津のスピードと大多喜のスピードの違いは何だ渡辺って、こう言われる場合もありますけれども、その辺のところは、その辺のところ、やはり粘り強くやっていかなくちゃいけないのかなというふうに思っております。

一方で、やはり千葉県、そもそも昔から言われていました。観光的な面で言うと、千葉は道が悪いからという形が多かったと思います。

ただ、いろいろと圏央道ができたリアクアラインができたリという形で、また、内房、外房を通る道路も大分解消されてきていますので、そういった声もだんだん少なくなってきたのかなとは思っておりますけれども、やはり本町も観光で売っている以上は、やはり基本は道路網の整備というのは、バスも大きくなって高額になってきているということもありますと、バスの乗務員のことを考えますと、やはり早急な整備、道路網を確実に整備していくという、まずは幹線、そしてその枝葉のところも整備していくというのが大事じゃないかなと思っております。

町民の財産、価値を、維持するとか価値を上げるとか、道路網の整備に尽きると思えます。まちづくり全体に関わってくるということも思えます。かといって、膨大な費用もかかるということになりますので、一朝一夕にはいかない、本当に難しい問題、課題だなというふう認識しております。

それにしても、やはり全体、町全体的の総合力、実際の力を上げるには、何が大事かなというふうに思ったときに、やはり道路網というのは大事だなと思っておりますが、最後に一言、町内道路網の整備推進、促進に対する町長の、先ほど丁寧なお答えいただきましたけれども、展望とかを、お聞かせいただけたらと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） ただいまの質問でございますけれども、確かに我々、この大多喜町は、観光業といいますかサービス業もなかなか非常に栄えておりますので、やはりそういったところから、今回も市原の県道の久保というところでしたかね、あそこが土砂崩れで、今あの道が通れないということもございます。

あれについてもこちらからも、早いところ直してよという実はお話もいただいている、もうじき片側通行になるかなというお話も、何かうわさでは出ておりますけれども、ああいうことも含めて、やはり道路網は大変大事だなというふうに思っております。

先ほどもお話し申し上げましたけれども、国道、それから県道、町道それぞれに、やはり考えるべきところもございますし、今後の流れの中で、どれを優先して、どのような発言をしていったらいいのかということ、また皆様とも相談させていただきながら進めていきたいというふうには考えております。

本当に、この町そのものが、いすみ鉄道もございますけれども、やはりあくまでも自動車

を利用した、車を利用した、やはり行き来、往来が主になっている以上、道路網の整備については、これからも予断なく頑張っていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひできればと思っております。

○議長（渡邊泰宣君） 1番渡辺善男君。

○1番（渡辺善男君） 町長の熱い思い、ありがとうございました。

道路網の整備は、住民の目に止まる事業だなというふう感じております。あそこが直った、ここは直った、すごく変化してきているなということで、すごく、今どの事業もみんな大事なんですけれども、頻繁に使う道路網というのが、やはりその改良というのが、皆さんに与える好印象ではないかなというふう感じております。

したがって、戦略的に特定路線を改良することで大きな効果が、そういった意味の効果があると思っております。

災害の多い状況で、本当に大変厳しいとは思いますが、今ここで行うことが意義あるのではないかなというふう感じております。

町長の前向きな発想に期待して質問を終わります。答弁ありがとうございました。午後からは行いません。

○議長（渡邊泰宣君） 以上で、渡辺善男君の一般質問を終了します。

一般質問の途中ですが、ここでしばらく休憩します。

その間に昼食を取っていただき、午後は1時から会議を再開します。

(午前11時58分)

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後 1時00分)

◇ 山 口 定 夫 君

○議長（渡邊泰宣君） 一般質問を続けます。

次に、9番山口定夫君の一般質問を行います。

9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 9番山口定夫でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告に基づき、一般質問を始めさせていただきます。

執行部の皆様方には、簡潔明瞭で、かつ前向きにご答弁くださいますようお願いいたします。

す。

それでは、1の企業誘致について伺います。

町民から、町の人口が年々減っているけれども、人口減少対策として何かできないのかとか、働き先がないからみんな町外に出てしまう、企業誘致等、何とかならないのかと聞かれます。

大多喜町史の人口動向によれば、戦後の情勢により昭和22年が一番多く2万431人で、その後、昭和29年の町村合併時では1万8,767人と徐々に減少し、昭和30年には1万8,379人、年間388人の減少となっています。

町内の工業事業所数（製造業）ですけれども、62社と一番多く稼働していた昭和60年の人口は1万3,381人で、昭和30年と比較すると4,988人の減少、年平均166人の減少となっています。当時は、従業者数550人を抱える日立大多喜電子株式会社や200人を抱える株式会社ゼネラルリサーチオブエレクトロニクス千葉工場等が稼働していましたが、時代の流れにより業を閉じています。その30年後の平成27年の人口は9,823人で、昭和60年と比較すると3,568人の減少、年平均119人の減少であり、年間減少数が毎年50人程度少なくなっています。

なお、直近の国調では、5年後の令和2年の人口は8,885人で、平成27年と比較すると938人の減少、年平均188人の減少であり、年間減少数が毎年70人程度、逆に増えています。

大多喜町の企業、法人についてインターネットで調べてみますと、498社の掲載があります。これは、法人番号を保有している全ての法人で、既に廃業している法人も含まれています。法人の分類としては、株式会社や合同会社などの営利法人と一般社団法人やNPO法人などの非営利法人に分類されます。

なお、法人数の多少については、人口規模や地域環境によっても異なるものと考えますが、参考までに、夷隅郡市では、いすみ市が1,565社、勝浦市が763社、御宿町が300社となっています。

次に、町では、平成28年度から平成37年度までの10年間のまちづくりの指針として、基本構想、基本計画、実施計画から構成される大多喜町第3次総合計画を策定しております。

なお、平成31年5月以降は元号が平成から令和に変わっていますことから、以後、令和として質問させていただきます。

基本構想では、産業経済の基本目標として、「活力にあふれた人が集まるまちをつくる」をメインテーマに掲げ、前期基本計画では、にぎわいづくりプロジェクトとして、企業の誘致や既存産業の支援等の施策を設定し、重点的に推進するとしています。工業の施策の体系

としては、既存企業の体質強化、企業の誘致、産業開発支援機能の整備であります。

令和3年度から令和7年度までの後期基本計画の施策では、既存企業の体質強化は、商工会、企業連絡協議会と連携し、経営及び操業環境の安定化に向けた支援などにより既存企業の体質強化を図ること、2つ目として、企業の誘致は、工業用地として活用できる遊休地の調査及び企業の求めるニーズの把握に努め、企業の誘致を目指すこと、また、産業開発の支援は、国・県等の産業開発支援制度の周知、活用に努め、遊休地や森林、竹林等の地域資源等を生かしたバイオマス産業等、新たな産業の創出、特産品づくりを目指すとあります。

令和元年度に作成した後期基本計画の成果指標では、企業の事業所数は平成29年実績の24社を現状値とし、令和7年度の目標値を24社の現状維持としています。また、企業の従業員数も同様に、864人を現状値及び令和7年度の目標値として864人の現状維持となっています。

次に、後期基本計画に基づく実施計画では、第1次実施計画は令和3年度から令和5年度、第2次実施計画は令和4年度から令和6年度、第3次実施計画は令和5年度から令和7年度と、いずれも企業の誘致については、「町内において事業所の新設、増設又は移設を行う者に対し、奨励措置を講じ、町の産業振興と雇用の促進を図る」こと、また、「空き家等を活用し起業を行う者に対し、補助金の交付による支援を行う」とあります。

実施計画は、基本計画に基づき、個別施策、事業の実施について年次に位置づけるもので、政策的予算編成の基本となるものとありますが、後期基本計画が令和7年度で終了することから、今後の企業誘致を推進する上で、町の考え方について以下のとおり伺います。

それでは、初めに、町が現在把握している町内の企業、法人数は何社で、商工会加入者数は何社か。また、そのうち製造業の事業所数は何社で、従業員数は何人か伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） それでは、山口議員のご質問につきまして、商工観光課からお答えさせていただきます。

ご質問の商工会への加入者数の内訳に関しましては、商工会に確認したところ、昭和56年に商工会法が改正され、地域の活性化などに資するため非営利法人を含め加入することができるようになりましたので、よって、町商工会の会員は、企業数と非営利法人を含めた法人数を合算した加入数となります。

令和6年4月1日現在の町内企業、法人数につきましては523社で、商工会加入者は315社です。また、そのうちの製造業を営む事業者につきましては33社となっております。また、従業員数は何人かということでございますけれども、これは直近の製造業の従業員数につき

ましては819人になっております。

総合計画の成果指標の目標値864人に対しては、多少、下回っているものの、おおむね維持できていると考えております。

以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 回答ありがとうございました。

次に、後期基本計画における既存企業の体質強化について、経営及び操業環境の安定化に向けた支援などにより、既存企業の体質強化を図るとあるが、支援の内容と年度ごとの実績はどうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） この支援につきましては、中小企業経営改善資金利子補給制度により行っているところでございます。この制度につきましては、町内において、中小企業が新たに創業し、また開業するため、事業用資金を千葉県制度融資、または日本政策金融公庫から運転資金や設備投資に係る融資を受けることが要件となり、その資金の返済時の利子に補助する制度でございます。

直近3年間の実績につきましては、令和3年度が63件で、補助額が114万792円、令和4年度は51件で、99万8,012円、令和5年度は84件で、144万2,085円となっております。

以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） ありがとうございました。

次に、令和元年7月に作成した後期基本計画（案）の企業誘致は、工業用地として活用できる遊休地の調査及び企業の求めるニーズの把握に努め、企業の誘致を目指すとあり、令和2年11月、総合開発審議会会長から、企業の誘致については、東京から1時間程度で来られることの利点をPRしながら、規模やターゲットを絞って誘致を進めていただきたい旨の回答を得ています。しかしながら、実施計画では、町内において、事業所の新設、増設または移設を行うものや空き家等を活用し起業を行うものであり、一部企業の誘致とは隔たりがあるように思いますが、どうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） ただいまの質問につきましては、企画課のほうからお答えさせていただきます。

企業誘致に関しまして、基本計画と実施計画で内容に隔たりがあるのではというご質問ですが、山口議員さんがご質問の冒頭でもご説明いただきましたように、実施計画では、年次ごとの予算編成の基礎となる個別事業が定められているもので、例えば、予算が伴わない事業など、基本計画の施策体系の内容が必ずしも実施計画の個別事業に位置づけられているものとはなっておりません。また、この工業の分野において、実施計画で位置づけております主な計画事業として、基本計画の施策の内容に具体的な記述はございませんが、いずれも企業の移転や新規事業を促進するための支援策として企業を誘引することを目的に行っている事業となっております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 答弁ありがとうございます。

次に、実施計画とは、基本計画に記載された施策に対応した具体的な事務事業を明らかにするものとあります。第1次から第3次までの実施計画（令和3年度から令和7年度）ですが、これは私が議員当選後、最初の年度であり、今さらの質問で大変恐縮なんですけれども、「町内において事業所の新設、増設又は移設を行う者に対し、奨励措置を講じ、町の産業振興と雇用の促進を図る」は、企業の誘致ではなくて、既存企業の体質強化と考えますけれども、どうか。また、奨励措置を講じとあるが、年度別実績はどうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） 実施計画に設定した内容が既存企業の体質強化ではないのではないかとございましてけれども、先ほど企画課長が答弁したとおり、実施計画は予算編成の基礎となる個別事業であり、基本計画の施策体系に必ずしも位置づけられるものではございませんが、企業施設や新規事業を促進するための支援を行い、企業の誘致につなげるものでございます。

具体的な支援に対する条例は、大多喜町企業誘致及び雇用促進に関する条例ですが、本条例第1条の目的に、本町において「事業所の新設、増設又は移設を行う者に対して、必要な奨励措置を講ずることにより、本町の産業の振興と雇用の促進を図る」とされていることから、既存企業の体質強化を含めた企業誘致であり、本条例にも鑑み、設定されたものであることと認識しております。

また、奨励措置の実績につきましては、平成26年度に1件でございます。そのほかに、大多喜町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例を適用した実績に

つきましては、令和5年度、2件で4万1,900円、令和4年度、3件で11万700円、令和3年度、3件で13万8,800円、令和2年度、4件で49万1,500円、令和元年度、3件で72万7,000円と減税措置を行っております。また、大多喜町過疎地域固定資産税課税免除条例につきましては、令和6年度、12件で1,611万5,500円、令和5年度、13件、1,612万6,800円、令和4年度、10件、1,849万7,200円、令和3年度、9件で1,766万5,300円、令和2年度、9件で2,029万3,900円を免税しております。

実績等については、以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） ありがとうございます。

企業誘致とは、地域経済の活性化を目指す取組の一つとして、地域外の実績のある企業を町内に招き寄せることと考えます。空き家等を活用し、新たに業を起こすものということで、起業を行う者に対し補助金の交付による支援とは、企業の促進であり必要なことではあるが、企業誘致とは若干異なるのかと思うが、どうか。また、補助金の年度別実績はどうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） 基本計画は、基本構想に掲げる「ひと まち みどり 未来に光り続けるふるさと 大多喜」を実現するため、基本目標の達成に向けて取り組むべき具体的な施策を定め、実施計画として進めております。しかしながら、近年では、コロナウイルス感染症の世界的な蔓延や戦争など、社会情勢が安定せず、現在の物価高騰や人件費の高騰など、企業が積極的な投資などを控える時期であったと考えます。

町としましてもこのような情勢から鑑みて、近年、問題となっている空き家対策として、起業をする者に対して補助金の交付を行う支援を具体的な実施計画として設定し、進めてきたところでございます。工業団地などに誘致する大規模な企業誘致ではございませんが、比較的小規模での事業者の起業であったりしますけれども、これも企業誘致であり、地域の活性化や雇用などに寄与すると考えております。

また、この制度につきましては、町民が新規に起業する場合も対象となりまして、町外者につきましても本町に住民票を移すなど一定の要件はございますが、町内において新たな事業を起こす者に対して支援することで町内の産業の活性化及び発展を図るため、支援する制度でございます。実績につきましては、平成28年度に1件、150万円、平成30年度に1件、75万円、令和5年度に1件、75万円、令和6年度に2件、150万円でございます。

以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） ありがとうございます。

次に、産業開発の支援は、前期及び後期基本計画でも「国、県等の産業開発支援制度の周知、活用促進に努め」とあるが、どのように行っているのか伺います。また、「遊休地や森林・竹林等の地域資源等を生かしたバイオマス産業等新たな産業創出」とあるが、どのように行われているのか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） 産業開発の支援制度につきましては、国の経済産業省や県商工労働部等が社会情勢の変化により対応に応じた助成事業やサポート事業等を町ホームページなどで周知しております。また、商工会員にはダイレクトメールなどで周知を行っております。

バイオマス産業の創出では、森林面積が町の約70パーセントを占める本町におきまして、不要な間伐材を活用し、バイオマス燃料として活用する事業を展開する会社が本町で事業所を開業し、林業が低迷し、荒れた山林の整備を兼ね、間伐材の有効な活用に取り組んでいるところでございます。事業内容につきましては、本町の事業所で間伐材をチップ化し、近隣のバイオマス発電所に送り、地域に電力を供給しているところでございます。

以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） ありがとうございます。

私の過去の一般質問で、町が農地を取得することはできないが、政令で定める相当の事由に該当する場合は例外として取得することが可能とされています。ただし、農地を取得した場合、維持管理対策等からハードルが高い旨、回答を得ています。しかしながら、企業の誘致はスピード感を持って対処する必要があり、話があってから用地を探すのではなく、誘致の促進のためにも工業用地として活用できる農地の先行取得の考えはないか。また、遊休地は農地だけではないと考えますことから、農地以外について町の考えはどうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長。

○農林課長（秋山賢次君） 農地の先行取得に関しまして、農林課からお答えさせていただきます。

農地法及び農地法施行令により、市町村の農地保有につきましては制限がございます。議

員ご指摘の政令で定められる相当の事由に該当する場合とは、学校の実習農場や試験圃場、街路樹の育苗用地、市民農園整備促進法に基づく市民農園などに限定をされております。そのようなことから、工業用地としての農地の先行取得は、政令で定められる相当の事由に該当するものではないと考えられ、先行取得は難しいものと考えます。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） 続きまして、企画課からお答えさせていただきます。

工業用地として土地の先行取得をしないかのご質問ですが、町基本計画では、企業誘致につきましては、遊休地及び企業ニーズの把握に努めることとしております。

企業誘致に当たっては、多種多様な企業ニーズがある中で、あらかじめ一定規模の土地の取得など、先行投資をする予定はございませんが、遊休地の把握につきましては、空き家、空き土地情報の収集や寄附行為等の地権者の意向による情報の収集に努めながら、本町では、昼間人口が県内でも上位にありますように、企業にとっての本町の利点、強みを情報発信しながら、個別具体的な企業のニーズに沿って対応してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 答弁ありがとうございます。

人口の流出を防ぎ、人口減少に歯止めをかけるためには、働き口を増やす必要があると考えます。実績のある企業を誘致することにより、地域経済の活性化や新たな雇用の促進及び税収の確保が期待され、従業員者数30人以上や以下にかかわらず、企業誘致が推進できればと思います。しかしながら、工業用地として活用できる遊休地の調査や企業の求めるニーズの把握など、企業誘致は片手間で行われる仕事ではなく、企業誘致を積極的、重点的に進めるためには、企業誘致推進課や商工観光課の中に1室を新たに設置し、専門に推進すべきと思うが、町長の考えはどうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） ただいまの質問について、商工観光課からお答えさせていただきます。

専門的に推進する課などを考えてはどうかということですが、現在、商工観光課商工労政係において、企業誘致を含め商工業振興を分掌事務として各事業の推進に努めているところでございます。企業誘致につきましても相談があった場合などにも関係各課と連携しており、十分な対応は取れていると認識しております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） 山口議員からのご質問で町長にもというお話でございましたので、お答えさせていただきたいと思います。

私が町長になって2年半近くなりますけれども、その間に、やっぱり幾つか大きな案件のお話をいただいております。今も現在、2つほどいただいております。あくまでもそれは、どちらかという、こちらから仕掛けていくというよりも政策的に大きなところから、どんとダイレクトに私のほうに話が入ってくるということが多うございます。

そういうときに、まず最初に、そこときちんとお会いさせていただいて、どのような案件でどのようなものをお好みなのかということをお話しさせていただいて、そこですぐ各担当課のほうに予告しながら、私の指示の下で動かさせていただいております。そういうことで、今現況としては、推進課をつくるよりも私からの直命で皆さんに動いていただくということのほうが話は早いのかなというふうに思っています。

ただ、なかなか大きな、例えば、200人も300人も雇用するような会社というのは、なかなか話としては上がりづらいかと思っておりますけれども、さきにお話をさせていただきましたけれども、小規模ではあっても、例えば、家内工業的なような企業誘致とか、そういったことを含めながら進めていきたいと。

今商工会と、私も商工会出なものですから、よく商工会に行くと話も聞くんですが、今の商工会の中で一番の問題点は何だということなんですけれども、実は、山口議員が、町内の皆さんから働くところがない、働くところがないというお話があるんですが、今町内の企業で一番困っているのは働き手がないということが、逆に町内企業から出ております。私が、実は、経営していた会社でも実際には働き手が来ないということで、大卒を採ったりしながら、全部アパートをこちらで借りたりしながら。

働く場所がないというよりも働く職種が少ないのではないのかなという気もいたしております。ですから、やっぱり職種になりますとちょっとある程度限られた地域性があるかというふうに思いますので、正直、町民の皆様にも、今商工観光課といろいろやっておりますけれども、町内の企業連絡協議会で、このようなところでこのような仕事をしていてこんなぐらいの人が欲しいんだよということを発信されていると思いますが、なかなか町内の皆様も自分のやりたいこととは違うものが幾らあってもそこに来ないというようなこともあろうかと思っております。

その辺も踏まえて、ちょっと話ずれましたけれども、直結した何か新しい課とか新しい室をというよりも、もし大きなところについては我々のほうから直接振らせていただく、そして小さな案件については、担当課のほうから細かな指示をさせていただくという方向で進めさせていただければありがたいというふうに考えております。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 町長から丁寧なご答弁をいただき、誠にありがとうございます。

企業誘致は、地域経済の活性化、雇用の拡大及び税収の確保が見込まれる等、多くの町民が期待しているところでございます。ぜひ前向きな取組をお願いしたいと考えます。

続きまして、2の保育園・小中学校におけるキイロスズメバチ対策について質問させていただきます。

先月、庭で花木に水をかけようとしていたところ、黄色の蜂を見ました。アシナガバチより大きく、全体的に黄色の蜂でした。一瞬、怖いと思いましたが、特に襲ってくることもなく、飛び去っていきました。後でインターネットで調べてみたところ、スズメバチの仲間、キイロスズメバチとあり、晩夏から中秋にかけて被害が多発するとありました。

一口に蜂といっても刺す蜂と刺さない蜂がいます。刺す蜂は、蜜蜂、アシナガバチ、スズメバチ等のメス蜂で、腰がくびれて自在に曲げられ、毒針を刺しやすくなっています。刺さない蜂は、ハバチ、クキバチ、キバチ等で、腰がくびれていません。

私たちの身近な存在で民家の周りに巣を作る蜂は、蜜蜂、アシナガバチ、スズメバチの3種類です。

蜂に刺された経験がある人が再び刺されるとアナフィラキシーショック、急性のアレルギー反応を起こすことがあり、ひどいときには意識不明に陥り、急死することもあります。厚生労働省の人口動態統計によれば、毎年10人から20の方が蜂に刺された事故で亡くなっております。直近の令和4年9月に発表された令和3年の死者数は15人で、対前年比プラス2人となっています。

キイロスズメバチの生態は、体色は鮮やかな黄色です。働き蜂の大きさは17から24ミリ程度で、オオスズメバチの27から40ミリと比べ、小柄な種類です。巣づくり初期の春に生まれる蜂はやや小さめで、巣が大きくなる夏に生まれる蜂は大きめになります。食性は多種多様なものを食べ、ハエやアブ、蜜蜂など小型の昆虫やクモのほか、人間が捨てた残飯や飲み残しのジュースなども食べるそうです。

分布は、沖縄県を除く日本全土に広く生息しています。本州から南の地域に生息する種が

キイロスズメバチで、北海道に生息する種はケブカスズメバチと呼ばれ、亜種として区別されています。

キイロスズメバチのライフサイクルは、3月から4月で巣づくりスタートをします。多くの蜂が活動を始めるのは、本格的に暖くなる5月頃ですが、キイロスズメバチは早ければ3月下旬頃から活動を始めます。冬眠していた女王蜂が春先に目覚めるところから始まります。

初期の巣は土中、木のうろ、空洞状の空間を指します。床下、屋根裏、石垣や壁の隙間、戸袋の中、エアコンの室外機の中など、閉鎖的な空間に巣を作ります。3月下旬頃はまだ気温が低いため、少しでも暖かい周りを囲まれた場所で敵から身を隠す目的もあるようです。最初は女王蜂が1匹で巣づくりをし、最初の数十匹の働き蜂を育てます。次に、5月から8月は働き蜂が羽化し、巣が急速に大きくなり、活動が活発な時期になります。

キイロスズメバチの特性としては、すぐ引っ越しをするという点があります。引っ越し先の巣は、初期の巣から100メートルほどの離れた範囲に作られるそうですが、働き蜂が生まれて数が増えると、より広い場所へ新しく大きな巣を作って移住するのです。引っ越し先の巣は、木の枝、軒下、ひさしの下、屋根裏など、開放的な空間へ引っ越して巣を大きくします。次に、9月から10月は巣の大きさと蜂の数がピークに達します。地上に巣を作るスズメバチの中で最も大きな巣を作るのがキイロスズメバチで、最盛期には、その大きさは最大で直径1メートル、蜂の数は1,000匹に達することもあるそうです。

最盛期を迎えた巣には、新女王蜂と雄蜂が誕生します。秋頃になると成長した雄蜂や新女王蜂も巣立っていきます。繁殖活動のためです。子を宿した新女王蜂は、付近の軒先や土の中など安全な場所に越冬室と呼ばれる部屋を作り、11月から翌年の春まで冬眠に入ります。役目を終えた雄蜂や巣に残された働き蜂、旧女王蜂は、冬を越すことなく息途絶えてしまい、翌年以降、同じ巣が使われることはないそうです。

キイロスズメバチの特性は、非常に攻撃的で、刺されたときの毒性も強いです。オオスズメバチという昆虫界最強の天敵に対抗するため、特に秋頃には、新女王蜂が誕生して防衛本能が高まり、オオスズメバチに巣を襲撃されることも多い時期のため、警戒心はピークになり、常に気が立っている状態です。巣に近づくだけで威嚇や攻撃をしてくることがあります。

そこで伺います。保育園、小中学校及び教育施設等において、キイロスズメバチ等の巣の有無を確認しているか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 山口議員の質問に、教育課のほうからお答えをさせていただきます。

スズメバチに刺される被害は、夏を過ぎると毎年その被害がニュースで報道をされております。また、キイロスズメバチは人家の軒下などによく巣を作るなど、比較的身近に巣を見かけることがございます。

このキイロスズメバチの巣の確認ですが、保育園や小中学校などの教育施設につきましては、施設周辺に蜂の目撃情報が寄せられたときに、周辺を見回り、巣があるかどうかの確認をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 回答ありがとうございます。

次に、キイロスズメバチに刺されないための4つの対策として、1点目は、巣に近づかないこと、巣を見つけた場合には巣から10メートル以上離れること。キイロスズメバチが人を襲うのは巣を攻撃されると認識したときだからです。

2点目は、刺激を与えないこと。巣に近づいてしまった場合、大声を出したり、蜂を手で払ったり、走ったりしてはいけません。蜂は攻撃されたと勘違いすることがあります。巣から出てきた蜂が近くをまわりつくように飛んでいたら警戒の合図です。しばらく飛び回って警戒を続け、次に、空中で停止してホバリングをするようになります。威嚇行動に移る直前の段階です。この段階で威嚇に気づいたら、そっと後ずさりしてその場を離れます。蜂は下方向の視界が狭い特徴があるので、姿勢を低くして、ゆっくりともと来た道を引き返します。ホバリングをしても人間が立ち去らない場合、スズメバチは羽の音を響かせながら飛び回るようになります。また、顎をかみ合わせてかちかちと威嚇音を発します。これは人間への最後の警告です。次第に左右に円を描くように飛ぶようになり、同時に警報ホルモンを出して仲間を呼ぶようになります。警戒、威嚇の段階を経ても人間に効果がないと、ついに攻撃を始めます。針から毒液をまき散らしながら体当たりをしてくるので、とにかく逃げなければなりません。スズメバチから身を守るためには、警戒行動、威嚇行動の段階で気づくことが重要です。

3点目、香りの強いものを使わないこと。蜂がいるおそれのある山間部などへ出かけるときには、香水や整髪料、柔軟剤の香りがついた衣類の使用を避けることです。これらの強い

香りは、蜂が発する警報ホルモンに似た成分が含まれていることがあり、蜂を興奮させるおそれがあるためです。また、一部の清涼飲料水にも同様の成分が含まれていることがあるので、屋外で飲食する際には、甘い香りのする飲料はできるだけ飲まないようにすることも大切です。

4点目、黒っぽい服を着ないこと。蜂がいそうな場所に近づくときには、黒や紺など、濃い目の衣服を着ないように注意することです。蜂は、敵を攻撃する際に、黒い部分を率先して刺す習性があるからです。白など明るい色の衣類で肌を覆い、帽子などで黒い頭髪を隠すことで、蜂に刺されない対策として一定の効果があるようです。

ここで伺います。園児の園外保育に当たり、危機管理マニュアル等を作成し、外遊びや屋外散歩等において、事前に経路等を確認しているか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 保育園や各学校では、危機管理マニュアルを作成し、屋外活動に限らず、けがをした場合などの応急処置の対応について作成をしております。

町保育園では、本年4月に県の自然環境保育の認証を受けましたが、園外保育など数多く実施しておりますけれども、川遊びなどを実施する際には事前に下見をするなどの対策をしております。また、県民の森などに行くことも多いのですが、その際にはできるだけ黒い服の着用はしないよう周知をしております。また、小中学校につきましても危機管理マニュアルに基づき対応しておるところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 回答ありがとうございます。

次に、万が一、キイロスズメバチに刺されてしまった場合には、早急に処置をしなければ命の危険があります。

蜂に刺されたら、1、速やかにその場から移動することです。30メートル以上離れるか室内に避難するのが安全です。

2、蜂の毒は水に溶けやすいため、患部を水道水など清潔な流水で洗い流すことです。水で患部を冷やすことで、毒の巡りを抑える効果もあります。

3、蜂などの毒を吸い出す応急用毒吸い取り器ポイズンリムーバーがあれば、使用して毒を吸い出すことです。なお、毒吸い取り器がない場合や頭部、または衣服に隠れた部分で毒吸い取り器が密着できない場所を刺された場合は、指で患部をつまんで毒を絞り出すことで

す。口で吸う方法は、口の中の傷や粘膜から吸収される二次被害のおそれがあるためしてはいけません。

4、症状としては、刺された場所が赤く腫れたり痛みが出たりする局所症状と刺された場所以外にも目まいや息苦しさ、蕁麻疹などが出る全身症状があります。局所症状の場合には、ステロイド外用薬や抗ヒスタミン外用薬などの虫刺され薬を塗って患部の腫れや炎症を抑えることです。多くのケースでは、数時間ぐらいで症状は改善してきます。全身症状の場合には、刺されて数十分から1時間以内ぐらいでアレルギー反応、アナフィラキシー症状が出て、皮膚症状、消化器症状、呼吸器症状の順で深刻度が増し、重篤な場合は血圧が急激に下がり、急に意識がなくなって死亡することがあります。これがアナフィラキシーショックで、蜂による死者の大半を占めるそうです。

5、蜂毒によるアレルギー反応は、時間を置いて現れることがあるため、できるだけ早く病院を診察することです。場合によっては、救急車で速やかに病院を受診することも必要となりますが、アナフィラキシーに備え、アドレナリン自己注射キット、エピペンを備えておくことも有効かと思えます。なお、エピペン注射液は、医師の治療を受けるまでの間、アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤であります。

ここで伺います。保育園、小中学校及び教育施設等でキイロスズメバチ等に刺された場合の対処法として、1、その場から離れる、2、患部を水で洗う、3、毒を絞り出す、4、虫刺され薬を塗る、5、病院に行く等について、職員間等で共有しているかどうか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 先ほども答弁をさせていただきましたけれども、危機管理マニュアルの中に、けが等の応急処置の対応がありますけれども、その中に、虫や蜂などに刺されたときの対処法も記載をされております。また、その内容につきましては、職員間で共有をしているところでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 回答ありがとうございました。

次に、先ほど応急用毒吸い取り器ポイズンリムーバーやアドレナリン自己注射キット、エピペンの話をしましたが、ここで伺います。

キイロスズメバチ等に刺された毒を吸い出すポイズンリムーバー等の毒吸い取り器具やアドレナリン自己注射キット、エピペンについて、保育園、小中学校及び教育施設等で常備しているか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 蜂などに刺されたときには、直ちに体内に入った毒液を排出しなければなりません。このポイズンリムーバーは毒液を吸引作用により抽出する器具となります。この器具は、医師の手当を受けるまでの応急処置として大変有効であると思います。このポイズンリムーバーにつきましては、保育園、また小中学校でも常備をしているところがございます。

もう一点、アドレナリン自己注射キット、エピペンを常備しているかというご質問ですが、このエピペンは、アナフィラキシー症状を起こした場合にその症状を緩和するための注射薬でございます。このアナフィラキシー症状は、蜂に刺された場合などにも発症する可能性があります。このエピペンは一般薬でありませんので、医師の処方が必要となります。エピペンは、処方された本人や保護者、また学校の先生、保育士であれば緊急時に打つことができますが、学校や保育所でのエピペンの使用は、エピペンを処方された生徒や園児に対して緊急に行うのであれば許可の必要はございませんが、それ以外の生徒に打つことは認められていないところがございます。このようなことから、蜂等に刺された場合に使用するエピペンは、保育園、また学校では常備はしてございません。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 回答ありがとうございました。

次に、キイロスズメバチに巣を作られたときの駆除方法ですが、巣ごと駆除するのが推奨されています。大きくなって蜂の数も増えた巣は危険度が高く、駆除は大変な作業となります。

ここで伺います。保育園、小中学校及び教育施設等で巣を発見した場合、役場に連絡して巣ごと駆除した事例はありますか。また、町民の自宅敷地内で巣を確認した場合の駆除方法について、この場合も役場に連絡することでよいか伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 保育園や学校施設内でアシナガバチの巣があったという報告は何度かございますけれども、スズメバチの巣があったという報告は、私の知る限りではございません。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） ただいま町民の自宅敷地内で巣を確認した場合の駆除方法について、この場合も役場に連絡することでよいということなんですけれども、こちらにつきましては、環境水道課のほうからちょっとお答えさせていただきます。

駆除方法というのは、特に私どものほうで駆除は行っておりません。蜂の巣をどうしたらいいんだという問合せが多いんですけれども、その場合には、町内の業者、もしくは近隣の業者を紹介するという形を取っております。確実に統計は取っておりませんが、ここ近年は、大体年間20件ぐらい問合せがあるという感じになっております。

○議長（渡邊泰宣君） 9番山口定夫君。

○9番（山口定夫君） 丁寧な回答をありがとうございました。

さて、キイロスズメバチは危険生物として恐れられていますが、人間に恩恵を与えてくれる一面もあります。スズメバチはハンターとして昆虫を狩るので、害虫駆除にも役立ちます。植物を食い荒らす害虫をつかまえることで、人間が育てている樹木や農作物を守ってくれるのです。また、キイロスズメバチは、植物の繁殖を手助けすることもあります。スズメバチの成虫は、狩りに出かけた先でおなかですくと植物の花から花へ飛び移りながら蜜を吸います。このときに足や背中に植物の花粉が付着し、別の花へ花粉を運ぶことで受粉をさせているのです。

キイロスズメバチ等が人間に危害を加えるおそれのある場合は駆除する必要がありますが、そのような意味でも適切に距離を取って共存していくことは、人間にとっても多くの利益をもたらすことにつながるのかと感じさせられました。

以上で、私の質問を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（渡邊泰宣君） 以上で山口定夫君の一般質問を終了します。

一般質問の途中ですが、ここでしばらく休憩します。

2時10分から会議を再開します。

(午後 1時56分)

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後 2時10分)

◇ 吉 野 一 男 君

○議長（渡邊泰宣君） 一般質問を続けます。

次に、11番吉野一男君の一般質問を行います。

11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） 11番吉野一男でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告に基づきまして、ただいまから一般質問をさせていただきます。また、山口定夫議員と重複することがありますので、またよろしくお願ひしたいと思います。

最初に、町長の政治姿勢についてお伺ひいたします。町長、ご答弁のほうよろしくお願ひします。

最初に、本町は老川地区、西畑地区、総元地区、大多喜地区、上瀑地区で構成されております。

そこでお伺ひいたします。各5地区の小さな拠点づくりが必要ではないかと考えますが、町長のお考えをお伺ひいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

（「町長じゃないのか」の声あり）

○企画課長（米本敏克君） はい。すみません。最初に私のほうから、企画課のほうからご質問にお答えさせていただきます。

国土交通省が所管します小さな拠点づくり事業、こちらで申しますと、人口減少の影響が顕著な地域におきまして、生活に必要なサービス機能やコミュニティー機能を維持するため、地域住民が自治体や事業者、各種団体と協力、役割分担しながら、小学校区など、基礎的な生活圏において、買物、交通、医療、福祉などの生活サービスの拠点をコンパクトな範囲に集め、また、この拠点において地域資源を活用し、仕事、収入を確保するなど、一定の生活圏を形成する取組を小さな拠点づくりとしております。

この拠点づくりでは、それぞれの地域によって、地域住民が生活に必要なニーズを基に、既存の公共施設や使用していない校舎、商店、事業所などを活用し、行政の支援と並行しまして、地域住民や地域組織等が主体となりまして、運営規模等に見合った持続可能な取組を目指すものとされております。

ある地域におきましては、地域住民が運営組織を立ち上げまして、閉鎖となりましたJA支所を活用し、日用品の販売、ガソリンスタンドや産直市場の運営を行っている地域などもございます。

地域の生活において人の集まる場、また、あわせて、交流や観光で訪れる方が集まるようになにぎわいづくりの場は、地域住民が主体となって地域と暮らしを支える活動を行うこと、

またその拠点となる場所づくりが必要とされております。

国土交通省が提示するこういった事業もございますが、本町におきましては、特にほか自治体に比べても非常に広い面積を有しております。議員がおっしゃられるように、旧小学校区単位を基本に考えつつも、効果的な既存施設の活用やエリアの捉え方、進め方を地域の方々がどう認識されているか改めて把握しながら、またそういった拠点づくりが持続可能な取組となりますよう、行政としての支援を考えてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） それでは、吉野一男議員からのご質問について、お話しさせていただきますと思います。ちょっと長くなりますけれども、よろしいですかね。

吉野一男議員のほうから、日頃、私が多分お話しさせていただいているようなことを改めてきちっと議会の場で話せよというような時間をいただけたのかなというふうに考えておりますので、私のほうで、今考えさせていただいている5つの地区に対する思い入れみたいなものを少ししゃべらせていただきたいと思っております。

私、正直言いまして、住んでよし、訪れてよしのまちづくりということで、それを主眼にして町長立候補させていただきました。住んでよしというのは、やっぱり地域に誇りを持って、自分たちがこの地域に住んでいてよかったなというような郷土愛をしっかりと持って生活できるというようなこと、これが全て、町民の高いブランディングの一つになるんじゃないかというふうに思っております。そういうことから、こちらからいきますと上瀑、大多喜、北からいきますとね、それから総元、西畑、老川というような、旧合併前でいきますと1町4村が5地区に当たるのだらうなというふうに思っております。それぞれの地区に、今までは生活のパターンや生活のそれぞれのなりわいがあったわけでございます。

私が考えていました上瀑地区については、もう今、1つ実行させていただいておりますけれども、中田耕地にハーブパークの花の部分、そういったものを見られるようなものをつくらせていただいて、農業を基本と、軸としますけれども、農業の中でも、めぐる、心の、要するに、幸せを感じられるような花を使った農業施策にしたいということで、上瀑にまず1つつくりたい。

あともう一つは、上瀑にある台の古墳群、これをやはり史実に基づいて、本多忠勝がここに来るようになったのは、実は、台に古墳群があって、もともとの豪族があそこで房総の経済と政治の中心地を担っていたという事実をはっきりと町内外の皆様にご存知いただくとい

うことで、まずそれをはっきりと発信していきたい。

あそこの古墳群があったがために、先ほど渡辺議員じゃございませんけれども、道路網が千葉県中に大多喜を中心として発達していったわけで、それを見据えた本多忠勝がこの大多喜に居城を構えて、いろんなどころですぐ行動を取りやすい地域性をいち早く発見したといえますか、そういうことから、実は、本多忠勝が中世になってからここに来た。要するに、本多忠勝が来るまでの間、古墳時代ですから、3世紀から5世紀の間ぐらいにはもう既にもうここが房総の、要するに要地となるための基礎ができていたということ、それを町外の皆様に知っていただきたい。

それから、大多喜はちょっと飛ばしますけれども、総元地区については、もともとは総元小学校の跡地に、実はパンプトラックなどのサイクルスポーツのメッカをつくりたいということを考えておりました。大多喜は、ちょうどここから15キロぐらいで海にも行けるし、山もあって、サイクルスポーツのメッカにはちょうどいいというような場所になっておりますので、そのサイクルスポーツのメッカの中心として、実は、パンプトラックをつくりたいというふうに考えています。まだ、総元小につくるのは諦めたわけではございませんので、いろんな今問題も出ていますので、スムーズにはいかないかなと思っておりますけれども、幾つかの拠点を考えながら、自転車を使った総元地区の再興を狙っていきたいというふうに考えております。

それから、西畑地区については、大塚山という山がございまして、大塚山については、実は、以前に末吉議員に連れて行っていただいたマウンテンバイクというものを体験してまいりました。サイクルスポーツの一つで、とてもスリリングでなかなか面白い、そういったところが、ちょうど大塚山にはマウンテンバイクには即しているというのを実感しておりますので、総元、西畑、それから老川についてもサイクルスポーツとして順繰りとあちこち回れる。大多喜の中田耕地の、実はフラワーパーク、あの辺に駐車場等とはこれからつくりますけれども、そこにレンタサイクル場とかをつくって、そこからレンタサイクルを借りて、いろんな地域を遊んでいただけるような形にしていけたらいいなというふうにも考えております。

それから、養老溪谷、老川につきましては、今ちょうど1反歩ほどつくりましたが、食香バラという食べられるバラ、これを今植えてございます。そして、あともう1反5畝ぐらい、食香バラ植える形取っておりますけれども、食香バラを使った、紅葉の時期じゃない5、6月ぐらいにもお客さんを呼び込めるというようなことも考えております。

それから、以前、実は、老川地区の皆さんの懇談会のところにもお話ししていたんですが、老川に遊びに来て養老溪谷というけれども、どこに溪谷があるのかというような質問するような方もいらっしゃるということで、できれば、つり橋等も養老溪谷につくれないかということで模索をしておりました。当初は、建築確認の関係とか、橋の何かいろいろと面倒くさい計算方式があって、つり橋は今なかなか許可できないだろうということもありまして、それなりに20億円とか25億円かけないと橋ができないということだったんですが、実は、2年間半かけていろいろ調べ上げて、一つの方向性に行き着きました。それが、実は橋ではない小規模つり橋という、この小規模つり橋指針というもののにのっとってつくと、車を通したりしない人間が歩く程度のつり橋であればできるよということを実は確認が取れました。

今議長にお許しいただきましたので、ちょっと写真をお見せしますが、実は、このような小規模つり橋という人間が歩いて渡れるようなつり橋、こういったものをつくりたい。

これは、正直言って、岩井原が、今のところ2つの町道で岩井原に入っていく道があります。1つの町道は、今一生懸命使わせていただいている落石がちょっと多い町道、ここについても落石防止用の柵は設けましたけれども、大きな地震が来るといつ崩れるか分からないという状況もございます。もう一方の、岩井原新道という町道だったかな、老津線に上がっていく町道ですけども、あそこは、もうほとんど町道のていをなしていない。もう下手すると場所は獣道程度の狭いものもありますし、道の右側、下から岩井原に上がっていくと右側、垂直の壁になっていて、上が老津線になっていますので、何かあってがさがさと崩れた場合には人が歩けるような形ではない。ですから、できれば、岩井原新道、それを廃止して、人命だけ、何かあった場合には助けられるようなつり橋をつくって、それを観光の、要するに拠点の一つにもしていきたいというようなことを今考えています。これが大体4つの村ですね。

最後に、大多喜ですけども、大多喜は実はお城もあつたり、旧町並みもありますけれども、旧町並みそのものが、大分空いてきてしまっている、空き家になってしまっているということで、ここにできれば、以前、それこそ森議員が連れてきていただいた、あれは立教大学の方たちの提案の中で、大多喜のこの静かな雰囲気町の並みに、例えばガラス細工だとか、陶芸家さんたちがここに集って、そういうようなものを作って販売したりするような、こういう町並みに合うような、景観に合うような産業を起こしたらいかがでしょうかというお話を実は聞いたことがございます。

これについて、いろんな方とお話ししていましたが、今、東京造形大学の生嶋さんという副学長が、そのお話に大変興味を示してくれていまして、一度、町長、会いませんかと。自分のところの学生たちが、要するに、ガラス細工ですとか陶芸とかやっていますので、そういう子たちがここで起業するとかというような話が結びつけられればとてもいいと思いますという、実はお話もいただいております。そんなことで、皆様のお力を借りたり、お知恵を借りたりしながら、5つのもとの1町4村、それぞれの地域に、雰囲気合ったものの中につくっていききたいというふうに考えております。

あくまでもこれはまだ一部は構想段階でございますので、どこまでできるか分かりませんが、大多喜として、皆さんが、うちの町はこんなにいい町なんだよ、うちの町に来てみてよ、1回来てみたら本当にいいところ分かるよと言っていたようなまちづくりを各拠点ごとにつくって行って、ポイントを少しずつ高めていきたいというふうに考えております。

ちょっと長くなりましたけれども、私の思いを話させていただきましたので、よろしくご理解いただければと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） 町長、大変ありがとうございました。

確かに、実際にもう本町、5地区ありますので、各地区ごとに、こういう町長の肝煎り、特に、これ今言われたことを実行していただければありがたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

本町は観光客が来ても1日ゆっくりと過ごせる場所がないため、勝浦から鴨川方面にほとんど行ってしまわないかと危惧しております。面積が129.87平方キロあるために、コンパクトシティーは非常に難しいため、各地区のにぎやかな場所を何か所か選定して、特色を生かした小さな拠点づくりをすれば、観光客誘致並びに地域振興にも役立つのではないかと考えております。今、町長が言ったとおり、そういうものをつくれれば拠点づくりになりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、今後において、地域資源を生かした施策及び町長の独自の人口減少社会における異次元の子育て支援並びに少子化対策の将来構想、ビジョンをぜひ策定していただきたいと思ひます。今よりもさらなる施策を実行していただきたいと考えております。ぜひよろしくお願ひします。

では次に、本町は農業振興地域の指定を解除しなければなかなか発展しないと私は考えておりますが、町としてどのように農振地域の指定解除を考えているのか。本町に企業や事業

所などが入りたくても農業振興地域になっているため、解除に時間がかかるので、企業誘致等が難しいと言われております。町として農振地域の指定を解除することは、喫緊の課題であると思います。町長のお考えをお伺いします。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長。

○農林課長（秋山賢次君） ただいまのご質問に対しまして、農林課からお答えさせていただきます。

農業振興地域とは、農業振興地域の整備に関する法律において、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与することを目的として整備計画が策定されているものです。この計画は、都道府県知事が農業振興整備基本方針に基づき、一定の地域を農業振興地域として指定するものであり、変更や補正などの際は、国と町の同意の下、県が策定するものとなります。

そのような中で、今年5月の国会において、食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律が可決、成立されております。この法律改正により、食料安全保障の確保、農地の適正利用、農地の最大限活用を目指し、農振地域の整備に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法の一部が改正され、農地の利活用において、今まで以上に転用規制や農地の権利取得の厳格化が図れることとなります。

農業振興地域整備計画の中に存在する農地で、法律の基準を満たした農地及び補助事業を実施した受益地などは、農用地に指定することが求められますが、具体的な活用計画があれば、計画区域内の農地については、国・県との協議対象となり、農振除外の可能性もあると思われまので、今後、計画ができた時点で国・県と協議をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） ありがとうございます。

それと課長、農振地域なんですけれども、大多喜町の町内、どのくらい面積的にありますか。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長。

○農林課長（秋山賢次君） すみません。具体的な数字、用意しておりませんので、後ほどお答えさせていただきたいと思います。

（「分かりました」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） ただいまの吉野一男議員の農振地域どうするのよという質問でございますけれども、今農林課長のほうからお話がありました。なかなかやっぱり農地を守るといことで、国民の食料をきちっと確保するという観点から農振法があるといことで、この5月にもさらに強化されたといことは今お話が出たと思いますが、その中でも、町として具体的な活用計画があれば、計画区域内の農地については除外の可能性もあるよという最後、一文があったかと思ひます。

今までの大多喜におきましては、要するに農振地域がやたらめったらあるわけで、あそこに企業誘致、起業したいなという方のお話があつても、農振解除から始めさせていただきますといことになりますと、大体1年半から2年近くかからないと実際にそこに着手ができない、いや、そんなには待てないよといようなお話が多く聞かれております。

これから、また皆さんとのご相談にはなります。といのは、町の方向性をきちっと議会とすり合わせをして、議会のほうもそれでいいよねと、まず広い範囲からできないと思ひますが、この地域については農振を解除して、ここに新しく来られる住民とか、企業を誘致したいねといところで、農業振興地域は解除しつつも農業地域にはそのまま農地にはしておくとい状態のものを皆様と一緒にたつてつくっていくといことで、農振解除の約1年以上かかるような手間、要するに時期を省いておくと、そうすれば、あとは農転だけの作業で済みますので、できるだけクイックリーにきたいとい方たちにご提示できるような流れをつくってきたい。

ただ、そのためには、きちっとした農地も守らなければいけないといこともありますので、例えば、今水田でも、令和元年の台風等々で、去年台風等々でとうとう水利が壊れてしまったといような田んぼ、これ実際には田んぼにもならないといようなところもありますので、そういうところを畑地化して、きちっと畑作地として確保していく、もしくは水がなくてもできる畑作地の作物を選んでいくといようなことも政策的にしっかりと備えて、町としては、こっちは解除はするけれども、ここはしっかりと農地残すんだよといような色分けをしながら、はっきりと進めていければといふふうに考えております。これも皆様のお力を借りないとなかなか方向はできないと思ひますので、よろしくお願ひしたい。

実際に、水田から用水が滞ってしまつて、畑地にしなきゃいけない、でも、畑といつても実際には水がなくてはいけないといのが本来は畑でございますけれども、今試しに、これからの世界の食料事情をカバーするために、ウチワサボテンといサボテンがとても栄養価が高く食料には向いているのではないかといことで、メキシコの、実は大使館のほうか

らご紹介いただいた会社と今ウチワサボテンの試験的栽培に入っております。これがもしもこういう土壌でも合うということであれば、サボテンを一つの産地化することも可能かなと。そうすると、井戸を掘ったりしなくても作物栽培ができると。それで、農地をしっかりと確保することで、片方は農地から外すというような方向性も見えてくるかと思っておりますので、ちょっと気長な話にはなるかもしれませんが、2年、3年のうちには何とかなればというふうに考えておりますので、その節には、またご協力をいただければと思っております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） ありがとうございます。大変貴重なお話をいただきまして、ありがとうございます。

特に、サボテンは、確かに水が要りませんので、ぜひそれは、大多喜町にしてはいいんじゃないかと思っております。そんなに手間がかかる問題じゃないですので、農業をやる人が、結局そういうものが手間のかからないのでやっていただければありがたいんじゃないかと。これは、これからも高齢化になってきますので、ぜひそういう方向を進めていただければありがたいと思っております。

特に、これは後でまた話しますけれども、私が考えている地先は同じだと勝手に、私、解釈して失礼だと思っておりますが、できるだけ早く農振地域の指定を解除したいと考えている場所は、地区で言っちゃいますけれども、大多喜地区は船子地先及び上瀑地区は中田耕地であると考えております。これは町長もそういう方向だと私は考えてあるわけですが、そういうことで、その地先については、実際に、そういう農振地域の関係がありますので、なかなか解除というのは難しいと思っておりますので、町が土地を購入して、宅地造成及び建築をして、入居者を募集して、賃貸で30年居住したら入居者に払い下げると、結局、町営住宅だと、どうしても入居して、町のほうですので、入っていても出てっちゃうわけですね。定住しないわけですが、町営住宅の場合は。そういう形で、期限は30年、35年でもいいんですけれども、それは町が決めた中で、ぜひ期限を決めて、30年なら30年間そこに住んでいたらその人にその価値で払い下げると、そういう方法を取らないとなかなか若い人が入ってこないし、出ていっちゃうわけですよ、そういうことがないと。ぜひね、私の考えですけれども、そういうことをやったほうがいいんじゃないかと思われま。

それで、また、組合を設立して、宅地造成を行うか、あるいは、宅地造成は結局、町が組合を設立して宅造関係やるんですが、それを組合員が分譲するという形になりますので、こ

それは町が中に入るわけですがけれども、実際に町が関与するのは、そういう方向づけだと思っ
たんですけれども、そういうことでやり方があると思います。

それと、あるいは、町が民間企業と連携協定を締結して地域創生を考えるか、それとも企
業誘致、いずれかが考えられるんじゃないか。結局、そういうものを国でも地方創生でやっ
ていますけれども、やっぱり町ができなければ、民間と共同でやっても、これは一番ベター
だと思うんですよ。町だけじゃできなければ、民間を引き込んだ中で、そういうものを開発
していくと、こういう形が、これからは町も金がないので、できればそういう民間業者と一
緒に、一体になって開発をしていくのが一番ベターじゃないかと思われま。

東京都みたいに金があれば別なんですけれども、各市町村、あるわけですがけれども、金
がある自治体はそんなにないと思いますので、そういうこともぜひそういう方向で進めていた
だければ、これは私の考え……

○議長（渡邊泰宣君） ちょっと吉野君。今どういう進め方をしているのか、ちょっと通告か
ら外れてきている。

○11番（吉野一男君） いや、質問するわけではないが内容を言っているわけだから。

だから、そういうことで、民間企業と連携を締結して地方創生やっていくと。それと、そ
ういうものを企業誘致、いずれかが考えられるんじゃないかと参考にさせていただければあり
がたいと思います。

また、農振地域は、解除することは、町長として画期的なことで、他の例を見ないことで
あると思いますので、ぜひそういうものをやっていただき、また旧態依然のままではね、進
捗がないため、町長の英断で解決していただければありがたいと思います。ぜひよろしくお
願ひいたします。

それと、いずれにしても人口減少になると、大手のいなげやなどは結局、人口が少なくな
ると撤退するかもしれません。そうならないように、船子地先は重要な拠点になると考えま
す。そういうことで、大多喜地区は観光面では……

○議長（渡邊泰宣君） 吉野君、今通告以外に、何かいろいろ出てきているんですけども。

○11番（吉野一男君） だから、これはね、この中で言っているわけだから、こういうもの
をつくったほうがいいとかと言っているわけだからさ。

だから、そういうことを船子地先は重要な拠点なども考えられます。

そういうことで、大多喜地区は、観光面では大多喜城を中心としたまちづくり及び町並み
整備事業が最重要課題になってくると考えます。よろしくお願ひしたいと思います。

次に、旧上瀑小学校の跡地有効活用計画については、少子化の進展により、町民に親しまれながらもやむを得ず平成27年3月に150年の歴史に幕を閉じたわけではありますが、学童保育で教室を使用し、その後、大多喜小学校敷地内に学童保育施設、児童クラブたんぽぽが新設されたため、現時点で旧上瀑小学校の活用がされていない。鋭意検討中であると思いますが、どの程度進捗しているのか、具体的な検討状況を伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 財政課長。

○財政課長（君塚恭夫君） それでは、財政課のほうから、旧上瀑小学校の活用の進捗状況について説明をさせていただきます。

議員さんおっしゃるとおり、平成27年3月末で統合により閉校となった上瀑小学校は、その後、学童保育の場として使用していましたが、令和4年2月に新たに学童保育の施設ができたことから未利用となってございました。

町では、地域活性化等のため、その活用に向け協議調整を進め、有効活用のための企画提案の公募を実施し、応募者の審査を実施したところでございます。その応募と結果についてですが、まず、応募期間については4月15日から6月14日として公募した結果、3者からの応募があり、一次審査で書類審査、二次審査のプレゼンテーションにより優先交渉権者を決定いたしました。現在は、その提案内容を基に、より具体的な活用内容や今後のスケジュールについて協議を進めるとともに、9月の下旬以降に開催予定の地域説明会や賃貸借契約に向けた準備を進めているところでございます。

その事業概要ですが、校舎を国際レベルの調理人育成のための研修施設、また一般客も宿泊可能な簡易宿泊施設の運営及びインバウンド関連の各種研修セミナー、宿泊プランなどの実施でございます。

先ほども申しましたが、現在は、具体的な活用内容やスケジュールについて調整を進めております。具体的にまとまりましたら、改めて説明をさせていただけたらと考えているところでございます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） ありがとうございます。

それと、財政課長にちょっとお伺いしますが、27年の3月に閉校になったわけでありまして、るる、いろいろ問題があったと思うんですけども、大分日にちが10年近く、これまでになるのに10年近くなっているわけですよ。交渉等いろいろしたと思うんです

けれども、その内容というか、どういう理由で遅れたのか、財政課長にお伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 財政課長。

○財政課長（君塚恭夫君） 学校が閉校になったのは27年の3月でございますが、令和4年の2月、ほぼ令和3年度までは学童保育の場として使っていましたので、実際には、令和4年度、5年度の間、幾つかの事業者から活用に向けての相談とか、現地の案内というか視察、そういったのを経た中で、今年度、公募を実施できたということでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） それと、実際に学童保育で使っているのは分かるんですけども、いずれにしても学童保育というのは、たまたま大多喜小学校に学童保育ができたからいいんですけども、ある程度、そこに、上瀑小学校で永久に学童保育をやるという計画はないと思うんですよ。何か業者を入れるということがありますのでね、学童保育入っていてもその計画をある程度事前に、何年頃にそういう業者を入れるという方向性を町としても考えて募集してもよかったんじゃないかと思われるんですが、その点、課長、どう思いますか。

○議長（渡邊泰宣君） 財政課長。

○財政課長（君塚恭夫君） すみません、その活用について、財政課として答えていいのかわからないんですが、実際に学童保育の場として使っていたときには、学童保育をやる場所がほかに適当というか、いい場所がなかったために上瀑小学校の校舎を使っていたという状況であったと思います。その中で、次の場所が決まらないうちに新たな募集とか企業の誘致とか、そういったことを進めるには、それ決まったら学童保育の行き場はどうするんだという問題が出てくるので、今までのこのような進め方になってきたんだというふうに考えています。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） それは分かるんですけども、実際的に、学童保育できたのは何年だったか。2年前、3年前だと思うんですけども、それで、実際的に学童保育ができた時点で、すぐ入る形になると思うんですけども、いずれにしても考え方として、できれば早めにそういうものを、業者選定とかプロポーザルでやるとか、いろいろあると思うんですけども、大体の期限で決めて、どうですかという業者に対して……

○議長（渡邊泰宣君） 吉野君、ちょっと外れているよ。外れているから、そのほかの質問に

して。

副町長。

○副町長（西郡栄一君） 上瀑小学校の関係で、学童で使っている間に何かできないのかというようなお話だったと思うんですけども、いろいろなものを計画しておりました。サテライトオフィスだとか、あるいは調理室を改修して使いたいという事業者もいらっしゃいました。

サテライトオフィスをやる場合に、どうしても防火関係の工事をやらないと小学校のままでは使えなかったんですね、事務所として活用する場合には。その辺の一つのネックと、もう一つの大きなネックといたしましては、学童保育、職員も今いない中でやっていたので、たまたま調理室を使ったときに、不特定多数の人が入ってくるのはあまり歓迎しないと。要は、全然見知らぬ人が入ってくるんで、子供たちが遊んでいる中にそういう人が入ってくると、非常に、安全性の問題からできれば遠慮していただきたいということで、なかなかその事業に入れなかったというようなことが一つの大きな原因となっております。

○議長（渡邊泰宣君） 今ちょっと外れちゃっているから。

○11番（吉野一男君） その中の内容で話しているんだから、そういうことで、副町長の言うことも分かりました。ありがとうございました。

次に、災害としての熱中症対策についてお伺いします。

昔は、夏は暑くて当然ということでありましたが、都市化が進み、地球温暖化によるもので異常に高温の日が続き、多数の方が亡くなるなど、今や災害と捉えるべきであると言われております。

令和5年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員の累計は9万1,467人が救急搬送されるなど、厳しい状況が続いております。実際、フランスでは2003年に熱波により1万5,000人が熱中症で亡くなったと言われております。このようなことから、公共施設、体育館等を含む、エアコンが入っていない場所は何か所で、今後、設置の計画はあるのか、あるとすれば、いつ頃設置を考えているのかお伺いします。

○議長（渡邊泰宣君） 財政課長。

○財政課長（君塚恭夫君） それでは、初めに財政課のほうから、公共施設のエアコンの設置状況についてお答えさせていただきます。

大多喜町には、役場の庁舎や中央公民館、保育園、小中学校など、多くの施設がございます。それらの施設には、全ての部屋などではありませんが、エアコンは設置されております。

例えば小中学校ですと、一部の特別教室と体育館を除き設置済みとなっております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） あと、吉野議員のほうから、今後の設置計画についてお問合せがあったかと思います。

公共施設へのエアコンの設置計画については、私からまた改めて進めさせていただきますけれども、今財政課長から説明があったとおり、学校でも一部の特別教室とか体育館、これは室内運動場とか、それから柔道場とか、いろいろとまだ未設置の場所がございます。

最初に、コロナワクチンのときに使っていたBGの中にあつた6基のうち、2基はおかげさまで、今BGの柔剣道場、あそこに入れさせていただきました。残り4つについては、今現段階では、先日お話し申し上げましたが、農村コミュニティーセンターのほうに設置をする予定で動いております。

上瀑ふれあいセンター体育館にエアコンを設置したいというふうに考えておりましたけれども、先般、話しましたように、高圧受変、要するにキュービクルの設置をしなければいけないということでございますので、上瀑の小学校を含めたトータル的な業務設計をしないといけないということで、今その委託料を予算案に、これから明日以降に出しますけれども、上程させていただいておりますので、それを見据えた上で、上瀑のふれあいセンターには進めていきたいというふうに考えております。

また、来年度以降の計画としましては、海洋センターの体育館にもうなくなっちゃったわけですので、あそこにも入れたいと思っておりますが、あそこは、15年連続の特Aということで、助成金の対象施設になっておりますので、その結果を踏まえて、来年度以降、エアコンの設置をお願いする運びとなっております。

それから、あと総元体育館については、現在、ああいう状況から今ほとんど未使用な状態になっておりますので、上瀑のふれあいセンターに設置した後に、改めてそれを考えていきたいというふうに考えています。

小中学校の特別教室につきましては、武道場とか屋内運動場、いろいろとまだまだやらなきゃいけないことありますけれども、それぞれの空調施設の大きさ等々を考えながら、機器の選定、国の補助事業等をどうやって活用するかということをも十分検討して対応していきたいというふうに思っております。

この夏の猛暑の中で運動をエアコンのないところでしていただいたりということで、大変

皆さんにはご苦労かけております。また、災害時の避難場所としても室内運動場は使わなきゃいけないということもありますので、十分それについては必要なものだという認識しております。ただ、タイミング的には、その辺をきちんきちんと前に進めていながら、なるべく早い段階で入れたいというふうに考えておりますので、もうしばらくのご猶予いただければというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） 町長ありがとうございます。

公共施設は、老若男女が自然災害等でも使用する場所でありますので、エアコンが入っていない場所は早急に対応していただきたい。よろしくお願いします。

また、全教室についてもエアコンの設置をお願いしたいと考えています。一部の特別教室は入っていないということでもありますので、できれば、全教室等に設置していただければありがたいと思います。特に、児童生徒は日本の宝でありますので、よろしくお願いします。

また、家庭においては、第一に子供のためにお金を使っていると考えます。よろしくお願いします。また、実際的に、児童生徒に対して、必要じゃないんですけども、簡単なんですけども、教育長、ちょっとよろしいですかね。家庭において、一応浪費するのは、一番何が浪費すると思いますか。一番重要なものを浪費すると思うんですけども、浪費じゃなくて必要なものなだけですけども。結局、私は子供のためのことを言っているわけですよ。だから、結局、子供たちは家庭では塾とか行くわけでしょう。専門にそっちに金を送って、あと食料品は節約しても学校のためとかで児童のためにそれを使って、塾とかそっちに使っている、そういう意味で言っているんですけども、そういう点はどうですか。一番多いのは、その点は使っていますかね。

○議長（渡邊泰宣君） ちょっとそれ、通告外になるよ。

いいですか。教育長。

○教育長（佐久間靖夫君） 今の質問なのかクイズなのか、ちょっと分からないような状況でしたが、多分、議員がおっしゃりたいのは、家庭の中で、教育費、やっぱり子供はこれから将来を担っていく、子供をしっかりと育てるということで、教育費にお金を使っている、私たちは使ってほしいと思っておりますが、それは家庭の事情とか、いろいろなケースがあって、その使い方については、それは様々だと思いますが、でも、きっと親としての思いは、やっぱり子供を育てるために教育費を惜しまず使ってくれているんじゃないかなというふうに私

は期待しております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） ありがとうございます。そのとおりであります。

いや、教育長の言うとおりになんですよ。私、それ言わんとしているところなんですけれども、大変ありがとうございました。急に質問を振って申し訳なかったんですけども、私は家庭で、やっぱり子供が今宝ということ言っていました、宝と思うんですよ。これ一番重要なこと。日本は子供がいないと日本自体が潰れちゃいますので、ぜひ、それは教育面からあらゆる面で子供を大事にしていかなきゃいけない。

そういう面で、結局は、今特別教室等ありますよね。そのところにまだ未設置のエアコンがありますけれども、そこにも重点的に金を使っていたらいいと、そういうことで、ぜひ、町長、よろしくをお願いします。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） 長引きまして、大変申し訳ございません。

特別教室は、その教室じゃなくても本当に暑ければ自分の教室でもできることのほうが多いかと思っておりますので、最悪は、暑くてしょうがないときには、エアコンのついていない教室でもできないことはないというふうに考えていますので、その辺を考えて優先順位をしっかりとつけていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（渡邊泰宣君） 11番吉野一男君。

○11番（吉野一男君） 確かに、町長、そのとおりなんですけれども、実際に、結局、柔道やっていて、その部屋で使いますよね。それで汗かきますよね。それで熱中症みたいな、そういうことは前例で、中学だったかな、そういうことがあったのですよ、ほかの中学で。死亡の方がいたわけですよ。そこで運動すると、結局、汗かいたりして、病気があったかも分からないんですけども、そのところが、やっぱりエアコンがあったらよかったんじゃないかと思われるんですけども、そういう点で、私ちょっと言ったんですけども、そういうあれがあったらぜひ、生徒、子供のためですので、できたらほかのものを削ってもそちらに、エアコン等を計画をしていただければありがたい。

以上です。回答は要りません。

以上で、11番吉野一男の質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○議長（渡邊泰宣君） 以上で吉野一男君の一般質問を終了します。

一般質問の途中ですが、ここでしばらく休憩します。

なお、3時10分から会議を再開します。

（午後 3時01分）

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 3時10分）

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長から、先ほどの質問に対して答弁があります。

○農林課長（秋山賢次君） 先ほどの吉野議員からのご質問で、農振農用地の農用地は、面積はどのくらいかというご質問がありました。

農用地の面積としましては、1,263.4ヘクタールとなっております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） よろしいですか。

（「もう一度」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） もう一度、農林課長、お願いします。

○農林課長（秋山賢次君） 農用地の面積ですが、1,263.4ヘクタール。

○議長（渡邊泰宣君） よろしいですね。

◇ 吉 野 僖 一 君

○議長（渡邊泰宣君） それでは、一般質問を続けます。

次に、6番吉野僖一君の一般質問を行います。

6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） 6番吉野僖一でございます。議長のお許しをいただきましたので、通告どおり一般質問をさせていただきます。

ここに来て、線状降水帯とかなんとか、台風のあれで局地的な大雨、暴風災害とか、大多喜町はたまたまそれたので、何とかなっております。そして、昨日、夷隅支庁がバイパスのほうに新しく新庁舎を移設ということで、そういうことで、いい方向に、防災拠点として、何か夷隅支庁もそういう設備も整っているという報道がされております。

それに関して、本日は、質問項目は、南海トラフ巨大地震や異常気象による風水害等大規

模災害発災時の町の対応についてお伺いします。

初めに、気象庁は8月5日、南海トラフ巨大地震注意の初の臨時情報を発表しました。これも8月15日の午後5時に調査終了という、解除になりましたという報道がありまして、それについての質問でございます。

今年の1月1日の能登半島の地震、2月末から3月にかけて千葉県の有感地震が多数発生し、今回、8月8日の日向灘を震源とする最大震度6弱の地震があり、今後の南海トラフ巨大地震の発生可能性が高まった場合に出る臨時情報が初めて発表されました。

津波も観測される中、聞き慣れない情報に接して混乱する住民もすぐに避難するのではなく、備えの再確認を施すという内容だが、周知は進んでいません。

国と県と各市町村は、個人個人が考え、避難できるようにしてほしいと指摘しております。我が町は少子高齢化が進んでいるので、町民の皆さんは大変不安に思っているのではないかと。防災減災の現状と課題について、各地区ごとの避難訓練が必要と思いますが、いかがか。この件について町の考えをお伺いします。よろしくお願ひします。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） それでは、ただいまのご質問につきまして、総務課からお答えさせていただきます。

先ほど山田議員のご質問でもお答えさせていただきましたが、昨年度は総元地区を対象とした町主催の防災訓練を実施させていただきました。今までの防災訓練の内容を改め、より地域の方が避難所での開設・運営訓練をすることを中心とした実践に近い形の内容とさせていただきます。

このようなことから、本年度においても昨年度の内容を中心に、一部変更を加えながら、大多喜地区の全行政区を対象とした避難所での開設・運営につながる防災訓練を予定しておりますので、町主催による行政区ごとの防災訓練については、実施する予定はございません。

なお、昨年度も自主防災組織を立ち上げた船子区からの要請を受け、自主的な防災意識の高揚に資するための図上訓練等の支援を行うため、首都圏防災士連絡会への派遣依頼の手續や訓練当日のお手伝い、また、役場職員で実施している避難所開設訓練にも船子区の役員、住民の方に参加していただき、合同にて訓練を実施しているようなところでございます。

このように、行政区単位でも実践的なソフト面での支援や自主防災組織立ち上げに係る説明会など、防災担当として防災意識の向上に資する業務を積極的に行っているところでございますので、ご理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） 今課長から詳しく説明いただきましてありがとうございます。

先ほども指定避難場所と指定緊急避難場所、避難所と避難場所と、これ違うんだということで、当初は、ホームページで見ますと19か所あったんですけども、特老が廃止になって、ただ、この指定緊急避難場所というのは、これは建物じゃなくてグラウンドとか、そういうところということで、先ほど課長から説明を受けたので、ちょっとその辺は私も勉強不足で申し訳なかった。ただ、実際は14か所なんですよね。

それで、せんだって、6月か7月かな、役場の職員が各避難場所の人員配置というのを訓練をしたと思うんですよね。ちょっとホームページで見たんですけども、プリントアウトしてなくて、実際に、職員は確認というか、なされたのは事実ですか、ちょっと確認です。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問でございます。

開設訓練につきましては、実は、せんだって実施しております。その前に、もう既に避難所開設業務がございましたので、またおさらいという形、また、そのときに携わっていない職員もございましたので、そちらと開設訓練という形で直近でやらせていただいております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） ありがとうございます。大変だったと思います。

次に伺います。

臨時情報は、2017年に導入され、巨大地震につながるおそれがある現象が観測された場合に警戒や注意を促す仕組み、臨時情報は4種類あるんだそうです。気象庁は、最初に「調査中」を出し、それから詳細な解析を経て「巨大地震警戒」を出します。そして、3番目が「巨大地震注意」、そして、収まった場合、「調査終了」のいずれかを発表する、そういう仕組みだそうです。なかなかふだん聞き慣れない文言が出てきました。

今後の町の対応は、大多喜町地域防災計画で、東海地震に係る周辺地域としての対応計画で対応と対処することと思いますが、まず、町民の安全・安心な避難方法が一番大事と思いますが、町の考えを伺います。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問でございます。

議員さんおっしゃるとおり、南海トラフ地震臨時情報は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に気象庁から発表される、おっしゃるとおり、臨時情報4種類に応じた防災対応を取るよう発表されるものでございます。

先月8日、気象庁は、本臨時情報を運用してから初となる南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表したところでございます。この指定を受けた1都2府26県707市町村のうち、千葉県は18市町村が対象となりますが、本町においては、本町地域防災計画の震災編、附編の東海地震に係る周辺地域としての対応計画でも説明されているところでございますが、本情報に係る対象外の地域となっているところでございます。

このように、本町は対象外の地域ではございますが、本情報の発表に伴う住民の不安や社会的な混乱等が懸念されることから、国・県の動向に基づき、適切な対応を取ることとされております。

ご質問の本情報が発表された場合の町の対応や住民等の対応につきましては、その情報の区分ごとに示されており、非常に大事な行動指針ではございますが、今回の情報に係る対応におきましては、町が地震に係る備えなどの注意喚起、呼びかけを実施することにより、かえって不安や混乱を招くことなども懸念されたため、国・県の動向を注視し、改まった呼びかけなどは実施してございません。

なお、本情報につきましては、先月15日をもって後発地震に対する注意措置が解除され、特別な注意、呼びかけを終了しておりますが、南海トラフ沿いではいつ大規模地震が発生してもおかしくないことに十分留意しまして、日頃からの地震の備えは引き続き実施していかなければなりません。

今後も防災訓練、広報、ホームページ、おたき通信などを通じて周知をしていき、平時から地震への備えを再確認することなど、被害の未然防止及び軽減を図ること、社会的混乱の発生に備え、必要な体制を整備することなどに努めたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） ありがとうございます。本当にいつ起こるか分からないので、すごく心配でございます。

続きまして、この件に関しても日頃からの訓練と練習が必要と思います。町民の生命財産を守る行政使命が大事と思います。そして、関係機関との連携体制の確認事項等も日頃の訓

練が必要と思います。情報伝達も防災無線やテレビ、ラジオ、スマホの利活用が一番であり、通信網の整備が急務と思います。そして、町も本当に、こういうホームページ、防災サイトとか、いろいろ細かく出ていますよね。避難の仕方とか、やっぱりこれを周知しなくちゃいけないと。

せんだって、「地域のリスクを知り、備える ちば地震防災ガイド」という、これ回覧版で各組というか町民に回った資料ですね。それと、これは、「台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう」とか、日頃のこういう告知、パンフレットですね。避難情報のポイントは必ず確認ということで、「避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです」、「危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者等は避難〉、警戒レベル4で〈全員避難〉です」、「警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状態です」、「警戒レベル4は避難指示に一本化されました」、「警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません」、「豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう」とか、やはり告知、パンフレット、こういうものを有効活用したほうがいいと思います。そして、「台風への備え 5か条」とか、何かいろいろ出ていました。確かに、町の地域防災計画の中にも細かく、これと同じような文面がいっぱい出ていますよね。

最近、「台風への備え 5か条」ということで、家の外の備えを行う、1番目ね。窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強。側溝や排水溝は掃除して水はけをよくする。風で飛ばされそうなものは飛ばないように固定し、屋内へ格納と。

2番目で、家の中の備えを行うと。非常用具を確認、懐中電灯、携帯ラジオ（乾電池）、救急用品など。室内から安全対策、窓ガラスに飛散防止フィルムやテープなどを貼り、カーテンやブラインドを下ろすなどする。水の確保、断水に備え飲料水を確保し、浴槽に水を張って生活用水を確保などする。非常用食品を準備、乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など。

3つ目が、避難場所の確認を行う。学校や公民館など避難場所として指定されている場所へ避難経路を確認。日頃から家族で避難場所や連絡方法など話し合う。避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにする。

4番目に、気象庁が発表する台風情報、警報・注意報など情報の入手を行う。テレビやラジオ、気象台ホームページから最新の情報。

5つ目、最後ですね。台風接近中は不要な外出を控え、危険な場所へは近づかない。日頃は安全と思われる場所でも油断せず、危険な場所へはむやみに近づかないようにする。不要

な外出は避け、台風が過ぎ去るの待つ。

こういうように、常日頃、思っけていてもなかなか対応できなくて、やっぱり現場に見に行つて川に流されて、後からの2人も殉職、本当にかわいそうな惨事がありましたよね。だから、やっぱり日頃の訓練なんですよね、これもね。

だから、とにかく、実際にうちのほうの地区としても、やはり少子高齢化で独り暮らしが多くなって、空き家が増えちゃつて、近所の人かふだんそういう連携をしないと、中野の場合、ちょっと高台で、水はけのいいところだし、そんなに被害というのはないんだけど、よその地区では、やっぱりそういうところはいっぱいあると思うので、日頃そういう独り暮らしのところの区への対応、区、町とか、訓練を皆さんやつてくれているから助かるんですけども、その地区地区の避難訓練というのもしないと、西畑地区全体じゃなくて、各地区地区の避難訓練も必要かと思うんです。区長さんが毎年変わっちゃいますので、これも定期的にやるのは、やっぱりふだんの日頃の練習というか、それが災害防止につながるんじゃないかと思うんであります。

そういうことで、結果的には、自分の命は自分で守ることが基本です。町民は被害報告を各区長さんに報告、2番目が、区長さんは災害報告を町に報告、町は町内の被害報告を県に報告、県は県内の被害報告を国に報告、これはあくまでも災害の初動行動であつて、住民の取るべき処置というか行動であります。

そういうことで、防災に強いまちづくりというか、皆さん、本当に日頃、そういう避難所の備蓄の管理とか、本当に頭が下がりますので、少子高齢化に、今後、本当にどうなるかちょっと心配なんですけれども、私も大分身体障害者になつちやいまして……

○議長（渡邊泰宣君） 吉野君、どういふ質問したいのか。今ちょっといろんなあれが出てくるけれども。

○6番（吉野僖一君） そういうことでありまして、さっき言いましたテレビ、ラジオ、スマホの利活用が一番大変大切であると思いますが、町の考えは、先ほど課長、言つてくれましたけれども、もう一遍お願いしたいと思ひます、最後。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） 非常にうちのほうからも周知させていただいたパンフレット、よく読んでいただきまして、非常にありがたいというところでございます。

確かに、このように情報伝達、いろいろな媒体を使いながら皆様に見てもらふ、また聞いてもらうというところ町としても考えておりますので、その点よろしくお願ひしたいと思ひます。

います。

以前、吉野議員さんからの緊急地震速報についての一般質問でもご説明させていただきましたが、本町の防災行政無線では、震度5弱以上が発せられた場合、住民の皆様には防災無線でお知らせをしているところでございます。緊急地震速報は、テレビやラジオのほか、携帯電話などでも伝えられますので、この速報を見聞きした場合は、速やかに身の安全を確保してくださるようお願いいたします。

続きまして、昨年度より運用を開始したおおたき通信につきましては、大多喜町が発信する情報をアプリをご登録いただいた皆様のスマートフォンに時間や場所の制約に縛られずお届けすることができるシステムであり、災害時の情報配信だけでなく、大多喜町防災マップや避難所に係るマニュアルも掲載しているほか、一般行政に関する情報も配信しておりますので、非常に便利で重宝される町の通信網の一つです。

現在のおおたき通信の加入率ではございますが、8月16日時点で1,731件の登録をいただいております。引き続き住民の皆様への普及促進に努め、住民の皆様への防災意識を高める手段などとしてまいりたいと考えております。

今後も町が整備しているホームページや様々な電子媒体などを利用しながら、情報発信の充実に努めたいと考えております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） どうもありがとうございました。以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（渡邊泰宣君） 以上で吉野僖一君の一般質問を終了します。

これで一般質問を終わります。

◎報告第11号の上程、説明

○議長（渡邊泰宣君） 日程第3、報告第11号 継続費精算報告書についてを議題とします。

本件について報告を願います。

財政課長。

○財政課長（君塚恭夫君） それでは、報告第11号 継続費精算報告書についてを説明させていただきます。

議案つづりの1ページをお開きください。

継続費精算報告書について。

令和5年度大多喜町一般会計予算の継続費に係る継続年度が終了したので、地方自治法施行令第145条第2項の規定により報告いたします。

次のページをお願いします。

令和5年度大多喜町一般会計継続費精算報告書。

款3民生費、項1社会福祉費、事業名、次期介護保険事業計画等策定事業。この事業は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする次期介護保険事業計画等を令和4年度、5年度の2か年で実施したものでございます。

表内の全体計画の年割額は、令和4年度209万6,000円、令和5年度365万2,000円、合計574万8,000円。実額の支出済額は、令和4年度209万円、令和5年度341万円、合計550万円。年割額と支出済額との差は、令和4年度6,000円、令和5年度24万2,000円、合計24万8,000円で、財源は一般財源でございます。

その下、款6商工費、項1商工費、事業、面白峡遊歩道整備事業。この事業は、面白峡遊歩道整備を令和2年度から令和5年度の4か年で実施したものでございます。

表内の全体計画の年割額は、令和2年度6,230万円、令和3年度4,480万円、令和4年度300万円、令和5年度1,773万円、合計1億2,783万円。実額の支出済額は、令和2年度4,444万円、令和3年度256万円、令和4年度575万6,000円、令和5年度6,666万円、合計1億1,941万6,000円。年割額と支出済額との差は、令和2年度1,786万円、令和3年度4,224万円、令和4年度、△275万6,000円、令和5年度、△4,893万円、合計841万4,000円で、特定財源のその他は全てふるさと基金繰入金でございます。

以上で、報告第11号 継続費精算報告書についての報告を終わらせていただきます。

○議長（渡邊泰宣君） これで、報告第11号 継続費精算報告書についてを終わります。

◎報告第12号の上程、説明

○議長（渡邊泰宣君） 日程第4、報告第12号 専決処分の報告についてを議題とします。

本件について報告願います。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（木島丈佳君） それでは、議案つづりの5ページをお開きください。

報告第12号 専決処分の報告についてをご説明させていただきます。

地方自治法第180条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の

規定によりこれを報告する。

報告第12号は、令和6年3月12日から13日にかけて発生した大雨による野球場への冠水による損害賠償の額を定める専決処分となります。

6ページをご覧ください。

この損害賠償の額を定めることにつきましては、令和6年3月12日から13日にかけて大雨が降った際に、野球場北側の町有林や旧薬草園側からの排水が排水路の下流部への土砂の崩落などもあり、排水し切れなかった雨水が野球場の階段を通過して下にある本部、審判、放送席へ流入し、保管されていたバット及びボールに損害を与えたものでございます。

本件につきましては、町が加入しております全国町村会総合賠償補償保険にて物品補償に要する費用52万8,464円の損害賠償額が既に示談成立しており、その専決処分の内容を報告するものでございます。

冠水後のその後の対応でございますが、冠水の要因と思われる排水路の土砂崩落箇所の土砂は建設課に撤去してもらい、野球場側のU字溝の土砂さらいや、大雨が見込まれる際は流入部となった階段入り口へ土のう袋の設置を行い、また、野球場内外の見回りなど、対策を講じるとともに、連日球場を使用する場合でも必ず道具を持ち帰るように貸出時に周知、指導のほうをしてございます。

今後も再発防止に努めていきたいと思っております。

それでは、専決処分の本文に入らせていただきます。

損害賠償の額を定めることについて。

次のとおり事故による損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分する。

1、相手方。北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1、学校法人鶴岡学園北海道文教大学硬式野球部、代表、五十嵐広大。

2の事故の概要及び3の損害賠償額につきましては、先ほどご説明した内容と同様となりますので、朗読を省略させていただきます。

以上で、損害賠償の額を定めることについての専決処分のご報告を終わらせていただきます。

○議長（渡邊泰宣君） これで、報告第12号 専決処分の報告についてを終わります。

何かありますか。

7番山田久子君。

○7番（山田久子君） すみません。今後の対策等、先ほどご説明いただきましたのであれなんですが、どうして、今回、用具を野球場のところへ置いていったのか、その辺がちょっと伺えたらと思うんです。今回、たまたま土砂等でぬれてしまったところの賠償になりますけれども、そのまま置いていきますと、やはり盗難という問題もあると思うんですが、どうして今回そのまま置いて帰られたのか、その辺をもう少し伺えればと思います。

○議長（渡邊泰宣君） あくまでも専決処分なので、ちょっと確認という意味でね。

○7番（山田久子君） そうです。

○議長（渡邊泰宣君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（木島文佳君） 今回の損害賠償先である北海道文教大学野球部につきましては、本町へ合宿で来て、連日使用していたため、野球道具を野球場に置いていたために被害に遭ったものでございまして、本来は、議員さんおっしゃるとおり、盗難等のおそれもございまして、道具等は毎日持って帰っていただくことが原則でございしますが、こちらのほうで、その旨、伝え切れていなかったこともあるということもございまして、損害賠償ということでございます。

○議長（渡邊泰宣君） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） それでは、報告第12号の専決処分の報告についてを終わります。ご苦労さまでした。

◎同意第12号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第5、同意第12号 固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

本件について提出者の説明を求めます。

町長。

○町長（平林 昇君） それでは、固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案理由を述べさせていただきます。

議案書の7ページをお願い申し上げます。

同意第12号について、提案理由を申し上げたいと思います。

固定資産評価審査委員会委員のうち、江沢正明委員の任期が令和6年10月3日をもって満了することから、引き続き同氏を委員として選任したいので、地方税法第423条第3項の規

定により議会の同意を求めるものでございます。

固定資産評価審査委員会委員に選任しようとする方は、住所、大多喜町西部田218番地の1。氏名、江沢正明氏。生年月日、昭和29年11月14日でございます。

江沢正明氏におかれましては、経験も豊富で人格、識見ともに高く、税務の実情にも精通している方であると思いますので、ご同意くださるようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから同意第12号を採決します。

お諮りします。

本件はこれに同意することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、同意第12号については同意することに決定しました。

◎散会の宣告

○議長（渡邊泰宣君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

明日4日は午前10時から会議を開きます。

本日はこれで散会します。

お疲れさまでした。

（午後 3時48分）

第 1 回大多喜町議会定例会 9 月会議

(第 2 号)

令和6年第1回大多喜町議会定例会9月会議会議録

令和6年9月4日(水)

午前10時00分 開議

出席議員(11名)

1番	渡辺善男君	2番	麻生勇君
3番	野村賢一君	4番	末吉昭男君
6番	吉野僖一君	7番	山田久子君
8番	渡辺八寿雄君	9番	山口定夫君
10番	森久君	11番	吉野一男君
12番	渡邊泰宣君		

欠席議員(1名)

5番 根本年生君

地方自治法第121条の規定による出席説明者

町長	平林昇君	副町長	西郡栄一君
教育長	佐久間靖夫君	代表監査委員	滝口延康君
総務課長	麻生克美君	企画課長	米本敏克君
財政課長	君塚恭夫君	税務住民課長	西川栄一君
健康福祉課長	長野国裕君	建設課長	市原芳則君
農林課長	秋山賢次君	農林課主幹	森芳博君
商工観光課長	渡邊陽二君	環境水道課長	小高一哉君
会計室長	須藤明実君	教育課長	吉野正展君
生涯学習課長	木島丈佳君		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

事務局長 宮原幸男 書記 市原和男

議事日程（第2号）

- 日程第 1 議案第 37号 大多喜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 2 議案第 38号 大多喜町保育園の設置、管理及び保育の利用に関する条例及び大多喜町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 3 議案第 39号 大多喜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 4 議案第 40号 大多喜町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 5 議案第 41号 夷隅郡市広域市町村圏事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 日程第 6 議案第 42号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 日程第 7 議案第 43号 令和6年度大多喜町一般会計補正予算（第2号）
- 日程第 8 議案第 44号 令和6年度大多喜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 9 議案第 45号 令和6年度大多喜町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第 10 議案第 46号 令和6年度大多喜町水道事業会計補正予算（第1号）
- 日程第 11 議案第 47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定について（提案説明）
- 日程第 12 議案第 48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定について（提案説明）
- 日程第 13 議案第 49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（提案説明）
- 日程第 14 議案第 50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（提案説明）
- 日程第 15 議案第 51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定につい

て（提案説明）

日程第16 議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定について（提案説明）

日程第17 報告第13号 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について

日程第18 報告第14号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算に基づく資金不足比率の
報告について

追加日程第1 議案第53号 道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請
負契約の締結について

◎開議の宣告

○議長（渡邊泰宣君） おはようございます。

昨日の会議に引き続きご苦労さまでございます。また、滝口代表監査委員にはご出席をいただきまして、誠にご苦労さまでございます。なお、5番根本年生議員から体調不良により本日欠席する旨の連絡がございましたので、ご報告いたします。ただいまの出席議員は11名です。したがって、会議は成立しました。これから会議を開きます。

（午前10時00分）

◎議事日程の報告

○議長（渡邊泰宣君） 本日の議事につきましては、既に配付の議事日程（第2号）により、進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

◎議案第37号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） これから日程に入ります。

日程第1、議案第37号 大多喜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（麻生克美君） それでは、議案書9ページをお開きください。

議案第37号 大多喜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

本文の説明の前に、提案理由を説明させていただきます。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律、いわゆるマイナンバー法、番号利用法が改正されたことにより、マイナンバーによる情報連携が可能な事務や情報を規定する別表第2が廃止されたところでございます。

これまでは新規で情報連携を行う場合、その都度、法律の改正を行う必要がございましたが、この改正により、既に法律でマイナンバー情報の利用が認められている事務に準ずる事務であれば、主務省令に規定することで情報連携を行うことができることとなります。

今回このマイナンバー法・番号利用法の改正に伴い、本法の廃止された文言を引用していることなどから、本条例にこれを反映させるため、所要の改正を行おうとするものでございます。

それでは、本文の説明に入らせていただきますが、条文の朗読を一部割愛して、改正の概要のみを説明させていただきますので、あらかじめご了承いただきたいと思います。

大多喜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例。

本条例の一部を次のように改正する。

第2条に次の2号を加える。

この改正は、マイナンバーを使って情報連携ができる事務は法の別表第2で定められておりましたが、廃止されたことにより、法の改正後の内容を引用できるように、用語の定義に、第6号、特定個人番号利用事務と第7号、利用特定個人情報を加えるものでございます。

次に、第4条中の改正についても、廃止された法別表第2を参照等している条文を第2条で追加し、新しく定義した用語に改正するものでございます。

最後に附則でございますが、この条例の公布の日から施行すること及び適用日を定めるものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第37号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

◎議案第38号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第2、議案第38号 大多喜町保育園の設置、管理及び保育の利用に関する条例及び大多喜町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

教育課長。

○教育課長(吉野正展君) 議案第38号の説明をさせていただきます。

議案説明の前に、提案理由の説明をさせていただきます。

大多喜町保育園の設置管理及び保育の利用に関する条例及び大多喜町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例は、それぞれ保育園及び放課後児童クラブの設置管理等について定めております。

この2つの条例において使用する語句に、あまり適切でない語句がありましたので、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律及び障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例に基づく、適切な表現に改めるため、それぞれの条例の一部を改正しようとするものでございます。

それでは、本文に入らせていただきます。

大多喜町保育園の設置、管理及び保育の利用に関する条例及び大多喜町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例。

第1条、大多喜町保育園の設置、管理及び保育の利用に関する条例の一部を次のように改正する。

第5条の見出し中「拒絶」を「制限等」に改め、同条第1号中「精神病又は感染症疾患がある」を「設備その他の事情により受託余力がない」に改め、同条第2号中「その他、町長」を「町長」に改める。

第2条、大多喜町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を次のように改正する。

第5条第2項第1号中「精神障害又は感染症疾患がある」を「設備」、次のページをお願いいたします。「その他の事情により受託余力がない」に改め、同項第2号中「その他」を削る。

附則、この条例は公布の日から施行する。

なお、旧条文において入所を許可しなかった事例はこれまでございません。

以上で議案第38号の議案説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

3番野村君。

○3番（野村賢一君） 今担当課長からご説明ございましたけれども、こんなことが今まで通っていたんですね。差別のあるということはよくないと思いますけれども、それで、新しく「設備その他の事情により受託余力がない」と、この文言の意味をよくわかんないですけれども、適切でない表現がこういう表現に変わったということで、ちょっと私としては信じられない問題だと思うんですけれども、ご答弁願います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 改正後の「設備その他の事情により受託余力がない」ときとはどういうときかと申しますと、いわゆる園児また学童放課後児童クラブの生徒をお預かりする際に、町のほうの受け側として、いろんな設備が必要な場合、また、人的に整備しなければいけない場合、こういうものがない場合については、一時的にその整備が行われるまでの間、入所のほうを一時とどまらせていただくということで、当然町のほうは、そういう努力をさせていただきますけれども、そういう設備がない場合について、制限といいますか、一時的に待っていただくと、そういうようなことでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 3番野村君。

○3番（野村賢一君） いまだかつてこういう人たちの子供たちの入所がないという話だったんですけれども、こういう子供たちは今までどうやってほかの保育園というか、そういう同じようなところに行っていたか分かりますか。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） ほかの施設というか、そういうところでございますか。現在ちょ

っとそこら辺は分からないんですけれども、今までこういう方を保育園また学童でお預かりするということがなかった。

ただ今年4月から、医療的ケアの方ですとか、入所いただいておりますけれども、それについても、町のほうで看護師を雇用したり、できるだけ町のほうでお預かりする努力はさせていただいているというところでございます。

○議長（渡邊泰宣君） 3番野村君。

○3番（野村賢一君） 町長にちょっと質問したいんですけれども、大多喜町は町民はみんな公平であると、いろんな面で福祉向上のために、そういうのをうたっております。それで、こういう条例が、まだまだ福祉関係の中であるかも分かりませんが、そういうことがもしあった場合、これからのいろいろな問題に影響すると思うんですよ。

こういう条例を見直すということは、考えておりますか。要するに不公平な条例が福祉関係であるけれども。

○議長（渡邊泰宣君） 町長。

○町長（平林 昇君） 今野村議員のお話、ご質問に対してお答えさせていただきますが、この辺の条例を全て読み込んでいるわけでもないのですが、基本的にはその辺がどこに存在するか、よく分かりませんが、今先ほどちょっとお話ししましたけれども、今年の4月から3歳未満児で医療児というんですかね、喉に穴が空いていまして、そこに吸入をしたり、要するに吸引をしたりというんですかね、今まではそういう子は実際に、今までの中では施設が整ってなかった、それからスタッフも整ってなかったの、入れることができなかったんですが、実際にそういう要望があって、町としてもそれは受け入れたほうがいいだろうということで受入れさせていただきました。

これが町の基本的な姿勢であろうというふうに思います。

ただ、あまりにも莫大な費用がかかるとか、これ以上たくさんいらっしゃるときには、やっぱり今お一人の子供のために今お二方の実は、あれは何ていうんだらう。

（「看護師」の声あり）

○町長（平林 昇君） 看護師さんですかね、看護師さんを雇わせていただいて、交代で見ているという状態になっております。

今多分、この辺の夷隅郡内では今実際にそういう方を、そういうお子様を預かっている大多喜だけだろうというふうに思っておりますけれども、他市町村でもやっぱりいらっしゃったりするようにも聞いております。

今後も、そういう方向に向けてしっかりとかが切れるところは切っていきたいというふうに考えております。

○議長（渡邊泰宣君） よろしいですか。

ほかに。

6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） お伺いします。

今児童クラブの利用者数と、精神的疾患とかそういう人の数字、人数をちょっと教えていただければと思います。対象者の。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） まず放課後児童クラブのニーズについては、現在手元に資料がございませんので、申し訳ございません。それから、ここにある精神病または入所等の関係で、現在通われている方というのは、いないというふうに認識しております。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質問ありませんか。

7番山田君。

○7番（山田久子君） すみません、確認の意味を含めましてちょっとお伺いさせていただきます。

今も町長のほうからご答弁をいただきまして、町では本当に今医療的ケア児のお子さんも預かっていただいております本当に感謝するところでございますが、今回の条例の改正につきましては、言葉は非常に軟らかくなったように感じております。

その一方で、拒絶というところが制限等というふうになりまして、内容を見ますと今までは限定されたものが拒絶されていたというものから、ある程度その設備、その他の事情により、受託による余力がないとき、その他町長が不相当と認めたときというふうになりました。

ある意味この逆に認めないケースというのが範囲として、解釈として広がっちゃうんじゃないかというのは、そういうような印象も受けたんですけれども、そういったことはないというふうに捉えさせていただいてよろしいのかどうか。今までどおり、先ほど町長にご答弁いただきましたように、真摯に向き合ってください、できる限りのことはしていただくという、受け入れていただくというんですかね、そういう方向性で捉えさせていただいていいのかどうか。この辺ちょっとお伺いできればと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 今のご質問は、この改正によって、町のほうが制限をするお子様

が増えるのではないかということだと思いますけれども、今回の改正は、あくまでも不適切な表現を変えさせていただくということで、町のほうはできる限りの努力をさせていただきたいと考えておりますので、その辺の対応については、現在、これからも変わらないというふうに捉えております。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第38号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

◎議案第39号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第3、議案第39号 大多喜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

税務住民課長。

○税務住民課長（西川栄一君） それでは、議案第39号の説明をさせていただきます。

議案つづり13ページをお願いいたします。

初めに、提案理由をご説明いたします。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律による国民健康保険法の一部改正に伴い、大多喜町国民健康保険条例について見直

しが必要となったことから、同条例の一部を改正しようとするものでございます。

それでは、改正条文の説明をいたしますが、条文の朗読は、一部割愛させていただきますので、ご了承ください。

大多喜町国民健康保険条例の一部を改正する条例。

大多喜町国民健康保険条例の一部を次のように改正する。

第15条中「第9項」を「第5項」に改め、「又は同条第3項若しくは第4項の規定により被保険者証の返還を求められてこれに応じない場合」を削る。

この改正は、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、被保険者証を返還しない場合の罰則規定が不要となるため、所要の改正をするものでございます。

次の附則につきましては、この条例の施行期日と経過措置について規定したものでございます。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

7番山田君。

○7番（山田久子君） すみません、罰則規定についてお伺いしたいと思います。

ちょっとうまくお聞きできるかどうか分からないんですが、前は被保険者証の返還等というものが、求めて返していただかなければ、返してもらえなかったときには、罰則規定となったと思います。

今回それがなくなりまして、届出をしない、もしくは虚偽の届出をした場合において、そのものに対して10万円の過料を課するというような形に変わったかと思うんですが、これは、どの時期で判断する……ごめんなさい、どこで見つけた、見つけられた、見つけたというか、どの時期でかかってくるものなのかなとちょっと思ってしまっただんですが、前は返還を求めただけでも返ってこなかったよねというときに罰則かけられると思うんですが、今回その返還がなくなりましたので、届出をせず、もしくは虚偽の届けをした場合というのは、この何ていうか、効力が発生するというんでしょうか、それはどの時点になるのか、あくまでも厳密にいついつまでに、例えば2週間以内にしなくちゃいけないのが出てなかったらそのときになるのか。虚偽の届出したというのは、どの、見つかった時点そのときに発覚をしたときにかかってくるのかとか、その辺はどのような感じになってくるのか。うまく説明でき

なくてごめんなさい、すみません。

○議長（渡邊泰宣君） 税務住民課長。

○税務住民課長（西川栄一君） 虚偽の届出ですとか、届出をしなければいけないのに、届出をしていないことが分かった場合、どの時点でその罰則規定が適用されるのかというような、内容でよろしいでしょうか。

ちょっと詳しいことはあれなんですけれども、虚偽の届出とか、届出をしなければ分からない、しなければいけないということが分かった時点で、町としてはそこで届出を正しいものにしてほしいとか、あるいは届出が出ていないので、いついつまで届出をしてほしいというような措置をしたいと思います。

それでもなおかつ、届出をしない場合、また再度届出のお願いをして、それでも届出をしないような場合について、この罰則規定の適用を考えていくのではないかというふうに、考えております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

6番吉野君。

○6番（吉野僖一君） 随時マイナカードに変更手続きしていると思うんですけれども、今の現在の大多喜町内の手続きの完了しているパーセンテージはわかりますか。なかなかやっぱり町民も高齢化になっていて、なかなか手続、やり方を知らないとか、そういう、あれがあると思うんで、若い人はどんどんやっていると思うんですけれども、そこら辺の周知というか、その辺でちょっと今の切替え率。

○議長（渡邊泰宣君） 税務住民課長。

○税務住民課長（西川栄一君） すみません、マイナンバーカードを保険証の登録の利用している率がどれくらいかということでもよろしいでしょうか。

その率については、ちょっと分からないので、ちょっと答えられないんですけれども、周知ですとかについては、今年の7月31日に保険証の更新がありましたので、その前に被保険者の方々には、国民健康保険、後期高齢者の保険証を更新を送付する際に、12月2日からマイナ保険証に切り替わりますというようなチラシを入れて、それぞれに通知しておりますので、これについては皆さんに通知が行っているはずで。

それに加えて広報ですとか、ホームページにもその辺を記載しておりますので、周知のほうはしておりますし、今後も広報等、また広報にチラシを入れたりとかということで周知の

ほうを続けていきたいと思ひます。

あとマイナンバーカードの後、使って受診している人の率というのであればちょっと分かりまして、それについては今年4月分の診療については、大多喜町では13.5パーセントの人がマイナンバーカードを使って医療機関を受診しているというような状況でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第39号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひます。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第39号は原案のとおり可決されました。

◎議案第40号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第4、議案第40号 大多喜町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

建設課長。

○建設課長（市原芳則君） それでは、議案第40号 大多喜町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてご説明申し上げます。

15ページをお開きください。

本文の説明の前に、提案理由の説明をさせていただきます。

大多喜町道路占用料徴収条例は、道路法第39条の規定に基づき、町が徴収する占用料の額及び方法について定めております。占用料の額は、指定区間内の国道にあっては政令で定め

ることとされており、道路法施行令別表において、占用物件の種類ごと、所在地、区分ごとに定められております。

直近では、令和4年12月14日に道路法施行令の一部を改正する政令が公布され、令和5年4月1日に施行されております。これは、令和3年度に行われました固定資産税の評価額の評価替えや地価に対する賃料の水準の変動等を踏まえ、道路法施行令別表に定める占用料の額を見直したものでございます。

また、そのほかの道路にあつては、道路管理者である地方公共団体の条例で定めることとされており、県道を管理する千葉県におきましても、令和5年12月26日に使用料及び手数料条例の一部を改正する条例が公布され、本年4月1日から道路占用料の単価が改められております

本条例で定める道路占用料は千葉県の道路占用料の額を引用しておりますので、これに合わせて改正し、来年4月1日から道路占用料の額を改定しようとするものでございます。

なお、この改正による道路占用料の令和7年度の金額の見込みですけれども、令和6年度に比べ、およそ139万円、16.7パーセント程度の増額となる見込みでございます。

それでは、本文に入らせていただきますが、今回は占用料の額を定めている別表の改正であり、全てを読み上げますとかなりの時間を要することから、別表の読み上げは割愛させていただきますのでご了承願います。

大多喜町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例。

大多喜町道路占用料徴収条例の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

この改正は、占用料の額を千葉県の使用料及び手数料条例の別表第1で定める第五級地の道路占用料と同額に改めるものでございます。

20ページをお開きください。

附則、この条例は令和7年4月1日から施行する。

以上で本案の提案説明とさせていただきます。よろしくご審議くださるようお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番麻生君。

○2番（麻生 勇君） ちょっと教えてほしいんですけども、電柱の1種、2種、3種、電話柱の1種、2種、3種この違いって何ですか。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 電話柱、電柱、いずれもそうなのですが、電話柱、電柱のほうに乗っている線があると思うんですけども、その線に乗っている本数によりまして、1種、2種、3種と決めているものでございます。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 3番野村君。

○3番（野村賢一君） 当然これ、増収になるわけですね。そうすると、増収が幾らぐらい、現状で増えたのと、固定資産税に影響するということで、説明があったような気がするんですけども、違ったかな。それで、固定資産のほうにも影響すると思うんですけども、説明願います。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） こちらは、道路占用料の金額の増額の見直しになりますので、電柱もしくは電話柱、また道路のほうに埋設されておりますガス管であるとか、その他の管に対する道路占用料の徴収の金額の増額になりますので、その部分の増額ということになります。

固定資産のほうは、固定資産税の金額の見直しをやられた根拠として、固定資産税の評価替えに伴って、3年に1回やっているというところでございます。

（「収入が増えている。分かんない」の声あり）

○建設課長（市原芳則君） 令和6年度と比べまして、令和7年度の見込みが約139万円増額する見込みでございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第40号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

◎議案第41号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第5、議案第41号 夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

企画課長。

○企画課長(米本敏克君) 議案第41号についてご説明させていただきます。

議案つづり21ページをお願いいたします。

本文の説明の前に、本件の提案理由をご説明させていただきます。

夷隅地域水道事業の統合広域化に関して、令和6年7月に締結された基本協定においては、令和7年4月1日に水道事業を統合し組合において経営することとされ、これにより組合規約に規定する共同処理する事務の内容に変更が生じたことによる一部改正、また、組合経費の支弁方法について、水道事業に係る経費は公営事業の性質上、原則として経営に伴う収入をもって充てることとされていることから、当該事務に係る組合経費の支弁方法及び補助金等の額の定め方を、ほかの共同処理する事務とは別に定めようとするものでございます。

それでは、本文に入らせていただきます。

夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約を制定するため、地方自治法第286条第1項の規定により、関係市町と協議するに当たり、同法第290条の規定により、議会の議決を求める。

夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約。

夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を次のように改正する。

以下、改正要点のみ説明させていただきます。

第4条第8号の改正は、水道事業について共同処理する事務の内容を統合広域化から経営に改め、次の第12条第3項の改正及び同条第4項の項の追加は、水道事業の組合経費の支弁

方法及びその金額の定め方を、他の共同処理する事務に係る経費とは別に定めようとするものです。

附則につきましては、第1項で施行期日を、第2項で事務を共同処理する準備行為について、第3項で関係市町の水道事業の経営に関する事務財産及び権利義務の承継について定めるものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第41号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第41号は原案のとおり可決されました。

◎議案第42号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第6、議案第42号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてを議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

税務住民課長。

○税務住民課長（西川栄一君） それでは、議案第42号についてご説明申し上げます。

議案つづり23ページをお願いいたします。

初めに、提案理由を説明させていただきます。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律による高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、千葉県後期高齢者医療広域連合の処理する事務に変更が生じることから、規約の一部を改正しようとするものでございます。

それでは、本文に入らせていただきます。

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約を次のとおり制定することについて、地方自治法第291条の3第1項の規定による関係地方公共団体との協議を行うに当たり、同法第291条の11の規定により、議会の議決を求める。

千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約。

千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を次のように改正する。

別表第1中「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改める。

この改正は、令和6年12月2日から被保険者証及び資格証明書が廃止されることに伴い、マイナンバーカードの保険証利用の登録をしていない方に対しては、資格確認書等を交付することとなるため、所要の改正をするものでございます。

次の附則は、この規約の施行日を令和6年12月2日とするものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本件については、討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第42号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第42号は原案のとおり可決されました。

会議の途中ですが、ここでしばらく休憩します。

なお、10時55分から再開します。

(午前10時43分)

○議長(渡邊泰宣君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

暑いようでしたら上着を脱いで結構ですので、暑いところと寒いところあるみたいなので、北のほうは寒いからです。

(午前10時55分)

◎議案第43号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第7、議案第43号 令和6年度大多喜町一般会計補正予算(第2号)を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

財政課長。

○財政課長(君塚恭夫君) それでは議案第43号 令和6年度大多喜町一般会計補正予算(第2号)の説明をさせていただきます。

議案つづり25ページをお開きください。

○議長(渡邊泰宣君) 財政課長、着座のまま説明してください。

○財政課長(君塚恭夫君) 議長のお許しいたきましたので、着座にて説明をさせていただきます。

令和6年度大多喜町一般会計補正予算(第2号)は次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億4,395万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億1,378万4,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

継続費の補正。

継続費の変更は、「第2表 継続費補正」による。

繰越明許費、第3条、地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第3表 繰越明許費」による。

地方債の補正。

第4条、地方債の変更は、「第4表 地方債補正」による。

それでは、第2表、継続費補正から説明をさせていただきますので、29ページをお開きください。

第2表、継続費補正、変更。継続費の変更で、表内の事業の総額及び年割額を変更するものでございます。

款5農林水産業費、項1農業費、事業名、基幹農道整備事業。この事業は、基幹農道たけんこ橋の耐震補強で、総額を2億3,044万円、年割額を令和6年度6,839万8,000円、令和7年度1億6,204万2,000円に、6,852万円増額するものでございます。

款10災害復旧費、項1農林水産施設災害復旧費、事業名、農業施設災害復旧事業。この事業は、昨年9月の台風13号に伴う豪雨により被災した下大多喜の四ッ縄ため池の復旧工事で、総額を1億5,714万5,000円、年割額を令和6年度5,204万円、令和7年度1億510万5,000円に、2,704万2,000円増額するものでございます。

両事業とも、人件費を含む物価高騰などにより、事業費を増額するものでございます。

第3表、繰越明許費。繰越明許費の設定で、表内の事業を翌年度に繰り越して実施しようとするものでございます。

款2総務費、項1総務管理費、事業名、文書管理事業352万円は、国のデジタル化の推進に伴うもので、町例規のアナログ規制の点検見直しに係る業務で、調査、確認作業に長大な時間を要するため、繰越しをするものでございます。

款9教育費、項5保健体育費、事業名、学校給食センター管理運営事業861万3,000円は、給食センターの蒸気ボイラーの更新工事で、3台あるうちの1台が経年劣化などにより使用できないため更新しようとするもので、年度内の完了が困難なため、繰越しをするものでございます。

第4表、地方債補正、変更。表内の起債の限度額を変更するもので、起債の方法、利率、償還の方法は変更ございません。

上から、農林水産施設災害復旧事業債、限度額70万円を90万円に、830万円増額するもの

で、農林業施設の災害復旧事業へ充当するものでございます。

次の公共土木施設災害復旧事業債は、限度額 2 億 1,060 万円を 2 億 3,410 万円に、2,350 万円増額するもので、単独災害復旧事業として実施する町道紙敷栢ノ木台線及び伊保田線の復旧工事に充当するものでございます。

一番下の臨時財政対策債は、限度額 2,000 万円を 1,000 万円に、1,000 万円減額するもので、今年度の普通交付税算定において、臨時財政対策債の発行可能額の決定による減でございます。

それでは次に、事項別明細書により補正予算の説明をさせていただきます。

2 枚めくって、32、33 ページをお願いします。

2、歳入。

款 10 地方特例交付金、項 1 地方特例交付金、目 1 地方特例交付金 116 万 1,000 円の増額補正は、今年度の交付金額の決定によるものでございます。

款 11 地方交付税、項 1 地方交付税、目 1 地方交付税 6,831 万 7,000 円の増額補正は、今年度の普通交付税の算定結果と、地域おこし協力隊事業の増額に対する特別交付税でございます。

款 13 分担金及び負担金、項 1 負担金、目 5 災害復旧事業費負担金 158 万 7,000 円の増額補正は、農地及び農業施設災害復旧事業の受益者負担金でございます。

款 15 国庫支出金、項 1 国庫負担金、目 1 民生費国庫負担金 39 万円の増額補正は、補装具給付費に対するものでございます。

項 2 国庫補助金、目 1 総務費国庫補助金 768 万 8,000 円の増額補正は、振り仮名通知のための戸籍システム改修に対する社会保障・税番号制度システム整備費補助金と、定額減税補足給付金の増に対する物価高騰対応重点支援地方創生交付金でございます。

目 2 民生費国庫補助金 24 万 5,000 円の増額補正は、子育て援助活動支援事業に対するものでございます。

目 6 消防費国庫補助金 146 万 2,000 円の増額補正は、小型動力ポンプつき軽積載車と小型動力ポンプ購入に対する補助金でございます。

款 16 県支出金、項 1 県負担金、目 2 民生費県負担金 19 万 5,000 円の増額補正は、補装具給付費に対するものでございます。

項 2 県補助金、目 1 総務費県補助金 12 万円の増額補正は、自転車用のヘルメット購入助成に対する県補助でございます。

目 2 民生費県補助金 24 万 5,000 円の増額補正は、子育て援助活動支援事業に対するもので

ございます。

次のページをお願いします。

目4 農林水産業費県補助金662万4,000円の増額補正は、ため池の廃止に係る実施設計に対する補助と、町内18か所の防災重点ため池への事故防止看板設置に対する補助でございます。

目7 消防費県補助金36万5,000円の減額補正は、小型動力ポンプ更新に対し、国補助を受けられることとなったため、県補助を減額するものでございます。

目9 農林水産施設災害復旧費補助金6,114万2,000円の増額補正は、農地と農業施設の災害復旧事業に対する増でございます。

項3 県委託金、目1 総務費委託金17万8,000円の増額補正は、統計調査に対する委託金の増でございます。

款19繰入金、項1 基金繰入金、目3 ふるさと基金繰入金2,429万円の増額補正は、高速バス乗り場待合所の設置工事と、今回の補正で増額する地域通貨のプレミアムポイント分として繰り入れるものでございます。

款20繰越金、項1 繰越金、目1 繰越金4,658万4,000円の増額補正は、今回の補正の財源として繰越金を充てたものでございます。

款21諸収入、項5 雑入、目2 雑入2億229万2,000円の増額補正は、説明欄記載のとおりでございます。

款22町債、項1 町債は、第4表地方債補正でも説明させていただいた農林水産施設と、公共土木施設の災害復旧事業債と、交付税算定で発行額が決定した臨時財政対策債の減でございます。

次に歳出ですが、今回の補正予算では職員の仕事異動に伴う増減がございますので、先に給与費明細書を説明させていただきます。

54、55ページをお開きください。

給与費明細書。

1、特別職の表、区分の欄、比較の項、右ページの共済費の10万9,000円は、短期共済組合負担金の率の改正による増でございます。

次のページをお願いします。

2、一般職の1号、総括の表、区分の欄、比較の項は、職員数1名の減、短時間勤務職員1名増、報酬233万9,000円の増、給料235万4,000円の減、職員手当759万8,000円の増、共済費640万1,000円の増、合計で1,398万4,000円の増でございます。職員の退職、定年退職職員

の再任用などを含む人事異動や、会計年度任用職員の増などによる報酬、給料、各種手当及び共済費の増減でございます。

職員手当はその下の表、職員手当の内訳のとおりで、その次のア、会計年度任用職員以外の職員の表と、1枚めくっていただいて、次のページのイ、会計年度任用職員の内容と、2号給料及び職員手当の増減額の明細の表は記載のとおりでございます。1号、総括の表で説明したとおりとなっております。当初予算編成時に比較し、職員数の内訳の変動などによるものが主なものとなります。以降の表については説明を割愛させていただきます。

次に、事項別明細書により歳出を説明させていただきます。人件費に関する補正については、一部説明を割愛させていただきますので、ご了承ください。お願いします。

それでは36、37ページにお戻りください。

3、歳出。

款1 議会費、項1 議会費、目1 議会費6万円の増額補正は、職員手当共済費でございます。

款2 総務費、項1 総務管理費、目1 一般管理費858万8,000円の増額補正は、人事異動等に伴う人件費の増減と、説明欄の一般事務費、管財管理費は、公用車の車検代等でございます。

目2 文書広報費352万の増額補正は、繰越明許費でも説明させていただいた国のデジタル化の推進に伴うもので、町例規のアナログ規制の点検見直しに係るものでございます。

目3 財政管理費165万円の増額補正は、公会計財務書類の作成でございます。

目5 財産管理費535万5,000円の増額補正は、説明欄の公有財産管理事業では、公共施設の修繕料等と、旧上瀑小学校の高圧受電設備、キュービクルの設計業務、庁舎管理費は本庁舎のエレベーターの修繕と、本庁舎と中庁舎間の渡り廊下の雨漏りの修繕などがございます。次のページをお願いします。町有林管理事業は、町道中野大多喜線沿いの町有林枝打ち作業時の高所作業車借上料でございます。

目6 企画費2億3,569万円の増額補正は、説明欄の地域おこし協力隊事業は、協力隊員関連業務について、民間企業等受入れ型の実施と、協力隊員の企業支援事業補助金でございます。地域公共交通対策事業は高速バス待合所設置工事、地域通貨事業は物価高騰及び経済対策として実施するもので、当初予算分に2億円を追加するものでございます。

目7 電子計算費89万7,000円の増額補正は、電子計算機印刷関係の消耗品でございます。

目8 諸費1,403万4,000円の増額補正は、説明欄、交通安全対策事務費は、自転車乗車時のヘルメット着用促進に係る購入の補助で、ヘルメット購入1個当たり2,000円を補助するものでございます。その次からの各事業還付費は、令和5年度各事業の実績による国・県への

還付でございます。定額減税補足給付金は、給付額算定の結果、不足する給付金等の増額でございます。

項 2 徴税費、目 1 税務総務費78万4,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増。目 2 賦課徴収費218万9,000円の増額補正は、新たに指定された土砂災害警戒区域対象筆の抽出業務と、次のページをお願いします。地籍調査の結果による地図情報データの修正でございます。

項 3 戸籍住民基本台帳費、目 1 戸籍住民基本台帳費211万8,000円の増額補正は、人事異動等に伴う人件費の増でございます。

項 5 統計調査費、目 1 統計調査総務費 2 万8,000円の減額補正は、人事異動に伴う職員手当の減と、短期共済負担金の率の改正による増でございます。

目 2 各種統計調査費17万8,000円の増額補正は、調査区の変更に伴う報償費の増でございます。

款 3 民生費、項 1 社会福祉費、目 1 社会福祉総務費 9 万3,000円の増額補正は、人事異動に伴う社会福祉関係職員人件費の増と、障害者福祉事業は補装具給付費の増、国民健康保険特別会計繰出金は人事異動による人件費の繰り出しの減でございます。

目 2 国民年金費227万5,000円の減額補正は、人事異動に伴う人件費の減でございます。

目 5 介護保険事業費293万9,000円の減額補正は、人事異動に伴う人件費の減と、介護保険事務費繰出金は、会計年度任用職員人件費の増と介護事業で使用する公用車の購入でございます。

項 2 児童福祉費、目 1 児童福祉総務費133万円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増と、次のページをお願いします。目 4 児童福祉施設費267万6,000円の増額補正は、人事異動等に伴う人件費の増と、保育園管理運営事業の保育園施設改修工事は、みつば保育園の雨漏りの補修工事とつぐみの森保育園の2階プール室の漏水工事でございます。

款 4 衛生費、項 1 保健衛生費、目 1 保健衛生総務費156万3,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増でございます。

目 3 環境衛生費41万6,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増と、環境保全事業は、ごみの減量化の取組として生ごみ処理機の借上料でございます。

目 4 母子保健事業費75万2,000円の増額補正は、子育て援助活動支援事業、ファミリーサポートセンターの運営事業等の委託でございます。

項 2 清掃費、目 1 清掃総務費121万円の減額補正は、人事異動に伴う人件費の減ござい

ます。

目2 塵芥処理費273万6,000円の増額補正は、作業用車両と収集した缶の圧縮機などの修繕料と、蛍光管と電池の廃棄処分の委託料でございます。

次のページをお願いします。

款5 農林水産業費、項1 農業費、目1 農業委員会費40万1,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増などでございます。

目2 農業総務費1,500万2,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増でございます。

目3 農業振興費538万4,000円の増額補正は、会計年度任用職員人件費の増減と、新たな農産物を特産品として開発するものでございます。

目5 農地費1,612万5,000円の増額補正は、基幹農道の橋梁の耐震化整備計画策定のため池廃止の測量設計業務、看板設置工事は、町内18か所の防災重点ため池への事故防止看板設置、道路補修用材料は、物価高騰による材料費の不足分と、新たに実施予定の用水路補修の材料費でございます。

目6 農業施設費355万8,000円の増額補正は、農村コミュニティーセンターへ空調を設置するものでございます。

次のページをお願いします。

項2 林業費、目1 林業総務費32万2,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増でございます。

目2 林業振興費98万1,000円の増額補正は、竹粉碎機の修繕と、令和5年度実績による森林環境譲与税基金積立金の増でございます。

款6 商工費、項1 商工費、目1 商工総務費1,554万6,000円の減額補正は、人事異動に伴う人件費の減でございます。

目2 商工業振興費242万4,000円の増額補正は、久保町営駐車場の街灯の修繕と、実績などの増による空き家等活用起業支援事業補助金の増でございます。

款7 土木費、項1 土木管理費、目1 土木総務費220万9,000円の減額補正と、目2 登記費101万9,000円の増額補正は、人事異動に伴うものでございます。

項2 道路橋梁費、目1 道路維持費1,006万2,000円の増額補正は、町道増田小土呂線の舗装打ち替え工事と、法定外の道路の補修用材料でございます。

目2 道路新設改良費191万円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の増減と、次のページをお開きください。公有財産購入費は、町道大戸立脇線と町道鍛冶住宅内岡台線の用地購入

でございます。

項3都市計画費、目1街路事業費30万9,000円の増額補正は、夷隅合同庁舎の移転による案内看板の撤去でございます。

款8消防費、項1消防費、目2非常備消防費と目3消防施設費は国庫補助金の充当など、財源内訳の変更でございます。

目4災害対策費231万7,000円の増額補正は、災害対応に必要な職員手当の増と、防災備蓄品の購入、防災無線のバッテリーの交換、基幹集落センターの防災行政無線固定アンテナの設置手数料でございます。

款9教育費、項1教育総務費、目2事務局費199万8,000円の増額補正は、人事異動等に伴う人件費の増と、小中学校の校外学習時のバスの借上料でございます。

項2小学校費、目1学校管理費473万円の増額補正は、大多喜小学校の職員室等の空調の更新工事でございます。

次のページをお願いします。

項3中学校費、目2教育振興費89万7,000円の増額補正は、柔道部の関東大会、全国大会及びソフトテニス部、卓球部、柔道部、吹奏楽部の県大会の出場に対する補助の増でございます。

項4社会教育費、目1社会教育総務費242万3,000円の減額補正は、人事異動等に伴う人件費の減でございます。

目3図書館費91万4,000円の増額補正は、小冊子「天賞文庫の由来」の作成と書庫の空調設備の更新工事、町史編さん委員の謝礼でございます。

項5保健体育費、目1保健体育総務費218万2,000円の増額補正は、人事異動による人件費の増でございます。

目3学校給食費1,802万7,000円の増額補正は、人事異動に伴う人件費の減と、学校給食センターの各消耗品の購入、食器洗浄機等の修繕、施設内の清掃委託、調理員の不足による人材派遣と、繰越明許費でも説明させていただいた蒸気ボイラーの更新工事及び調理用備品の購入でございます。

款10災害復旧費、項1農林水産施設災害復旧費、目1農地災害復旧費3,158万4,000円の増額補正は、物価高騰や総合単価組替えによる不足分及び新たに計上する農地災害復旧工事でございます。

次のページをお願いします。

目2 農業施設災害復旧費3,760万円の増額補正は、農地災害復旧費と同様に、物価高騰や総合単価組替えによる不足分及び新たに計上する農業施設災害復旧工事と、復旧工事に伴う電柱移転の補償でございます。

項2 公共土木施設災害復旧費、目1 道路橋梁災害復旧費2,358万4,000円の増額補正は、地方債補正でも説明しました町道紙敷栢ノ木台線、伊保田線の復旧工事でございます。

目2 河川災害復旧費463万1,000円の増額補正は、下大多喜地先積迦堂川の復旧工事に係る用地測量でございます。

以上で議案第43号の説明とさせていただきます。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

9番山口君。

○9番（山口定夫君） ページ35ページ、諸収入、雑入なんですけれども、災害対策費用保険として27万3,000円と、特産品販売収入として200万9,000円というのがありますけれども、この内容を教えていただければと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） それでは、総務課のほうから、災害対策費用保険、こちらの内容についてご説明させていただきます。

こちらにつきましては、6月29日、大雨に対する避難指示による人件費の補填という形で、保険対象という形で、時間外勤務手当相当のものを、保険で補填させていただいたものでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長。

○農林課長（秋山賢次君） それでは、特産品販売収入の件につきまして、農林課からお答えさせていただきます。

昨年度から栽培を実施しておりますローゼルについて、町の特産品の一つとして定着をさせていくために町で推奨をしてきた結果、今年度は、昨年度より多い17名の方が栽培をいただいております。

その結果、今年度は、昨年度を超える収穫量が予想されておりますので、昨年度は有限会

社たけゆらの里おたきに全てを依頼しておりましたが、この事業につきましては、町の特産品の開発を進めるための事業でありますので、町が実施する方向で、今年度から方向を少し変えさせていただきます。

町が主体となり、事業を推進していくこととしたために、必要経費を計上させていただきます。その売上げを町のほうへ入れていただくための収入となります。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） ページは53ページ、一番最後の災害復旧費の道路橋梁災害復旧とありますけれども、これはどこどこの現場でしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） ただいまご質問ありました道路橋梁災害復旧事業の工事請負費、災害箇所ということで、2路線ございまして、町道紙敷栢ノ木台線が1か所でございます。もう1か所は町道伊保田線でございます。の2路線でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 分かりましたか。

ほかに。

6番吉野僖一君。

○6番（吉野僖一君） それで、河川ということで、町の守備範囲と県の守備範囲、国・県の守備範囲と、その辺の案分というか、たまたま私も一般質問しようと思ったんですけれども、何か取り上げてくれなかったんですけれども、せんだっての台風のときに、湯倉の農協の下のところの橋が流されちゃって、2月11日だったかな、区長さんから電話あって、あした現場へ来てくれということで、現場に行って、私もふだんそこ行ったことないので、確かに橋が流されちゃってね。農道、入り口は町道扱いになっているということなんだけれども、なかなかその守備範囲が国と県と……

○議長（渡邊泰宣君） 吉野君。今の件については、今回の災害じゃない……。

○6番（吉野僖一君） そのときの災害で、何でそこは、だから災害復旧に該当しないんだ、その辺をちょっと確認なんですよ。片方はそういう災害復旧やって、その場所場所でできないというのはどういうことなのか、やっぱり行政というのは公平にやらずにちゃいけないんだよね。だから、町でできないなら国・県にやるし、だから河川、町の守備範囲と、国と県の守備範囲をどこら辺まで、課長さんは知っていますか。教えていただけますか。

○議長（渡邊泰宣君） 今回の件については、この補正の中の議案書についての質疑なので、今回の災害に関係なければ、またほかのあれでちょっと問合せしてもらえればと思うんだけど。

○6番（吉野僖一君） だから、私は町民の負託を受けて町議になっていますから、そういう災害復旧でやってくれと言われたのに、取り上げてくれなかったということなので、その辺の今後の対応、町はどういうふうに考えていますか。

○議長（渡邊泰宣君） それは別のほうで、また問合せしてください。今回の、議案とは関係ないので。

ほかに質疑ございませんか。

9番山口君。

○9番（山口定夫君） ページ39ページ、地域おこし協力隊事業で、地域おこし協力隊業務委託料として1,040万ありますけれども、これの内訳はどういうことか、教えていただければと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） 1,040万の数字的な内訳ということですか。

○9番（山口定夫君） さっき民間企業とかと言われていましたけれども、今ある地域おこし協力隊とどういうふうに違うか。どういう内容のものか。

○企画課長（米本敏克君） 承知しました。現在町が行っています会計年度任用職員として、任用する協力隊は継続させていただきながら、さらに協力隊の募集、選考、活動及び定着支援並びに活動経費の支払い業務等を一括して業務委託するものです。

内訳としましては、協力隊の活動費については特別交付税措置で上限が決まっておりますので、その範囲で一応4名分を見込んでおります。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに。

10番森君。

○10番（森 久君） それは、どこに業務委託するんでしょうか。また、それはなぜそなんんでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） どこになぜというご質問ですが、まず、町がこの地域おこし協力隊事業を実施する事業の目的ですが、2点あると考えております。

まず1点が、若い方が本町または地域で活動することによる地域活力の活性化が1点。もう一つとしましては、この事業は一つの移住のきっかけとして、将来的に定住につなげることで人口増対策の2点と考えております。ただし、隊員を増やすことが目的ではなく、いかに定着につなげるのが重要と考えております。

今後隊員の受入れや、活動支援体制の強化策としまして、隊員の活動や、将来的な起業または就業の実効性を高めるため、民間事業者等に、協力隊員に係る業務を委託するものでございます。

それと、隊員の活動内容ですが、当然その事業者の行う業務を行うわけではなく、国のガイドラインで示されております地域協力活動、これに取り組む内容を前提として、受託事業者を募り、選定するということで考えております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに。

10番森君。

○10番（森 久君） そうすると、これからその事業者を募集して決めていくということですか。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） はい。そのとおりでございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

8番渡辺八寿雄君。

○8番（渡辺八寿雄君） ページ39ページであります。

交通安全対策事業費ということで、自転車乗車用ヘルメットの購入費補助金24万円ほど計上いただきました。先ほどの説明ですと、1件当たり2,000円の補助金ということでありますので、120件予定をしていただいたと思います。

この補助金交付につきましては、補助金の交付要綱を策定して、その要綱に基づいて交付されるものと思いますけれども、この交付要綱の適用の年月日は、いつ頃に予定されておるのかお伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問につきまして、総務課のほうからお答えさせていただきます。

今、その要綱につきましては作成中でございます。県の補助金要綱にのっとった形の交付

要綱を作成させていただきたいと思います。

時期につきましては、当然、今回提案させていただきましたので、年内中をめどに考えさせていただきたいというところでございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑。

8番渡辺八寿雄君。

○8番（渡辺八寿雄君） ありがとうございます。

年内適用ということでありますけれども、例えば4月1日に遡って適用するということ想定した場合に、自転車通学をされている子供たちがいるわけであります。旧西中関係からもそうだと思いますけれども、そういう子供たちはもう当然ヘルメットを代金支払ってしまっているわけでありますけれども、そういう子供たちに対しても、補助金交付を該当してあげる考えがあるのかどうか、そこら辺いかがでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問につきまして、総務課のほうからお答えさせていただきます。

本千葉県のこの補助事業につきましては遡及適用がございません。

ですから、今のところ、担当の考えといたしましては、来年度中学校に上がる生徒の方、その方たちを中心とした補助金申請を考えながら、要綱のほうを作成させていただきたいというところでございます。

この千葉県の補助金要綱に基づいて、本町もやるところでございます、遡及適用がないという形がこの補助金の基準になっておりますので、遡及適用は考えていないところがございます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

8番渡辺君。

○8番（渡辺八寿雄君） 遡及適用はないということは分かりました。

そうしますと、この事業、令和6年度、新規の事業として創設されたわけでありますけれども、今後令和7年度、8年度、継続して、この補助要綱を継続されていく考えがあるのかどうか、この点についてもお伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問につきまして、総務課のほうからお答えさせていただきます。

本件、千葉県 の 充 当 財 源 と いた しま して、この 補 助 金 を 使 わ せ て いた だ く と ころ で ござい ます。 県 と いた しま して も、適 用 年、終 年 を 定 め て ござい ませ ン。た だ、来 年 度 の 予 算 は、 当 初 この 補 助 金 を つ っ っ た と き か ら、来 年 度 も 適 用 す る よ と い う 件 に つ き ま して は、 県 か ら 示 さ れ て お り ま せ ン の で、 当 然、 補 助 金 で ござい ます の で、 終 期 は 設 定 を さ せ て も ら い な が ら、 補 助 金 の ほう は 作 成 さ せ て いた だ き たい と い う 考 え で は、 町 の ほう は 思 っ て お り ます が、 その 点 に つ き ま して は、 本 年 度 の 申 請 等 の 実 績 等 見 な が ら 適 用 を 考 え て い き たい と い う と ころ で、 今 の と ころ 担 当 の ほう で は 考 え て い る と ころ で ござい ます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 3回終わりました。

○8番（渡辺八寿雄君） 3回終わってしまっ、特別に4回目というわけにいきませんでしょうかね。

大事な子供たちを守るこの通学用のヘルメット、あるいは通学していなくても自転車に乗る子供たちがいるわけで、補助金がないとなった場合でも町単独でこの制度は継続できないものか、この点についてお考えをお伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 一応、3回終わっちゃったので、また後日お願いします。

ほかに質疑ありますか。

ほかに質疑お願いします。

7番山田君。

○7番（山田久子君） 45ページ、環境センター運営事業の委託料で、蛍光管等また電池処分委託料ということで上がっておりますけれども、こちらのほうの電池の回収というのは、どのように、きちんとされているのかどうか。東金市さんのほうの焼却施設は、電池が交ざってしまっていて、爆発か何かして使えなくなってしまったというような状況が今発生しているのかなという感じだと思うんですけれども、町のほうはこの電池の回収、これをどのような形できちんと取組をされているのか、お伺いできればと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） 今回、こちらのほうに予算上げさせていただいたのは、集めてきたものを廃棄する委託料になっています。

今、山田議員のほうのご質問ありました、今現状の電池の回収についてということによろ

しいですね。

東金市の場合は、多分これ充電の何かが発火してというふうなことが記事に載ってありました。確かに、今大多喜町は、電池の回収日のほうは定めておりまして、そのときに出していただく。で、それを集めてくるという形になっております。

申し訳ありません。私も現状で、どのようなというのはちょっと、一応规则的には、毎月第何曜日というふうに決めまして、そこで皆さんのほうに電池を頂いて、それを回収して環境センターのほうにストックをしまして、1年分を今回の委託のほうで処理しているという、そういう流れしかちょっと今お答えすることができません。適正に回収のほうは行っているというふうに認識しております。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

10番森君。

○10番（森 久君） 47ページの真ん中辺り、商工業振興費の中の空き家等を活用した起業支援事業225万円ですけれども、補正予算でこれを立てるということは、この支出をする見通しがあるのかというふうに思います。どの程度の件数で、どのような内容について支援をするのか、もしお分かりでしたら教えていただきたいです。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） どのような件数で、どのような支援をするかということによってよろしいでしょうか。

今回の225万の補正の内訳につきましては、今のところ2件のご相談が来ております。

一応、事業内容につきましては、事業者の相談の内容では、柿みその加工であったり、ジビエ肉の加工ということでございます。

それから、支援事業の内容につきましては、町内で新たな事業を起こす個人を支援するために行うものでございますけれども、対象経費の2分の1、上限75万円を支援する制度となっております。

以上になります。

（「よろしいでしょうか」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 森さんも3回終わっちゃった。

ほかに質疑ありませんか。

6番吉野君。

○6番（吉野僖一君） ページが39ページ、先ほどの通学用のヘルメットなんですけれども、

この配布方法というのは、スクールバス、送迎バスの利用者が途中で自転車でも来たり、いろいろあると思うんですけども、主にこれは上瀑地区とかスクールバスの通っていないところを優先的に配布しているのかどうか、その辺の確認です。分かりますか、内容。配布内容。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） ただいまのご質問につきまして、総務課のほうからお答えさせていただきます。

本件、補助事業でございます。ですから、予算の範囲におきまして、申請者につきまして、は限定することなく、予算の範囲で、申請された方、その基準にのっとった形の申請で交付させていただくものでございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑。

○6番（吉野僖一君） 今のあれで、スクールバスの通っていないところは、学区としては、上瀑とか大多喜小内とか、そういうところが優先的なあれになると思うんですけども、そういう感じでよろしいですか。

○議長（渡邊泰宣君） 吉野君、今3回終わっているのです。

今回のあれは、一般会計の補正予算の中の質疑なので、その中で入っているのです、3回入っているのです。3回終わっているから。

ほかに質疑ありませんか。

2番麻生君。

○2番（麻生 勇君） ちょっと雨漏りのことで質問したいと思います。

37ページの庁舎改修工事、それと43ページの保育園施設改修工事、雨漏りなんですけれども、この庁舎というのはここですか。どこの庁舎ですか。

○議長（渡邊泰宣君） 総務課長。

○総務課長（麻生克美君） それでは、庁舎管理費のほうの庁舎修繕工事、雨漏りのほうをご説明させていただきます。

本庁舎の入り口、自動ドアがございますが、その上が長年の雨等の関係で、一部雨漏り等をしているところでございます。そちらを修繕させていただきます。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 43ページ、保育園管理運営事業176万円ですけれども、この内訳

ですけれども、みつば保育園の3歳以上児棟の雨漏りの修繕、これと、つぐみの森保育園、屋内にプールがございましてけれども、その脇から下の教室のほうに雨漏りをしているもので、そちらの修繕工事でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑。

2番麻生君。

○2番（麻生 勇君） 今回の保育園の雨漏りなんですけれども、雨漏りだから、緊急を要するんじゃないですか。これ、昨日か、専決処分の話がありましたけれども、雨漏りしていると非常に困るんじゃないかと思うんですけれども、早くやらないといけないかなと思って、今質問しているんですが。

○議長（渡邊泰宣君） 教育課長。

○教育課長（吉野正展君） 雨漏りの件についても、私どもできるだけ早くやりたいと思っておりますけれども、今回補正で計上させていただいて、早急に対応してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

2番麻生君。

○2番（麻生 勇君） 49ページの街なみ整備事業、構築物解体撤去工事なんですけど、今、各地で構築物が老朽化して倒れる危険が叫ばれています。

今、町で構築物の解体なんですけど、これは、夷隅振興センターの移動に伴うということなんですけど、これは不要だからそうなるんでしょうけれども、ほかにもこういうところが出てくるんじゃないかなと思って、老婆心ながら質問なんですけど。

○議長（渡邊泰宣君） 商工観光課長。

○商工観光課長（渡邊陽二君） 今回の補正で計上させていただいた街なみ整備事業に係る構造構築物の解体撤去工事ですけれども、これは議員のおっしゃるとおり、夷隅合同庁舎の移転に伴う看板撤去ということになります。

商工観光課で所管する誘導サイン、これ誘導サインというんですけれども、この案内板とか、職員のほうで随時点検しております、その中で老朽したものについては、修繕という形を取って行っております。

今後、修繕で直るものについては、そういった形で、修繕のほうをできるものについては考えていければと思っております。

以上になります。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

4 番末吉君。

○4 番（末吉昭男君） 43ページの環境保全事業の中で、使用料及び賃借料の中で機械借上料、生ごみ処理機を何か借り上げるというお話だったと思うんですけども、どのようなものをお借りして、どのように活用するのか、お教えいただければと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） 今回、補正予算で上げさせていただいたものにつきましては、ごみの減量化を図る上では、以前広報、あとチラシ等で皆さんのほうに周知させていたけれども、生ごみの減量が一番効果があるということで、今回生ごみ処理機を3台レンタルをしまして、それを町民の方に無償でお貸ししまして、それで効果を、生ごみ処理機、一つ一つがちょっと高価なものなので、その効果を皆さんのほうに試していただくということで、今回、3名分の3台の6か月分の使用料を計上させていただきました。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑。

4 番末吉君。

○4 番（末吉昭男君） 使用者の募集方法というのは、どのような形で行いますか。

○議長（渡邊泰宣君） 環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） 今回予算が承認されましたら、すぐ貸出しの要綱を定めまして、広報、あとはホームページ等で募集を行いたいというふうに思っております。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本案については討論を省略し、これから採決したいと思います。

異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第43号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第43号は原案のとおり可決されました。

ここでしばらく休憩します。

この間に昼食をお願いして、午後は1時から会議を再開します。

(午前 11時54分)

○議長(渡邊泰宣君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後 1時00分)

◎議案第44号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第8、議案第44号 令和6年度大多喜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

税務住民課長。

○税務住民課長(西川栄一君) それでは、議案第44号についてご説明いたします。

議案つづり67ページをお願いいたします。

本文に入る前に、提案理由の説明をさせていただきます。

今回の補正予算は、歳入歳出ともに人事異動及び過年度分保険税の還付金増に伴い、所要の補正を行おうとするものでございます。

それでは本文に入らせていただきます。

令和6年度大多喜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ23万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億2,830万7,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

詳細につきましては、事項別明細書によりご説明いたしますので、72、73ページをお願いいたします。

歳入になります。

款の5繰入金、項の1他会計繰入金、目の1一般会計繰入金49万8,000円の減額補正は、人事異動に伴い職員給与費分の繰入金を減額するものでございます。

次の款の6項の1繰越金、目の1その他繰越金72万9,000円の増額補正は、保険税還付金の増に伴い前年度繰越金を増額するものでございます。

次に、74、75ページをお願いいたします。

次は歳出になります。

款の1総務費、項の1総務管理費、目の1一般管理費49万8,000円の減額補正は、人事異動に伴う人件費の減額となります。

次の款の5諸支出金、項の1償還金及び還付加算金、目の1保険税還付金72万9,000円の増額補正は、過年度分保険税の還付金増によるものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本案については討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第44号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第44号は原案のとおり可決されました。

◎議案第45号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第9、議案第45号 令和6年度大多喜町介護保険特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

健康福祉課長。

○健康福祉課長（長野国裕君） 議案第45号 令和6年度大多喜町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてご説明をさせていただきます。

議案つづり87ページをお開きください。

本文に入る前に、提案理由の説明をさせていただきます。

今回の補正は、人件費の減に伴う国・県及び町負担分繰入金の減額、2つ目、会計年度任用職員人件費の増及び公用車購入による介護保険事務費の増、それに伴う繰入金の増額、3つ目として、令和5年度分の国・県支払基金の交付金支出金等精算に伴う返還金の確定に伴う補正を行うものでございます。

それでは本文に入らせていただきます。

令和6年度大多喜町介護保険特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,650万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億3,257万8,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

それでは、事項別明細書によりご説明をいたしますので、92、93ページをお願いいたします。

歳入からになります。

款4国庫支出金、項2国庫補助金、目3地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）13万9,000円の減額補正及び款6県支出金、項2県補助金、目2地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）6万9,000円の減額補正は、職員人件費の減に伴うものでございます。

款7繰入金、項1他会計繰入金、目1一般会計繰入金293万9,000円の減額は、職員人件費の減に伴う地域支援事業繰入金と職員給与費等の繰入金の減額、さらに会計年度任用職員人件費の増及び公用車購入に伴う事務費繰入金の増額でございます。

項2基金繰入金、目1介護給付費準備基金繰入金8万4,000円の減額は、人件費の減に伴う減額でございます。

款 8 項 1 目 1 繰越金 3,973 万 3,000 円の増額補正は、交付金、支出金等の前年度精算に伴う返還金等に充当するためのものがございます。

歳入は以上となります。

次に、歳出でございます。

94、95 ページをお願いいたします。

款 1 総務費、項 1 総務管理費、目 1 一般管理費 287 万円の減額補正は、職員人件費の減に伴うものと会計年度任用職員人件費及び公用車購入に伴うものがございます。

款 3 地域支援事業費、項 3 包括的支援事業・任意事業、目 1 包括的支援事業 67 万 6,000 円の減額補正は、職員人件費の減に伴うものがございます。

目 2 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費 31 万 5,000 円の増額補正は、職員手当及び共済費の増に伴うものがございます。

次に、一番下、款 6 諸支出金、項 1 目 1 償還金及び還付金 3,973 万 3,000 円の増額補正は、交付金、支出金等の前年度精算に伴う返還金でございます。

以上で、令和 6 年度大多喜町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）の説明を終わります。ご審議くださいますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本案について討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第 45 号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第45号は原案のとおり可決されました。

◎議案第46号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第10、議案第46号 令和6年度大多喜町水道事業会計補正予算（第1号）を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） 議案第46号についてご説明させていただきます。

議案つづり107ページをお開きください。

本文に入ります前に、提案理由のご説明をさせていただきます。

今回の補正予算は、水道施設周辺整備のための高所作業車のリース代及び漏水工事に伴う道路の本復旧工事費用が主なものとなります。

それでは、本文に入らせていただきます。

令和6年度大多喜町水道事業会計補正予算（第1号）。

第1条、令和6年度大多喜町水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

第2条、予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

支出。第1款水道事業費用、第1項営業費用を990万8,000円を増額し、総額を4億8,139万2,000円とするものです。

詳細につきましては、令和6年度水道事業会計補正予算積算基礎資料によりご説明いたしますので、110、111ページをお開きください。

支出。款1水道事業費用、項1営業費用、目2配水及び給水費の補正予算額990万8,000円は、備考欄にも記載しておりますが、先ほど提案理由でご説明させていただいたとおり、高所作業車のリース代と舗装本復旧工事費用によるものでございます。

以上で議案第46号の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本案については討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(渡邊泰宣君) 異議なしと認めます。

これから議案第46号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第46号は原案のとおり可決されました。

◎議案第47号～議案第52号、報告第13号及び報告第14号の一括

上程、説明

○議長(渡邊泰宣君) 日程第11、議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第16、議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定について及び日程第17、報告第13号 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について並びに日程第18、報告第14号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算に基づく資金不足比率の報告についてまでを一括議題とします。

なお、決算認定につきましては、日程に示したとおり、本日は各会計決算の提案説明までとします。

これより順次説明及び報告をお願いします。

なお、説明については着席にて説明することを許します。

最初に、議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定について説明願います。

財政課長。

○財政課長(君塚恭夫君) それでは着席にて説明をさせていただきます。

議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定について、財政課及び会計室から説明をさせていただきます。

初めに、財政課から令和5年度主要施策の成果説明書について説明をさせていただきます。

決算書とは別に別冊である主要施策の成果説明書のほう、2ページの一般会計歳入歳出総

括表のほうをご覧ください。

まず、左側の歳入の状況ですが、一番下の欄、歳入の合計では決算額67億7,898万1,000円、対前年度2億3,831万8,000円、3.6パーセントの増でございます。

右側の歳出の状況ですが、一番下の欄、歳出合計で決算額64億4,633万8,000円、対前年度5億581万5,000円、8.5パーセントの増でございます。

歳入歳出の区分や各種事業の詳細については、この後の会計室長及び来週開催予定の常任委員会で説明をさせていただきます。

次の3ページをご覧ください。

本表は地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき比率を算出したもので、推移や前年度との比較のため直近5年度分の比率を記載してございます。

表に記載のとおり、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率は赤字でないため算定されません。③実質公債費比率は昨年度より0.1下がり3.7パーセント、④の将来負担比率は前年度と同様に、将来負担すべき金額よりも充当可能な財源などの額が多いため算定されませんでした。

以上、町の財政健全化判断比率はいずれも基準の範囲内となりました。各比率については、別途令和5年度決算に基づく健全化判断比率としてご報告をさせていただきます。

4ページ以降は各会計での予算科目ごとの主要施策の成果説明でございますが、決算書の説明と重複いたしますので、ここでの説明は割愛させていただきます。

なお、決算書につきましてはこの後、会計室長から説明をいたします。

以上、財政課からの説明とさせていただきます。

○議長（渡邊泰宣君） 会計室長。

○会計室長（須藤明実君） それでは、決算書の内容につきまして会計室から説明をさせていただきます。着座にて説明をさせていただきます。

初めに、財産に関する調書について説明させていただきますので、決算書286、287ページをお願いします。

財産に関する調書については、決算年度中に増減のあった主なものについて説明させていただきます。

1項公有財産、1号土地及び建物、初めに土地の欄の決算年度中増減高ですが、区分、公共用財産、その他の施設、マイナス4,620平方メートル、その2つ下、その他の4,620平方メートルにつきましては、特別養護老人ホームの事業廃止により行政財産から普通財産へ移動

したものでございます。

次に、木造の欄の決算年度中増減高ですが、区分、本庁舎、マイナス107平方メートルにつきましては、旧ヤクルト跡地の建物の取壊し。区分、その他、マイナス108平方メートルにつきましては、旧お試し住宅の取壊しによる減でございます。

次に、非木造の欄の決算年度中増減高ですが、区分、公共用財産、その他の施設、マイナス2,729平方メートル、その2つ下、区分、その他の2,729平方メートルにつきましては、特別養護老人ホームの事業廃止により行政財産から普通財産へ移動したものでございます。

次に、2号山林の面積については、決算年度中の増減はございません。立木の推定蓄積量については、所有林で決算年度中増減高710立方メートル、分収林で8立方メートルの増でございます。

288、289ページをお願いします。

3号無体財産権、4号有価証券、5号出資による権利については、決算年度中の増減はございません。

次の2項物品につきましては、記載のとおり増減でございますが、上から6番目、乗用車の1台は特別養護老人ホームからの所管替えが2台、購入が1台、廃棄が2台、差引き1台でございます。その3つ下のポンプ車を1台廃車し、その下の小型動力ポンプ積載車を1台購入しました。

次のページの下から9番目、樹木粉碎機、その下の放射能測定器、それぞれ1台の増につきましては、農林課で購入したものでございます。一番下の印刷機1台につきましては、読書おもいで帳記帳機を図書館で購入したものでございます。

次に、291ページの3項債権につきましては、学校法人三育学院貸付金、貸付金の償還により決算年度中増減高が90万7,000円の減でございます。

4項基金につきましては、会計別に記載しております。1号一般会計について、予算額に基づき増減しておりますが、一般会計22基金の合計は9,185万円の増で、決算年度末現在高は30億144万8,000円でございます。

次の292ページの2号鉄道経営対策事業基金特別会計、3号国民健康保険特別会計、4号介護保険特別会計の基金は、記載のとおり増減になります。

以上の26基金の合計では1億351万6,000円の増で、決算年度末現在高は36億9,617万1,000円でございます。

次に、一般会計の歳入歳出決算について、事項別明細書によりご説明させていただきます。

決算書の18、19ページをお願いします。

歳入につきましては、科目と右側ページの収入済額、不納欠損額及び収入未済額を中心に説明させていただきます。

款1町税は、対前年度294万3,000円減の収入済額11億5,049万3,694円、不納欠損額につきましては、町民税、固定資産税及び軽自動車税の合計で586万3,844円、収入未済額は5,634万526円でございます。

次に、款2地方譲与税は、対前年度49万1,000円増の収入済額7,137万9,000円でございます。

20、21ページをお願いします。

款3利子割交付金は、対前年度9万7,000円減の収入済額39万8,000円。

款4配当割交付金は、対前年度66万7,000円増の収入済額566万4,000円。

款5株式等譲渡所得割交付金は、対前年度280万9,000円増の収入済額678万7,000円。

款6法人事業税交付金は、対前年度328万4,000円増の収入済額2,444万9,000円。

款7地方消費税交付金は、対前年度519万9,000円減の収入済額2億3,403万6,000円。

款8ゴルフ場利用税交付金は、対前年度344万8,000円減の収入済額9,611万9,741円。

款9環境性能割交付金は、対前年度90万8,000円増の収入済額1,040万1,000円。

款10地方特例交付金は、対前年度673万円減の収入済額350万4,000円でございます。

22、23ページをお願いします。

款11地方交付税は、対前年度6,829万7,000円増の収入済額21億6,535万円。

款12交通安全対策特別交付金は、対前年度21万1,000円減の収入済額134万8,000円。

款13分担金及び負担金は、対前年度1,261万6,000円増の収入済額7,319万9,768円、収入未済額は高齢者在宅生活支援事業負担金等の67万9,239円でございます。

24、25ページをお願いします。

款14使用料及び手数料は、対前年度412万5,000円減の収入済額8,844万5,631円、収入未済額は住宅使用料等の181万2,100円でございます。

次に、28、29ページをお願いします。

款15国庫支出金は、各種事業における国の負担金及び補助金で、対前年度1億8,600万9,000円減の収入済額5億4,282万3,490円でございます。

次に、32、33ページをお願いします。

款16県支出金も各事業における県の負担金及び補助金で、対前年度6,051万8,000円増の収

入済額 3 億4,221万5,942円でございます。

次に、44、45ページをお願いします。

款17財産収入は、町有財産や横山宮原住宅、光ファイバーケーブル貸付収入等で、対前年度848万8,000円増の収入済額5,341万1,619円、収入未済額は横山宮原住宅貸付収入の138万7,000円でございます。

次に、46、47ページをお願いします。

款18寄附金は、対前年度1,503万円増の収入済額 1 億7,101万652円。指定寄附金では、ふるさと納税が 1 億5,910万6,152円、企業版ふるさと納税が120万円でございます。

款19繰入金は、対前年度 1 億259万1,000円増の収入済額 1 億7,540万2,962円は基金からの繰入金でございます。

48、49ページをお願いします。

款20繰越金は、前年度繰越金及び繰越明許分等で、対前年度757万7,000円減の収入済額 6 億13万9,830円でございます。

款21諸収入は、対前年度 1 億3,520万2,000円増の収入済額 6 億2,700万2,103円、収入未済額は、町営住宅修繕負担金の21万4,516円でございます。雑入の主な収入は、地域通貨のチャージ分でございます。

次に、54、55ページをお願いします。

款22町債は、過疎地域持続的発展特別事業債等で、対前年度3,770万円増の収入済額 3 億3,540万円でございます。

56、57ページをお願いします。

以上、歳入合計は予算現額76億1,285万1,000円、調定額68億4,527万8,657円、収入済額67億7,898万1,432円、不納欠損額586万3,844円、収入未済額6,043万3,381円でございます。

続きまして、一般会計の歳出決算の説明をさせていただきます。

58、59ページをお願いします。

歳出につきましては、款または項の支出済額及び主要な事務概要を中心に説明させていただきます。

款 1 議会費、項 1 議会費の支出済額は7,456万9,380円。町議会議員と事務局職員の人件費、議会運営に要する事務的経費、会議録作成委託料、政務活動費補助金等でございます。

款 2 総務費の支出済額は17億7,969万9,953円、翌年度繰越額の繰越明許費は5,212万6,000円、事故繰越は350万円でございます。

項1 総務管理費の支出済額は16億1,831万6,611円。61ページをお願いします。主なものは、特別職及び職員の人件費、下段の一般事務費、総務管理費の報償費は行政連絡員への報償費等、委託料は宿直業務委託料等でございます。

65ページをお願いします。

中段の文書管理事業は、委託料、例規集データ更新等に係る業務、法制ソフト支援業務の経費でございます。

下から2段目のホームページ管理事業は、ホームページ更新やパソコンシステム使用料等、町ホームページに係る経費でございます。

67ページをお願いします。

下段の公有財産管理事業は、主に町所有の建物及び公用車の保険料、各種保守委託料等でございます。

69ページをお願いします。

中段の庁舎管理費は、庁舎の維持管理に伴う経費でございます。その下の多目的庁舎建設事業は、次のページをお願いします。主に多目的庁舎建設に伴う地質調査設計業務委託料、旧お試し住宅等の建物解体撤去工事です。

その2つ下、町有林管理事業、繰越明許は大多喜、横山地先の立木伐採撤去委託料です。

同じページの下段、定住化対策事業は、次のページをお願いします。空き家改修事業補助金、UIJターンによる起業・就業者等創出事業補助金等でございます。その下の地域おこし協力隊事業は、会計年度任用職員報酬や車両・住居借上料、また研修会等への参加負担金、地域おこし協力隊起業支援事業補助金等でございます。

75ページをお願いします。

上から2段目、地域情報通信基盤維持管理事業は、光ファイバー網の保守管理費、東京電力柱やNTT柱へのケーブル添架料等でございます。

その2つ下、地域公共交通対策事業は、委託料のデマンド型地域交通運行業務や臨時バス運行業務等でございます。負担金補助及び交付金は、町内バス路線維持助成金、地域公共交通活性化協議会補助金等でございます。

その下のふるさと納税事業は、報償費、ふるさと納税返礼代等でございます。

77ページをお願いします。

中段の地域通貨事業は、報償費、地域通貨利用協力金でございます。

79ページをお願いします。

地域行政推進事業は、郡市広域市町村圏事務組合負担金等の関係団体への負担金でございます。その下のいすみ鉄道対策事業は、いすみ鉄道利用増大対策事業補助金、基盤維持費補助金、経営支援補助金、鉄道輸送対策事業費補助金等でございます。

81ページをお願いします。

千葉県誕生150周年姉妹都市提携45周年記念事業は、千葉県誕生150周年メキシコ、クエルナバカ市との提携45周年記念事業実施に係る経費でございます。

83ページをお願いします。

下から4段目、コミュニティ育成事業は、地区集会施設の新築及び壁塗装や屋根などの施設改修に係る補助金でございます。

85ページをお願いします。

項2 徴税費の支出済額は9,761万4,461円。主なものは、職員の人件費、税務総務事務費の負担金補助及び交付金では、関係団体への負担金や補助金でございます。

87ページをお願いします。

賦課事務費の委託料では、不動産鑑定委託料、基幹系システム大量一括処理委託料、下段の地図情報システム管理事業、次のページをお願いします。委託料は、航空写真データ作成業務や地図情報データ修正等でございます。

項3 戸籍住民基本台帳費の支出済額は5,831万4,737円。主なものは、職員の人件費、戸籍事務費は会計年度任用職員給料、使用料及び賃借料の戸籍システム借上料等でございます。

91ページをお願いします。

住民基本台帳ネットワークシステム事業は、パソコンの借上料、住民票等のコンビニ交付等の関連経費でございます。下段の戸籍事務費、繰越明許は戸籍システムの改修委託料でございます。

93ページをお願いします。

項4 選挙費の支出済額は97万597円。主なものは、選挙管理委員会事務費、千葉県議会議員選挙の経費でございます。

項5 統計調査費の支出済額は417万135円。主なものは、職員の人件費、次のページをお願いします。各種統計調査の経費でございます。

項6 監査委員費の支出済額は31万3,412円。監査委員の報酬等でございます。

款3 民生費の支出済額は14億7,545万8,799円、翌年度繰越額の継続費通次繰越しは258万円、繰越明許費は3,559万3,000円でございます。

項1 社会福祉費の支出済額は10億2,859万4,609円。主なものは、職員の人件費、次のページをお願いします。社会福祉事務費は委託料、ソフトウェア導入設定委託料、社会福祉関係団体助成事業は関係団体への負担金や補助金でございます。

障害者福祉事業は、委託料、次のページをお願いします。障害者計画等策定業務委託料や地域生活支援事業委託料、扶助費の介護給付費や自立支援医療給付費、その下の民生委員活動事業は、民生委員活動費としての報償費等でございます。

101ページをお願いします。

国民健康保険特別会計繰出金は、国保会計の基盤安定負担金等の繰出金でございます。

2つ下の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業、その下の追加給付は給付金支給に係る経費でございます。

103ページをお願いします。

中段の高齢者在宅生活支援事業、主なものは外出支援サービス委託料でございます。

105ページをお願いします。

上から2段目の特別養護老人ホーム整理事業から109ページの中段の特定技能外国人受入事業は、新たな施設が運営開始するまでの特別養護老人ホーム運営経費でございます。

111ページをお願いします。

中段の介護保険特別会計繰出金は、介護給付費繰出金、介護保険職員給与費等繰出金等でございます。

下段の後期高齢者医療対策事業は、次のページをお願いします。後期高齢者医療広域連合への負担金、2つ下の後期高齢者医療特別会計繰出金は基盤安定繰出金等でございます。

項2 児童福祉費の支出済額は4億4,686万4,190円。主なものは、職員の人件費、子ども医療対策事業は扶助費の高校生までの医療費、子育て世帯生活支援特別給付金事業及び子どもの成長応援臨時給付金事業は、子育て世帯へ支給される給付金等でございます。

115ページをお願いします。

中段の児童手当支給事業の扶助費は、児童手当の支給でございます。

下段の保育園管理運営事業は、両保育園の会計年度任用職員報酬、次のページをお願いします。施設の維持管理経費、園児の送迎バス委託料等でございます。

下段の児童クラブ運営事業は、会計年度任用職員報酬、次のページをお願いします。施設の維持管理経費、子育て支援センター運営事業は人件費等の経費でございます。

2つ下の保育園管理運営事業、繰越明許につきましては、みつば保育園の空調設備工事で

ございます。

款4 衛生費の支出済額は5億7,283万8,729円、翌年度繰越額の繰越明許費は91万9,000円でございます。

項1 保健衛生費の支出済額は2億8,931万3,824円。主なものは、職員の人件費、次のページをお願いします。中段の医療体制整備事業は、国保国吉病院への負担金等でございます。

その下のがん検診、予防接種及び、次のページをお願いします。健康増進事業は、各事業に係る経費等でございます。

下段の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、次のページの新型コロナウイルスワクチン接種対策事業は、ワクチン接種体制に係る経費でございます。

下段の環境衛生事務費の負担金補助及び交付金は、次のページをお願いします。夷隅環境衛生組合への負担金、3つ下の合併処理浄化槽設置整備事業は、くみ取り、単独槽から合併浄化槽への転換に対しての補助金等でございます。

129ページをお願いします。

中段の妊娠・出産包括支援事業は、健康診査や産後ケア事業の委託料、出産・子育て応援交付金や不妊治療費でございます。

その下の斎場無相苑管理運営事業は、施設の維持管理経費、次のページをお願いします。火葬炉運転業務の委託料、工事請負費はトイレ及び火葬炉の改修工事、空調設備工事でございます。

項2 清掃費の支出済額は1億9,860万1,905円。主なものは、職員の人件費、会計年度任用職員報酬等でございます。

133ページをお願いします。

中段の環境センター運営事業は、ごみ収集委託料及び粗大ごみ処理委託料、いすみクリーンセンター塵芥処理負担金でございます。

項3 上水道の支出済額は8,492万3,000円で、次のページをお願いします。水道企業会計に対する上水道高料金対策補助金でございます。

款5 農林水産業費の支出済額は3億4,387万1,201円。翌年度繰越額の繰越明許費は820万6,000円でございます。

項1 農業費の支出済額は2億5,683万8,567円。主なものは、職員の人件費、農業委員会運営事業は農地利用最適化推進委員、農業委員会委員への報酬でございます。

137ページをお願いします。

中段の農業振興事業は、会計年度任用職員給料、負担金補助及び交付金は農業等各種団体への負担金や補助金、下段の産地育成事業、次のページの繰越明許につきましては、遊休農地を活用し、特産品の栽培をすることにより地域の活性化を図る目的の事業で、主なものは、委託料の植栽委託料や工事請負費の地盤改良工事でございます。

2つ下の鉱毒ダム対策事業は、平沢ダムの維持管理等の経費、その下の基幹農道整備事業、次のページをお願いします。委託料は、たけんこ橋の耐震補強設計委託、たけんこ橋及びせせらぎ橋の橋梁点検調査委託、工事請負費は農道の舗装打替え工事でございます。

土地改良関係団体事業委託料は、測量設計業務、工事請負費は横山地先の排水整備工事、また関係団体への負担金や補助金等でございます。

多面的機能支払交付金事業、次のページの中山間地域等直接支払交付金事業は、事業実施区への交付金でございます。

土地改良関係団体事業、繰越明許の委託料は、白谷ため池地質調査委託料でございます。

次に、集落センター、味の研修館、農村コミュニティーセンターの維持管理事業は、各施設の維持管理経費等でございます。

145ページをお願いします。

項2 林業費の支出済額は8,703万2,634円。主なものは、職員の人件費、下段の有害鳥獣駆除対策事業は、次のページをお願いします。有害鳥獣の捕獲に伴う捕獲報償費、有害鳥獣駆除委託料、被害防止に係る補助金等でございます。

中段の森林整備事業は、委託料の災害に強い森づくり事業、下段の森林環境譲与税事業は備品購入費、樹木粉碎機や木製ジャングルジムの購入、次のページをお願いします。基金への積立金等でございます。

款6 商工費、項1 商工費の支出済額は2億6,028万4,579円、翌年度繰越額は繰越明許費が462万4,000円でございます。主なものは、職員の人件費、商業振興事業、負担金補助及び交付金では商工会への補助金、商店街街路灯修繕事業補助金等でございます。

商い資料館管理運営事業の商い資料館管理委託料は、町観光協会へ指定管理委託料でございます。

151ページをお願いします。

中段の観光施設管理事業では、公衆トイレ、公園等の維持管理経費、工事請負費、観光案内板改修工事、施設改修工事は二の丸公園の鐘楼修繕工事でございます。

153ページをお願いします。

中段の観光振興事業、負担金補助及び交付金は、次のページをお願いします。町観光協会ほか関係団体への負担金や補助金でございます。

2つ下の面白峡遊歩道整備事業は、遊歩道の整備工事でございます。

その下の観光施設整備事業、小田代公衆トイレ施工管理委託と建設工事が主なものでございます。

款7土木費の支出済額は3億3,899万6,023円、翌年度繰越額は繰越明許費1億9,710万円でございます。

項1土木管理費の支出済額は8,467万8,255円。次のページをお願いします。主なものは、職員の人件費、土木総務事務費、会計年度任用職員の報酬、使用料及び賃借料は土木積算システムデータ交付料やパソコンソフト借上料、負担金補助及び交付金は土木関係各種団体への負担金や補助金でございます。

159ページをお願いします。

下段の地籍調査事業委託料は、地籍調査に係る委託料でございます。

161ページをお願いします。

項2道路橋梁費の支出済額は2億1,271万7,072円。主なものは、町道維持管理事業、会計年度任用職員報酬、委託料の測量調査委託料は町道上原京殿線横吹トンネルほかのトンネル定期点検業務、工事請負費の排水整備工事は町道天王釈迦堂線ほか、舗装打替え工事は町道中野大多喜線でございます。

163ページをお願いします。

町道維持管理事業の繰越明許につきましては、工事請負費、排水設備工事は町道猿稻栗山線でございます。

町道改良事業の工事請負費の道路改良工事は、町道増田小土呂線の歩道整備工事、町道鍛冶住宅内岡台線の排水整備工事でございます。繰越明許については、工事請負費、道路改良工事は町道田丁下屋敷線でございます。

3つ下の道路安全対策事業、繰越明許については、町道桜台297号線ほかの交通安全対策工事でございます。

下段の橋梁長寿命化事業、次のページをお願いします。測量調査委託料は、町道田代仲野線沢田橋ほかの橋梁定期点検業務でございます。

その下の繰越明許の工事請負費は、町道堀切線堀切橋の橋梁修繕附帯工事でございます。

項3都市計画費の支出済額は320万271円、街なみ整備事業、街なみ整備助成事業補助金は

1 件分でございます。

項 4 住宅費の支出済額は3,840万425円。町営住宅管理事業は町営住宅の維持管理経費、次のページをお願いします。横山住宅管理事業は維持管理経費、各基金への積立金等でございます。

下から 2 段目の定住化対策住宅助成事業は、住宅取得奨励金及び住宅リフォーム補助金でございます。

款 8 消防費、項 1 消防費の支出済額は 2 億7,180万3,965円、翌年度繰越額の繰越明許費は966万2,000円でございます。

常備消防負担事業は、夷隅郡市広域常備消防負担金でございます。

169ページをお願いします。

消防団運営事業では、町消防団員への報酬、委託料は団員の健康診査委託料、負担金補助及び交付金は消防関係への負担金等でございます。

下段の消防機械器具整備事業、次のページをお願いします。備品購入費は、小型動力ポンプつき積載車の購入でございます。

下段の防災無線維持管理費は、防災無線の維持管理経費及び防災行政無線施設保守委託料でございます。

173ページをお願いします。

款 9 教育費の支出済額は 5 億1,174万2,733円、翌年度繰越額は継続費逓次繰越し349万3,000円、繰越明許費3,134万9,000円でございます。

項 1 教育総務費の支出済額は9,178万7,634円。主なものは、教育委員の報酬、教育長及び職員の人件費、教育委員会事務事業は特別教育支援員、学校用務員等の報酬、次のページをお願いします。車両借上料は、小中学校の校外学習等の移動用車両の借上料でございます。

項 2 小学校費の支出済額は 1 億2,550万5,855円。主なものは、小学校管理事務事業、次のページをお願いします。町内 2 小学校の学校医報酬、児童送迎バス委託料、小学校施設管理事業は施設の維持管理経費、設備の保守点検等の業務委託、工事請負費は、次のページをお願いします。大多喜小学校の駐車場整備工事、西小学校の屋外運動場改修工事等でございます。

181ページをお願いします。

中段の小学校教育振興事業は、英語教育業務委託料、学校給食費補助金等でございます。

項 3 中学校費の支出済額は5,319万9,070円。主なものは、中学校管理事務事業は学校医報

酬、委託料の生徒の送迎業務委託料及び送迎バス委託料等で、中学校施設管理業務は、次のページをお願いします。施設の維持管理経費、設備の保守点検等の業務委託料でございます。185ページをお願いします。

中学校教育振興事業は、外国語指導助手委託料、学校給食費補助金等でございます。

項4 社会教育費の支出済額は8,397万5,280円。主なものは、職員の人件費、下段の生涯学習推進事業、次のページをお願いします。社会教育関係団体への負担金や補助金等でございます。

公民館管理運営事業は、会計年度任用職員報酬、施設の維持管理経費、次のページをお願いします。工事請負費、空調設備工事等でございます。

図書館管理運営事業は、会計年度任用職員報酬や施設の維持管理経費等、備品購入費は図書や読書おもいで帳機器一式等の購入でございます。

191ページをお願いします。

項5 保健体育費の支出済額は1億5,727万4,894円。主なものは、職員の人件費、保健体育振興事業はスポーツ推進委員の報酬、委託料はマラソン大会タイム計測業務委託料、体育関係団体への負担金や補助金等でございます。

193ページをお願いします。

海洋センター管理運営事業は、施設の維持管理経費、次のページをお願いします。海洋センター屋外施設管理運営事業は、海洋センター野球場、テニスコート、総合運動場の管理運営経費、工事請負費は野球場防球ネット増設工事でございます。

学校給食センター管理運営事業は、会計年度任用職員報酬、施設の維持管理経費、給食用賄い材料費、次のページをお願いします。給食配送委託料、備品購入費は超音波洗浄機や給食用コンテナ等の購入でございます。

款10 災害復旧費の支出済額は3億4,807万7,612円、翌年度繰越額は繰越明許費4億963万7,000円でございます。

項1 農業水産施設災害復旧費の支出済額は6,299万1,082円。農業施設災害復旧事業は、測量業務等の委託料、泉水地先ほかの農業用施設災害復旧工事でございます。農地災害復旧工事は、測量業務等の委託料、下大多喜地先ほかの農地災害復旧工事でございます。

項2 公共土木施設災害復旧費の支出済額は2億8,508万6,530円。199ページをお願いします。道路橋梁災害復旧工事委託料は、町道伊藤線ほかの測量設計委託料、町道平沢小川線ほかの土砂等撤去委託料、工事請負費は町道黒原上野線ほかの町道災害復旧工事でございます。

その下の繰越明許の委託料は、町道大中線の建物調査業務委託料等、工事請負費は町道大中線の町道災害復旧工事等でございます。

河川災害復旧事業委託料は、普通河川弓木川ほかの設計委託料ほか、工事請負費は普通河川筒森川の災害復旧工事前払金分でございます。

款11公債費の支出済額は4億6,899万5,538円。借入れした起債分の元金及び利子でございます。

款12予備費の当初予算額は500万円、予備費を充当した額は243万8,000円でございます。

以上、歳出合計は、予算現額76億1,285万1,000円、支出済額64億4,633万8,512円、翌年度繰越額の継続費通次繰越し607万3,000円、繰越明許費7億5,221万6,000円、事故繰越350万円、不用額4億472万3,488円でございます。

200ページをお願いします。

実質収支に関する調書で、この表は令和5年度の実質的な歳入歳出の額を示したもので、単位は1,000円でございます。

1項歳入総額67億7,898万1,000円、2項支出総額64億4,633万8,000円、3項歳入歳出差引額3億3,264万3,000円、4項翌年度へ繰り越すべき財源は1号継続費通次繰越額607万3,000円、2号繰越明許費繰越額8,661万3,000円、3号事故繰越繰越額350万円、合計9,618万6,000円。5項実質収支額は3項の歳入歳出差引額から4項の翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた2億3,645万7,000円でございます。

以上で、令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算の提案説明とさせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

ここでしばらく休憩します。

なお、14時25分から再開します。

（午後 2時11分）

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 2時25分）

○議長（渡邊泰宣君） 次に、議案第48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定について説明願います。

企画課長。

○企画課長（米本敏克君） 引き続き、着座にてご説明させていただきます。

議案つづりのほうは115ページになります。

議案第48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定についてご説明いたします。

○議長（渡邊泰宣君） ページがない。

○企画課長（米本敏克君） すみません、議案つづりのページを言ってしまいましたので、すみません。決算書のほうは208、209ページになります。

まず、この特別会計は、夷隅郡市2市2町からの拠出金や負担金等を基に設けられた基金を適正に管理するための会計で、いすみ鉄道に必要な応じて助成費として支出し、鉄道経営の安定を図ることが目的でございます。

それでは、決算書の事項別明細書によりご説明させていただきます。

先ほど申し上げましたが、決算書のほう208、209ページをお開きください。

まず、歳入、款1財産収入、項1財産運用収入、目1利子及び配当金、節1基金利子、歳入済額は13万5,000円で、鉄道経営対策事業基金運用による利子となります。

次のページをお開きください。

歳出、款1鉄道経営対策事業費、項1鉄道経営対策事業費、目1事業費、節24積立金、支出済額は13万5,000円。こちらは鉄道経営対策事業基金の利子を基金へ積み立てたものです。

歳出合計額は13万5,000円です。

積立て後の基金残高ですが、4億1,957万9,789円となります。

次のページをご覧ください。

実質収支に関する調書は、歳入総額と歳出総額が同額13万5,000円、実質収支はゼロ円です。

以上で、鉄道経営対策事業基金特別会計の説明を終わります。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） 基金のところは出ていないよね。裏に出ているのかな。

○企画課長（米本敏克君） こちらには記載はございません。一応残高のほう、ご報告させていただきました。金額4億1,957万9,789円です。

○議長（渡邊泰宣君） いいですか。

次に、議案第49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について説明願います。

税務住民課長。

○税務住民課長（西川栄一君） それでは、議案第49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、着座のままご説明申し上げます。

議案つづりは117ページ、決算書は213ページからとなります。

決算書の説明の前に、国民健康保険の加入状況等についてご説明いたします。

令和5年度末現在の加入者数は2,065人、加入世帯数は1,381世帯となり、前年同期と比較しますと、加入者数で135人、世帯数で60世帯、それぞれ減となりました。

なお、10年前の平成25年度末現在と比較しますと、被保険者数にすると1,256人、世帯数では500世帯、それぞれ減となっています。人口と同様に加入者数の減少が進んでいるところでございます。

また、加入者数の約54パーセントに当たる方が65歳以上となっており、高齢化率も非常に高い状況にあるところであります。

それでは、決算の内容について決算書の事項別明細書によりご説明しますので、決算書の220、221ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございますが、説明については国民健康保険税以外は収入済額について説明し、収入のないものについては割愛させていただきます。

款の1 国民健康保険税、収入済額 2億576万7,900円で、前年度比3.5パーセントの減となりました。

なお、保険税の徴収率は87.4パーセント、前年度比5.3パーセントの増となりました。内訳としまして、現年課税分が98.7パーセント、滞納繰越分が32.4パーセントとなっております。

次に、不納欠損でございますが、34件分で239万8,608円となりました。

次に、収入未済額は1,965万4,599円で、前年度比33パーセントの減。滞納整理が進み、滞納額が減少しています。

次は、中段の款の3 使用料及び手数料、収入済額 4万7,900円は、保険税の督促手数料でございまして。

次の款の4 国庫支出金は、収入済額 1万9,000円で、出産育児一時金等に対する補助金となります。

次の款の5 県支出金、収入済額7 億4,599万9,730円は、保険給付費や保健事業費等に対する交付金で、前年度比7.6パーセントの減となりました。

222、223ページをお願いいたします。

一番上になります。款の6 繰入金は収入済額1 億315万5,968円で、前年度比9.3パーセントの増となりました。内訳は、保険税の軽減措置や職員給与費、事務費等に対する一般会計繰入金と保険税の不足分に充当するため繰り入れた財政調整基金繰入金となります。

次の款の7 繰越金は前年度繰越金で、収入済額3,146万6,041円、前年度比32.9パーセントの減となりました。

次の款の8 諸収入は、収入済額174万4,198円で、内訳は備考欄をご覧ください。保険税の延滞金と、次の225ページをお願いいたします。特定健康診査の受診者負担金となります。

歳入合計は、収入済額10億8,820万737円、前年度比6.6パーセントの減となりました。

次に、歳出のご説明をいたしますので、226、227ページをお願いいたします。

歳出につきましては、主に支出済額について説明し、支出のないものにつきましては割愛させていただきます。

款の1 総務費は、支出済額2,651万3,204円で、内訳は備考欄に記載された職員人件費、国保税の賦課徴収や資格管理などに係る事務費、国保連合会負担金及び国保運営協議会費となります。

228、229ページをお願いいたします。

款の2 保険給付費は、支出済額7 億2,727万1,491円で、前年度比7.8パーセントの減となりました。

232、233ページをお願いいたします。

上から2 段目、款の3 国民健康保険事業費納付金は、支出済額3 億27万3,853円で、前年度比0.6パーセントの減となりました。

次は、234、235ページをお願いいたします。

一番上の款の4 共同事業拠出金は、支出済額20円となりました。

次の款の5 保健事業費は、支出済額1,755万1,126円で、医療費の削減、疾病の早期発見や予防につながる特定健康診査等に係る経費となっております。

次は一番下、款の6 諸支出金、支出済額221万8,500円、次の236、237ページをお願いいたします。内訳は備考欄記載のとおり、過年度分保険税の還付金と特定健康診査等負担金の精算に伴う償還金となります。

以上、歳出合計、支出済額10億7,382万8,194円、前年度比5.2パーセントの減で、不用額は7,692万6,806円となりました。

次のページをお願いいたします。

実質収支に関する調書でございます。3項歳入歳出差引額及び5項実質収支額はともに1,437万3,000円となりました。この1,437万3,000円につきましては翌年度に繰り越し、国民健康保険事業費納付金等の財源に充当を予定しております。

以上で、令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

次に、議案第50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について説明願います。

税務住民課長。

○税務住民課長（西川栄一君） 続いて、議案第50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてご説明を申し上げます。

議案つづりは119ページ、決算書は239ページからとなります。

決算書の説明の前に、後期高齢者医療保険の加入状況についてご説明いたします。

令和5年度末現在の加入者数は1,960人となり、前年度と比較すると13人の増となっております。団塊の世代に当たる方が後期高齢者となり、昨年度から増加に転じているところでございます。

それでは、決算書の事項別明細書によりご説明いたしますので、決算書246、247ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございます。

なお、歳入につきましては、後期高齢者医療保険料以外は収入済額についてご説明させていただきます。

それでは初めに、款の1 後期高齢者医療保険料、収入済額1億1,213万8,000円、前年度比4パーセントの増となりました。不納欠損額は1万3,000円、収入未済額は37万5,500円でございます。

保険料の徴収率は99.64パーセント、前年度比0.26パーセント下がっております。内訳は現年度分で99.67パーセント、滞納繰越分で70.34パーセントとなりました。

次は、款の2 使用料及び手数料、収入済額は900円で、保険料の督促手数料でございます。

次は、款の3繰入金、収入済額は3,481万5,039円で、一般会計からの事務費繰入金と低所得者の保険料の軽減に対する保険基盤安定繰入金でございます。

次は、款の4繰越金、収入済額4万2,551円、令和4年度からの繰越金でございます。

次は、款の5諸収入、収入済額21万3,449円、過年度分保険料の還付金として広域連合から受け入れたものでございます。

収入合計は収入済額1億4,720万9,939円、前年度比3.6パーセントの増となりました。

次に、歳出の説明をいたしますので、248、249ページをお願いいたします。

歳出につきましては、主に支出済額について説明させていただきます。

款の1総務費、支出済額82万5,822円は、被保険者の資格管理や保険料の賦課徴収に係る事務的経費となります。

次は、款の2後期高齢者医療広域連合納付金、支出済額1億4,597万4,717円、前年度比3.7パーセントの増となりました。保険者であります広域連合への納付金となります。

次は、款の3諸支出金、支出済額25万2,800円、過年度分保険料の還付金と一般会計繰入金の精算に伴う繰出金となります。

250、251ページをお願いいたします。

歳出合計は、支出済額1億4,705万3,339円、前年度比3.5パーセントの増、不用額は95万9,661円となりました。

252ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書でございます。項の3歳入歳出差引額及び項の5実質収支額はともに15万7,000円となりました。この15万7,000円につきましては翌年度に繰り越し、後期高齢者医療広域連合納付金等の財源に充当する予定でございます。

以上で、令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

次に、議案第51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について説明願います。

健康福祉課長。

○健康福祉課長（長野国裕君） それでは、議案第51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算についてご説明いたします。着座のまま失礼いたします。

初めに、第1号被保険者数を申し上げますと、令和6年3月末現在で3,610名で、前年比

22名の減となっています。介護認定を受けている人の数は、要支援1から要介護5までの合計で658人となっています。

決算の明細については事項別明細書でご説明をいたしますので、決算書262、263ページをお開きください。

まず、歳入でございます。

款1保険料、調定額2億3,166万1,680円、収入済額2億2,659万4,410円、収納率97.81パーセント。内容につきましては、65歳以上の第1号被保険者の保険料でございます。不納欠損額52万9,240円は、時効成立による18名分18件の処理でございます。

これ以降につきましては、収入済額を主に説明させていただきます。

款2分担金及び負担金、項1負担金8万5,000円は、いきいき塾及び認知症予防教室参加者負担金でございます。

款3使用料及び手数料、項1手数料6万5,340円は、認定情報の情報公開手数料及び督促手数料となります。

款4国庫支出金、項1国庫負担金1億9,226万8,592円は、介護給付に係る国の法定負担金でございます。

項2国庫補助金8,897万1,413円につきましては、介護保険の財政調整を図るため、第1号被保険者の年齢別、階層別分布状況、所得の分布状況を考慮して市町村に交付される調整交付金、及び地域支援事業の中の包括的支援事業・任意事業と介護予防・日常生活支援総合事業に係る国の法定負担金が主なものとなります。

264、265ページをお開きください。

一番上段、保険者機能強化推進交付金、こちらは市町村の自立支援重度化防止等の取組を支援するためのものがございます。

次の保険者努力支援交付金は、介護予防、健康づくり等の取組を支援するためのもので、地域支援事業に充当されるものとなります。

次の介護保険事業費補助金は、介護報酬改定に伴うシステム改修に対する補助金として介護保険事務費に充当されています。

款5項1支払基金交付金2億8,348万8,000円は、介護給付費等地域支援事業に係る40歳から64歳の第2号被保険者分の法定交付金となります。

款6県支出金、項1県負担金1億5,718万6,898円は、介護給付に係る県の法定負担金でございます。

項 2 県補助金623万9,631円は、地域支援事業の包括的支援事業・任意事業と介護予防・日常生活支援総合事業に係る県の法定負担金でございます。

款 7 繰入金、項 1 他会計繰入金 1 億7,709万8,152円は、介護給付費及び地域支援事業費に係る町法定負担金、職員人件費、事務費及び低所得者の保険料軽減に係る繰入金でございます。

次に、266、267ページをお開きください。

款 8 項 1 繰越金7,093万1,009円は、前年度の繰越金でございます。

款 9 諸支出金、項 2 雑入121万5,879円は、生活保護者の認定調査等手数料、予防給付介護負担金と介護予防ケアマネジメント負担金、第三者納付金、介護給付費返還金でございます。

以上、歳入合計12億414万4,324円でございます。

次に、歳出のご説明を申し上げます。

268、269ページをお開きください。

歳出につきましては、支出済額を主に説明させていただきます。支出のない科目は割愛させていただきます。

款 1 総務費、項 1 総務管理費2,427万8,704円は、職員の人件費及び介護保険事業の事務的経費となります。

項 2 徴収費107万5,620円は、第 1 号被保険者保険料の賦課及び徴収事務に係る経費となります。

次のページをお開きください。

項 3 介護認定審査会費658万1,832円は、認定調査に従事する会計年度任用職員人件費、主治医意見書作成手数料、認定調査委託料及び 2 市 2 町による介護認定審査会共同設置に係る負担金でございます。

項 4 運営協議会費10万1,500円は、介護保険運営協議会の委員報酬でございます。

款 2 保険給付費、項 1 介護サービス等諸費 9 億2,602万1,662円は、訪問系サービス、通所系サービスに係る給付費のほか、272、273ページをお開きください。グループホームや介護老人福祉施設、介護老人保健施設等の施設入所に係る給付費でございます。

さらに、在宅において入浴や排せつ等に使用する補助用具の購入費や手すりの取付けや段差の解消など、住宅改修に対して給付されるものでございます。居宅介護サービス計画給付費は、ケアマネジャーが作成するケアプランの作成費でございます。

項 2 介護予防サービス等諸費は1,503万7,758円でございます。内容は介護サービス等諸費

と同じであります。対象者が要支援1、要支援2の方に対する給付費でございます。

274、275ページをお開きください。

中段、項3その他諸費63万2,650円は、国保連合会への介護給付費に係る審査支払手数料でございます。

項4高額介護サービス等費2,059万8,852円は、一月の利用者負担額が一定額を超えた場合に、超えた分について保険給付するものでございます。

項5高額医療合算介護サービス等費272万5,259円は、介護保険と医療保険両方の自己負担額が合算して年額の限度額を超えた場合に、超えた分について保険給付するものでございます。

276、277ページをお開きください。

項6特定入所者介護サービス等費3,220万6,396円は、低所得者の施設利用が困難とならないよう、所得に応じ食事と居住費が一定額を超えた分について保険給付するものでございます。

款3地域支援事業費、項1介護予防・日常生活支援サービス事業費985万2,869円は、要支援1、要支援2の方の訪問型サービス、通所型サービス及びケアプラン作成に係る経費となります。短期集中予防サービスは、要支援の方を短期間に集中して機能回復訓練等を行い、通常状態に戻すことを目的としています。

続きまして、278、279ページをお開きください。

項2、一般介護予防費188万5,879円でございます。こちらは介護予防の普及啓発に資する介護予防教室の開催、そして地域で介護予防活動を推進するボランティア及び団体の育成と活動の支援経費となります。

項3包括的支援事業・任意事業2,483万1,671円は、地域包括支援センター関係職員の人件費及び事務的経費でございます。

280ページ、281ページをお開きください。

介護給付費の適正化や家族介護支援等の事業に係る経費のほか、目4包括的支援事業（社会保障充実分）は、地域包括支援センターに配置する生活支援コーディネーターに係る人件費でございます。

次のページをお願いいたします。

項4その他諸費2万7,350円は、国保連合会への総合事業費に係る審査支払手数料でございます。

款4項1基金積立金2,698万2,000円は、前年度から繰り越された保険料と国・県支払基金の精算に伴う積立てでございます。

款6諸支出金、項1償還金及び還付金3,370万3,129円は、令和4年度分の精算に伴う国・県支払基金への返還金及び過年度分保険料の還付金でございます。

以上、歳出合計11億2,654万3,131円でございます。

284ページをお開きください。

実質収支に関する調書でございます。歳入総額12億414万4,000円、歳出総額11億2,654万3,000円、歳入歳出差引額7,760万1,000円。この歳入歳出差引額7,760万1,000円につきましては、令和5年度分の精算に伴う国・県支払基金等への返還金及び令和6年度の保険給付費及び基金積立金等の財源となるものでございます。

以上で、令和5年度大多喜町介護保険特別会計の決算の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

次に、議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定について説明願います。環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） それでは、着座にて失礼させていただきます。

議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定についてご説明しますので、別冊の水道事業会計決算書をご用意ください。

こちらを表紙から3枚めくって1ページをお開きください。

令和5年度大多喜町水道事業決算報告書。

第1号、収益的収入及び支出。

収入の部、第1款水道事業収益、決算額4億9,883万7,543円。

続いて、下の表になります。

支出の部、第1款水道事業費用、決算額4億9,690万9,093円となりました。

次に、第2号、資本的収入及び支出。

収入の部、第1款資本的収入、決算額6,132万2,240円。

支出の部、第1款資本的支出、決算額2億2,931万5,640円となりました。

また、地方公営企業法第26条の規定による繰越額3,270万5,000円は、令和6年度へ繰越いたします。

なお、資本的収入及び支出において収入が支出に対し不足する額1億6,799万3,400円は、

過年度及び当年度の消費税及び留保資金で補填しました。

また、棚卸資産の購入執行額に対する仮払消費税は26万3,784円となりました。

次のページをお開きください。

令和5年度大多喜町水道事業損益計算書についてご説明いたします。

令和5年度の営業収益については1億7,768万8,082円の損失、営業外収益については1億7,266万6,372円の利益となり、水道事業としては502万1,710円の純損失となりました。

また、前年度繰越利益剰余金から当年度純損失を差し引いた当年度末処分利益剰余金は4,191万2,746円となりました。

次のページをお開きください。

令和5年度大多喜町水道事業剰余金の計算書です。

表の右から3列目の一番下の欄をご覧ください。年度末未処分利益剰余金が4,191万2,746円となったことにより、一番右側の資本合計が12億9,290万5,945円となりました。

次のページをお開きください。

上の表になります。令和5年度大多喜町水道事業剰余金処分計算書。

当年度の未処分利益剰余金4,191万2,746円の処分方法について、全額を未処分利益剰余金として翌年度へ繰越しいたします。

続きまして、下の表です。令和5年度大多喜町水道事業貸借対照表です。こちらは水道事業の令和6年3月31日現在の財政状態を示した表になります。

資産の部。第1項固定資産及び第2項流動資産の資産合計は39億24万5,560円となりました。

続いて、負債の部です。第3項の固定負債から第5項の繰延収益までの負債合計は26億733万9,615円となりました。

次に、資本の部。第6項資本金及び第7項剰余金の資本合計は12億9,290万5,945円となり、負債資産合計は39億24万5,560円となりました。

次のページをお開きください。

本ページの7ページと次の8ページは、重要な会計方針について引当金の計上方法や取崩し状況等を注記したものとなっております。

続きまして、10ページをお開きください。

令和5年度大多喜町水道事業報告書となります。

第1項概況、第1号総括事項、イ、業務の状況。本年度の給水状況は、給水戸数、給水人

口ともに減少したことに伴い、年間総給水量も前年度に比べ1万9,682立方メートルの減となりました。

なお、有収率のほうは83.77パーセントとなり、前年度に比べ0.25ポイントの増となりました。

ロ、建設改良状況。改良工事では、老朽化した配水管の布設替工事1か所、舗装本復旧工事2か所、そのほか横山及び面白浄水場施設の修繕工事、廃止施設の撤去などを実施いたしました。

ハ、経理状況。経理状況につきましては、決算報告及び損益計算書の内容と重複しますので、説明を省かせていただきます。

次のページをお開きください。

一番上の第2号経営指標に関する事項。経営の健全化を示す経常収支比率は、漏水及び水道施設の修繕費が増額したことにより前年度比1.2ポイント減の98.94パーセントとなり、健全経営の水準とされる100パーセントを下回る結果となりました。

また、料金水準の妥当性を示す料金回収率も前年度比1.99ポイント減の61.07パーセントとなり、事業に必要な費用を給水収益で賄えていないため、給水収益以外の収入割合が依然として高い傾向となっております。

償却対象資産の減価償却状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年度比1.24ポイント増の51.03パーセントとなりました。また、法定耐用年数を経過した管路延長を示す管路経年化率は、前年度比0.41ポイント減の30.22パーセント、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は、前年度比0.01ポイント増の0.88パーセントとなりました。施設の老朽化により更新費用の増加が懸念される中、さらなる経営の効率化や経費削減を図り、引き続き計画的な施設更新を行ってまいりたいと思います。

次の第3号議会の議決事項から、14ページまでお開きください。こちらにつきましては記載のとおりとなっておりますので、説明のほうを省かせていただきます。

次の15ページをお開きください。

こちらの15ページと16ページ、こちらにつきましては各項目において当年度と前年度を比較したものとなっておりますので、説明のほうは省かせていただきます。

17ページをお開きください。

第4項会計、第1号重要契約の要旨ということで、200万円以上の契約として建設工事請負契約7件、業務委託契約が1件、各詳細については契約内容及び備考欄記載のとおりとな

っております。

続きまして、その下の第2号企業債の概況ですが、本年度末残高20億1,786万2,620円となり、借入残高の件数は73件となっております。なお、借入残高の内訳につきましては、22、23ページの企業債明細書のとおりとなっておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

その下の第3号その他会計管理に関する重要事項、こちらについては消費税に係る補助金収入の用途の特定状況を記載したものとなります。

続きまして、その右のページになります。

令和5年度大多喜町水道事業キャッシュ・フロー計算書。このキャッシュ・フロー計算書は、令和5年度中の現金の流れを事業活動別に記載したものとなっております。

年度末の現金預金の期末残高2億573万1,033円となります。この額につきましては、決算書5ページの貸借対照表の第2項流動資産、第1号現金預金の金額と一致するものとなっておりますので、後ほどご確認をお願いしたいと思います。

19ページをお開きください。

こちら19ページ、20ページにつきましては、令和5年度大多喜町水道事業会計の収益費用の明細書となっております。

21ページをお開きください。

こちらのページにつきましては、有形、無形固定資産及び投資の明細書となっております。

続いて、その隣の22ページ、それと次のページの23ページ。

こちらにつきましては企業債の明細となっておりますので、ご確認をくださるようお願いいたします。

以上、令和5年度大多喜町水道事業会計決算の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

ここでしばらく休憩します。

なお、15時20分から再開します。

（午後 3時10分）

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 3時20分）

○議長（渡邊泰宣君） 次に、報告第13号 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について報告願います。

財政課長。

○財政課長（君塚恭夫君） それでは、報告第13号 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告をさせていただきます。

議案つづり125ページをお開きください。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、健全化判断比率を報告いたします。

令和5年度決算に基づく健全化判断比率。

表内の項目の実質赤字比率は、一般会計、鉄道経営対策事業基金特別会計を合わせた普通会計の実質収支が赤字の場合、赤字額の標準財政規模に対する割合を示すもので、令和5年度も黒字のため該当はありませんでした。

その下、連結実質赤字比率は、普通会計に加え、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療等の特別会計の収支、さらに公営企業における資金不足額など、町のあらゆる会計の収支の合計から判断するもので、令和5年度の連結実質収支は黒字のため該当ありませんでした。

次に、実質公債費比率は、地方債の元利償還金に加え、一部事務組合等への負担金や他会計繰出金のうち公債費に準ずる経費の標準財政規模に対する割合を示すもので、令和5年度決算では前年度より0.1パーセント減少し、3.7パーセントとなり、早期健全化基準を下回っております。

最後に、将来負担比率、これは地方債現在高や一部事務組合等の地方債の償還に対する将来の負担見込額、退職手当負担見込額などから、これらに充当可能な基金現在高、基準財政需要額算入見込額等を控除した額の標準財政規模に対する割合を示したもので、令和5年度決算では、地方債残高や一部事務組合等の負担見込額などの減少と充当可能基金の増額などにより、将来負担すべき金額よりも充当可能な財源などが多くなったため、昨年同様に比率は算定されませんでした。

以上、令和5年度決算に基づく健全化判断比率は、いずれも基準の範囲内でありますことをご報告させていただきます。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

次に、報告第14号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算に基づく資金不足比率の報告に

ついて報告願います。

環境水道課長。

○環境水道課長（小高一哉君） 報告第14号についてご説明させていただきますので、議案つづり127ページをお開きください。

令和5年度大多喜町水道事業会計決算に基づく資金不足比率の報告について。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定による資金不足比率をご報告します。

経営健全化に関する指標については、国の基準である20パーセントを下回っており、経営状況は健全の範囲となっておりますことをご報告します。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

それでは、議案第47号から議案第52号までの各会計決算認定についての説明及び報告第13号 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について並びに報告第14号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算に基づく資金不足比率の報告が終わりました。

ここで本件に関する監査委員の決算審査意見及び財政健全化審査意見、経営健全化審査意見の報告を求めます。

滝口監査委員、お願いします。

○代表監査委員（滝口延康君） ご指名ですので、これより監査報告を行います。

令和5年度大多喜町一般会計、特別会計、水道事業会計の決算及び基金の運用状況、また財政健全化及び経営健全化に係る審査につきまして、その結果について報告いたします。

まず、水道事業につきましては、去る7月の5日、また一般会計、特別会計につきましては8月7日、8日、それぞれ渡辺監査委員と共に審査を実施しました。

まず初めに、一般会計、特別会計ですが、各会計の歳入歳出決算書及びその他政令で定める附属書類等が関係法令等に準拠して作成されているか、また予算は地方自治法に規定する原則、すなわち公共の福祉の増進のため適正に執行されたか、また計数は正確であるかなどに主眼を置きまして、担当職員の説明を聴取して審査を行いました。

その結果、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書及び関係書類はいずれも法令に準拠して作成されており、また予算の執行は適法かつ適正に執行されており、計数も正確でありました。

続いて、基金の運用ですが、令和5年度中に長年ありました鐘楼等管理基金を廃止し、基

金の総数は25基金でございます。年度末の総額は、昨年度に対しまして1億351万6,000円増加し36億9,617万1,000円の額となりました。

一般会計のうちの小中学校施設整備基金や国保特別会計の国保財政調整基金などは、必要な施策に充当して減額となっておりますが、その他一般会計のふるさと基金や介護特別会計の介護給付費準備基金などは、近い将来必要な施策に充当するため各種基金を積立てしています。これについては今後も目的に沿って、計画的かつ効果的に基金を運用されることを強く希望します。

なお、詳細につきましては、令和5年度大多喜町一般会計・特別会計歳入歳出決算意見書及び基金の運用状況審査意見をご覧くださいと思います。

次に、水道事業会計の決算についてですけれども、これについても決算書及び附属書類等が関係法令に準拠して作成されているか、また経営活動が地方公営企業法に規定する基本原則に基づいて計画どおり執行されているか、そして計数は正確であるかなどに主眼を置きまして、担当職員の説明を聴取し、審査を行いました。

その結果ですが、水道事業会計の決算書及び附属書類はいずれも法令に準拠して作成されておりました。また、適正な表示の上、経営活動は基本原則に基づいて目的どおり執行され、計数も正確で、決算は適正なものと認められました。

水道事業会計におきましては、水道の業務実績が年々減少しておりまして、会計上の収支差引きは収益的収支において502万2,000円の純損失となりました。給水人口が減少を続けておりますので、水道事業に係る経営状況は厳しさを増していると思っておりますけれども、引き続き経営努力に努めて、安全で良質な水の安定供給に尽力されますことを希望いたします。

また、給水事業の統合につきましては、ご承知のとおり来年4月の統合を見据えた準備が進められておりますけれども、これにつきましても対応に遺漏のないようお願いいたします。

詳細につきましては、令和5年度大多喜町水道事業会計決算意見書をご覧ください。

続きまして、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定によります大多喜町財政健全化審査及び経営健全化審査を実施しましたので報告します。先ほど財政課長、あるいは担当課長からお話ありましたので、重複するかもしれませんけれどもよろしく申し上げます。

まず、財政健全化審査について申し上げます。

審査に付されました健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正

に作成されているかどうかについて、これも担当職員の説明を聴取し、審査を行いました。

その結果、健全化判断比率及びその基礎となる事項を記載した書類はいずれも適正に作成されているものと認められました。

財政の健全化に関する法律のうちの4指標のうち実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、当町は赤字ではないため問題はありません。

それから、実質公債費比率は3.7パーセント、先ほどお話ありましたけれども、対前年度0.1ポイント改善され、5年前の令和元年度と比較しますと1.2ポイント改善されておりまして、大変良好な状態を保っているというふうに考えられます。

それから、将来負担比率は昨年度同様、地方債残高の減少と、それから充当可能基金の増加によりまして、将来負担額が実質マイナスになっていますので、これは算出されておられません。将来負担額を充当可能額が上回りますけれども、この要因としては地方債残高が1億1,892万2,000円減少し、充当可能金基金が9,803万1,000円増額となったことが要因になっております。

将来負担比率が減少したことは、民間企業でいえば内部留保が厚い状態で大変喜ばしい状態でありますけれども、災害復旧をはじめ、もろもろの事情で先送りした事業の繰越金も含まれておりますので、この数値そのものが手放しで喜べるものではないというふうに考えます。

その繰越金ですけれども、繰越金は7億6,178万9,000円で、対前年度4億8,773万2,000円増加しております。ちょっと懸念される状況だと思えます。それでこの7月末、ちょっと確認しましたけれども、その繰越金に対する負担行為済額が77.1パーセント、それから支出済額に至っては16.5パーセントということで、この進捗状況を見ただけでかなり厳しいなという状況です。このまま続くようであれば、何か抜本的な対策、これが必要になってくるのではないかなと思います。

いずれにしても、今後も計画的かつ速やかな事業執行、それから将来を見据えた有効な投資などを行った上で、良好な将来負担比率も堅持されますよう期待します。

次に、水道事業会計の経営健全化審査につきましても、審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを、これも担当職員の説明を聴取して審査を行いました。

その結果、資金不足比率及びその積算の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められました。

詳細につきましては、令和5年度大多喜町財政健全化及び水道事業経営健全化審査についてをご覧ください。

ちょっと長くなりましたけれども、以上をもちまして令和5年度大多喜町一般会計・各種特別会計、そして水道事業会計の決算及び基金の運用状況並びに財政健全化等に係る審査についての報告といたします。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ご苦労さまでした。

先ほど、私は滝口監査委員と言ってしまいましたけれども、正式には滝口代表監査委員でしたので、おわびを、申し訳ありません。

○代表監査委員（滝口延康君） どちらでもいいですよ。

◎日程の追加

○議長（渡邊泰宣君） お諮りします。

ただいま町長から議案第53号 道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請負契約の締結についてが提出されました。

これを日程に追加し、追加日程第1として議題としたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第53号 道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請負契約の締結についてを日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定しました。

事務局職員から議案を配付いたします。

（議案配付）

○議長（渡邊泰宣君） 議案の配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 議案の配付漏れなしと認めます。

◎議案第53号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 追加日程第1、議案第53号 道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請負契約の締結についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 議案第53号 道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請負契約の締結についてご説明申し上げます。

本文の説明の前に、提案理由の説明をさせていただきます。

本件は、昨年9月の台風13号による被災箇所の道路災害復旧工事で、被災箇所は町道老津線、起点が国道465号線、大田代の地区の登り口から、終点が麻綿原の妙法生寺、天拝園までのうち、終点の妙法生寺から約1キロメートル大田代地区に戻ったところの災害箇所でございます。

被害状況は、延長16.5メートルにわたり路肩部分が高さ9メートル以上崩落し、道路幅員も狭くなり、またガードレールも欠落するなど通行に危険な状況でございます。

工事概要といたしましては、擁壁工、舗装工、防護柵工などを実施するものでございます。

なお、町道老津線にあつては本件のほか6件の道路災害復旧工事を現在実施しており、星井畑地区の降り口から終点の妙法生寺までは現在も全面通行止めとさせていただいております。

次に、入札経過についてご説明いたします。

本工事につきましては、8月1日に指名業者選定審査会を開催しまして、指名業者選定基準に基づき、町内3者を含む8者を選定しまして、8月の2日から閲覧を開始しまして8月29日に開札を行い、最低金額の入札者である大多喜町久保113番地、株式会社仲潮組と8月30日に仮契約を締結いたしました。

それでは、議案の説明をいたします。

道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請負契約の締結について。

道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6について、次のとおり請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるものでございます。

1、契約の目的、道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6。

2、契約の方法、指名競争入札。

3、契約金額、5,995万円。

4、契約の相手方、千葉県夷隅郡大多喜町久保113番地、株式会社仲潮組、代表取締役、中村友三郎。

5、工期、議会の議決の日から令和7年3月25日まで。

以上で、議案第53号 道路災害復旧工事（令和5年災道第36号）町道老津線6請負契約の締結についての説明を終わります。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

○議長（渡邊泰宣君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

6番吉野君。

○6番（吉野僖一君） これは災害復旧ということで、国・県の補助金はあるのでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） ただいまのご質問のとおり国の補助対象となっております。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課長。

○建設課長（市原芳則君） 災害復旧工事については66.7パーセントの補助率でございますが、激甚災害を受けておりますので上乗せ分があると思いますが、そこについてはまだ確定しておりません。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

本案については討論を省略し、これから採決したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

これから議案第53号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第53号は原案のとおり可決されました。

◎散会の宣告

○議長（渡邊泰宣君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

なお、10日と11日は総務文教・福祉経済常任委員会の合同委員会協議会が予定されています。時間はいずれも午前9時から、会場はここ議場で開催します。

また、9月17日は午前10時から本会議を開きますので参集願います。

本日はこれで散会します。

お疲れさまでした。

（午後 3時45分）

第 1 回大多喜町議会定例会 9 月会議

(第 3 号)

令和6年第1回大多喜町議会定例会9月会議会議録

令和6年9月17日(火)

午前10時00分 開議

出席議員(12名)

1番	渡辺善男君	2番	麻生勇君
3番	野村賢一君	4番	末吉昭男君
5番	根本年生君	6番	吉野僖一君
7番	山田久子君	8番	渡辺八寿雄君
9番	山口定夫君	10番	森久君
11番	吉野一男君	12番	渡邊泰宣君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定による出席説明者

町長	平林昇君	副町長	西郡栄一君
教育長	佐久間靖夫君	総務課長	麻生克美君
企画課長	米本敏克君	財政課長	君塚恭夫君
税務住民課長	西川栄一君	健康福祉課長	長野国裕君
建設課長	市原芳則君	農林課長	秋山賢次君
農林課主幹	森芳博君	商工観光課長	渡邊陽二君
環境水道課長	小高一哉君	会計室長	須藤明実君
教育課長	吉野正展君	生涯学習課長	木島丈佳君

本会議に職務のため出席した者の職氏名

事務局長	宮原幸男	書記	市原和男
書記	佐藤さおり		

議事日程（第3号）

- 日程第 1 議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定について（質疑～採決）
- 日程第 2 議案第48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定について（質疑～採決）
- 日程第 3 議案第49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（質疑～採決）
- 日程第 4 議案第50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（質疑～採決）
- 日程第 5 議案第51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（質疑～採決）
- 日程第 6 議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定について（質疑～採決）

◎開議の宣告

○議長（渡邊泰宣君） おはようございます。

本日の議事は、既に配付の議事日程第3号により、令和5年度大多喜町一般会計のほか、各特別会計4会計及び1事業会計の決算に関する質疑、討論及び採決を行います。

また、既に委員会協議会を開催しておりますので、質疑に際しては、重複する部分をご遠慮いただき議事進行にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、滝口代表監査委員につきましては、所要のため欠席する旨の通告がありましたので報告します。

ただいまの出席議員は12名全員です。したがって、会議は成立しました。

(午前10時00分)

◎行政報告

○議長（渡邊泰宣君） 日程に先立ち、町長から行政報告があります。

町長。

○町長（平林 昇君） それでは、行政報告をさせていただきたいと思えます。

議会定例会9月会議の最終日に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げさせていただきたいと思えます。

本日は議長をはじめ、議員の皆様方には、大変お忙しい中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

行政報告につきましては、9月3日以降の行事でございますので、お手元に配付させていただきました報告書によりご了承賜りたいと存じます。

さて本日の会議事件は、令和5年度一般会計のほか4つの特別会計並びに水道事業会計の決算認定でございます。決算の内容につきましては、既に本会議で提案説明させていただき、また、常任委員会協議会において、詳細な説明をさせていただいたところでございますが、いずれの会計においても経常的な経費が増加する中で、創意工夫に努め、健全な財政運営に配慮した事業を推進してまいったつもりでございます。この結果、一定の成果を上げることができたものと考えておりますので、よろしくご審議を賜り、ご了承くださるよう心からお願い申し上げます。行政報告とさせていただきたいと思えますので、よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（渡邊泰宣君） これで行政報告を終わります。

◎諸般の報告

○議長（渡邊泰宣君） 次に、諸般の報告であります。9月4日以降の議会関係の主な事項は、お配りした議会諸報告により、ご了承願いたいと思います。
これで諸般の報告を終わります。

◎議事日程の報告

○議長（渡邊泰宣君） これより日程に入ります。

日程第1、議案第47号から日程第6、議案第52号までの令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算、各特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算については、既に一括議題とし、提案説明が終わっています。

9月4日の会議に引き続き、これより各会計ごとに質疑、討論、採決を行います。

次に、質疑要領ですが、質疑に当たりましては決算書で質疑されますようお願いするとともに、大多喜町議会会議規則第55条では、質疑は同一議員につき同一の議題について3回を超えることができないとされています。このようなことから、一般会計については、歳入全般にわたり、また、歳出は4つに分けた款ごとに質疑を行います。1つの議案ですので同一議員につき3回までとしますので、ご協力よろしくをお願いします。

また、質疑の際は、決算書記載のページを必ずお示しいただくとともに、議題外にわたり、またその範囲を超えることのないようお願いいたします。

◎議案第47号の質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第1、議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定についての質疑を行います。

歳入については全般としますが、歳出の款の質疑に応じた歳出事業の充当財源に係るものとしてください。

それでは、歳入及び歳出のうち、款1 議会費、款2 総務費の質疑を行います。

質疑はありますか。

5 番根本君。

○5 番（根本年生君） 65ページの男女共同参画推進事業10万5,680円の支出の件についてお

伺います。

今後、大多喜町にとって、やっぱり大変なウエートをおさめてくるのが男女共同参画事業。やっぱり女性の方にも、積極的にいろんな面で、あらゆる分野において参画してもらうことが非常に大事であるというふうに認識しています。

それで、男女共同参画事業を行う目的、意図、今回行った内容。それで、目的と意図するところが、男女共同参画事業を行う目的とか意図が10万5,680円という予算の中で達成できたのか、その辺について見解をお伺いします。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） 男女共同参画につきまして、令和5年度で実施した事業、それからその目的と成果というご質問でございます。

まず、予算につきましては、啓発用のリーフレットを印刷させていただいております。

議員さんがおっしゃいますように、男女共同参画を進めるに当たっては、やはりその趣旨であるとか、そういった意味というものを幅広い年齢層にお伝えしたいということで、学生さんであったり成人式であったり、そういう場を使いながら、できるだけ効果的に若い方にこの制度の趣旨をご理解いただきたいということで、リーフレットを印刷してお配りさせていただいております。

また、ほかにも予算には載っていないんですけれども、県が主導で協議会がございます。これに毎月参加させていただいた中で、職員のほうの研修等も行っておりますので、これにつきましては、引き続き男女共同参画の制度をなるべく広い層にお伝えしていきたいと今後とも考えております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに。

5番根本君。

○5番（根本年生君） 非常に大事な推進事業だと強く思っています。

でも、これは何年も、多分もう10年近くなるのかな。たしか、もう講習会やったり研修会やったり、過去もずっとやってきています。過去はもうちょっと金額を増やして、いろんな事業をやっていたような気がします。もうちょっと、20万とか30万とか講師を招いてとかいろいろやっていたと思いますけれども、やはり、多分10万円だとなかなかどうなのかなと。非常に大事な推進事業だと思っておりますので、もうちょっと予算を前年度より増やして、もっと充実したものとかは考えられなかったのか。

それで、今度、県のほうもこれは非常に力を入れているというのはご存じのとおりだと思います。今度10月9日かな、千葉のほうで知事も参加してシンポジウムが開かれて、大多喜のまるがやつを運営している牧野嶋さんという方が講演するというようなことで、知事自らそういったシンポジウムに参加して何かいろんな意見を述べるということは、あまりないことだと思っています。

ですから、今後、やはりこれに力を入れていかなくちゃいけないと思います。今年度の予算では非常に私は少ないと思っています。来年度以降、予算を増やして、ぜひともこの推進事業を進めていってほしいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） 男女共同参画ですが、やはり女性の方が社会で活躍していく機会を広げていくためには、家庭での役割分担であったり、男女それぞれ昔からの慣習というんですか、そういったもので思い込んでしまっていることとか、そういったもの、なかなか個人の意識に関わってくる部分が非常に大きいものがございます。

これについては、やはり即効薬的なものってなかなかないので、地道に男女共同参画という意識づけというんですか、当然予算が必要になれば、それだけのものは上げさせていただきたいと思いますが、今後も引き続き継続的にやっていきたいと思っています。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに。

5番根本君。

○5番（根本年生君） ご存じのように、今どこに移住するか、どこに住むかというのは8割9割女性の方が決めているというのが実情だと思っています。

女性の方も最近は働いています。また、働きながら子育て、介護をやるについては、やっぱり女性が働きやすい、子育てしやすい、介護しやすい環境を整えていくためには、それなりの準備とか計画とか、一個人になかなかそれをやるといってもできないことだと思っていますので、これから移住者を増やすこともいろいろ町の施策としてやっていることだと思っていますけれども、ぜひ、女性が住みやすい、働きやすい、政治の面も含めていろんな面に参画していただいて女性の意見を取り入れるということが非常に大事だと思っていますので、今後はこれに力を入れていただいて、今年度の予算10万円じゃなくて、来年度は少し増やしていただいて充実させてほしいと思っていますけれども、いかがでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 企画課長。

○企画課長（米本敏克君） 実は、今年度、男女共同参画で新しい取組というか、介護をテーマにした男女共同参画の映画を上映させていただく予定であります。

10月の、ちょっと日にちはすみません、忘れてしまったんですけども、そういった介護の面からも男女共同参画をお伝えする中で、映画の上映と併せまして講師を呼んで講演をする予定でありますので、やはり地道に引き続きやっていく中で、本当に必要とする予算についてはまた考えさせていただきながら、継続的に行っていきたいと思います。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 以上で、歳入歳出のうち、款1 議会費、款2 総務費の質疑を終わります。

次に、款3 民生費、款4 衛生費の質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑ないようですので、以上で款3 民生費、款4 衛生費の質疑を終わります。

次に、款5 農林水産費、款6 商工費、款7 土木費の質疑を行います。

質疑ありませんか。

7 番山田君。

○7 番（山田久子君） 147ページ森林整備事業、委託料で災害に強い森づくり事業委託料ということで中野大多喜線の道路脇の森林整備をしていただいて、何年かの継続の事業となっていると思います。

事業実施をしていただいている中で、明るくなって大変いい状況が見られるかなと思っておりますが、現在のところの進捗状況、また、進めていただいている上で、今回初めての事業だと思うんですけども、課題など見えてきたようなものがございましたら伺いしたいと思います。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課主幹。

○農林課主幹（森 芳博君） 災害に強い森づくりなんですけれども、昨年からはスタートをしております。

本年度も延伸して予定をしております。なので、これから地権者等の交渉等を踏まえて、

12月ぐらいから事業のほうは進められるかなというのは予定を立てております。

今のところ問題点とかそういったところは発生しておりませんが、やはり整備をすることでライフライン等にも効果がありますので、引き続き進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに。

7番山田君。

○7番（山田久子君） ありがとうございます。

この事業は、今現在、町道の脇の森林を対象に事業を進めていただいていると思うんですが、県道の脇とか国道の脇にも大多喜町の町民の皆様が所持しているような森林があるかと思っております。その中で重要インフラじゃないかなと思うようなところにも樹木がかかっているというところも見られるんですけれども、この事業は、そういったところも町の事業として実施ができるのか、それとも県や国のほうの事業になってしまうのか、その辺はどのように考えさせていただいたらよろしいのでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長。

○農林課長（秋山賢次君） ただいまのご質問ですが、確かにこの災害に強い森づくり、現在町道の脇といいますか、そばをやらせていただいております。

これに関しましては、今回実施させていただいているところが電線ですとか、それから町の主要な町道ということで実施をさせていただいております。

現在の計画としましては、これからその延伸をやっていきたいと考えておりますが、先ほどご質問いただきました国道あるいは県道、こちらに関しまして町ができるのかどうかということですが、基本的には国、県が実施をしていただくのが理想かなと考えております。

その辺につきましては今後、県と協議ということになるかと思いますが、現在のところ、町としましては町道の周辺を実施させていただきたいと考えております。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに。

7番山田君。

○7番（山田久子君） 課長のお考えは本当にそのとおりだと思います。町道の脇から始めていただくというのは、ありがたいと思うんですけれども、もしこの同じような、災害に強い森づくり事業と同じ名目かどうか分かりませんが、もしこれが県や国の事業としてあるようであれば、ぜひここも進めていただけたらありがたいかなというふうに感じておると

ころでございます。

今ちょっと回り道なんかもさせていただく中で、ちょっと危険であり、そしてそこに一般的で言う、これは重要インフラに当たるんじゃないのかなというところも見受けられますので、今後できましたら県とも協議をしていただきながら整備をお願い、進めていただけるような形に進めていただけたらありがたいと思いますが、ご協議の機会などまたお願いすることはできますでしょうか。

○議長（渡邊泰宣君） 農林課長。

○農林課長（秋山賢次君） ただいまのご質問につきましては、今後、県道あるいは国道の管理者のほうと機会を設けさせていただきたいと考えております。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

6番吉野君。

○6番（吉野僖一君） 関連で申し訳ないんですけども、せっかくあれ伐採して、町道はちょうどあそこら辺こう、大分……

○議長（渡邊泰宣君） ページ数はどこになりますか。

○6番（吉野僖一君） 今の件で。

○議長（渡邊泰宣君） 同じですか。

○6番（吉野僖一君） 今の場所で。

伐採してくれて見通しがよくなったんですけどもね。今後の課題として、町道の交通安全対策、町道だから建設課か何かかもしれないけれども、今後の見通しとして、あそこら辺の道路の拡幅というかそういう計画はあるんでしょうか、ちょっとついでで申し訳ないけれども、お願いします。

○議長（渡邊泰宣君） 建設課関係になってしまうんじゃないかな。土木費は入っているか。

建設課、はい。

建設課長。

○建設課長（市原芳則君） ただいまお話がありました農林課のほうの事業で今、樹木のほう、森をきれいにするということで木を切っていただいておりますけれども、現在建設課のほうでは、そのきれいになったところの道路改良というのは計画しておりません。

以上です。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 以上で、款5農林水産費、款6商工費、款7土木費の質疑を終わります。

次に、款8消防費、款9教育費、款10災害復旧費、款11公債費、款12予備費の質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） なしのようです。以上で款8消防費、款9教育費、款10災害復旧費、款11公債費、款12予備費の質疑を終わります。

これで一般会計歳入歳出決算の質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

討論がありますので、初めに反対者の発言を許します。

反対者はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 次に賛成者の発言を許します。

3番野村君。

○3番（野村賢一君） 議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定について賛成の立場で討論させていただきます。

令和5年度の一般会計の歳入歳出の決算額は、歳入決算額は67億7,898万1,000円、歳出の決算額は64億4,633万8,000円で、差引き額3億3,264万3,000円でした。これに繰越財源を差し引くと、令和5年度の実質収支は2億3,645万円の黒字でございます。

また、不納欠損額は880万5,000円と、前年度比932万5,000円と比較すると52万減少しているということでございます。

今後とも減少するよう努力されることを要望したいと思います。

また、ここに見ますと、特に財政力指数を見ますと、町民のための行政を運営するための基準財政需要額から基準財政収入額を差し引くと、町の安定な行政を運営するために自主財源が約4割、依存する財源が約6割であります。いずれにしても、これからは国からの補助金に頼るところが大いにあると思います。

今後、大多喜町は将来、過疎化、人口減少を考えると非常に心配するところでございます。町の職員は、私は大変優秀な方が大変いると思います。今までどおり事業実施するための

国・県からの補助金等を十分研究し、事業運営の資金調達に今まで以上の努力をお願いしたいと思います。

9月4日に、令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定の提案説明がございました。これに対して、私なりの意見と考えを述べたいと思います。

令和5年度は、ようやく終息の兆しが見えた新型コロナウイルス感染症対策や、ウクライナ、ロシアの戦争など不安定な国際情勢を受け、円安などによる物価高騰への対策、加えて台風13号に伴う豪雨による局所激甚災害の指定を受けるほどの災害が発生し、町の安全・安心を守るため大変な年であったと思います。

まだ中途であります。町道や河川、農業施設の災害復旧は道半ばであり、迅速な対応をお願いいたします。

また、物価高騰に対する町民や事業者への経済対策の実施、観光施設、教育施設及び公共施設の改修、町道や排水の整備等、町民の生活環境の向上に向けた各事業も実施され、その成果は評価できます。

特に、台風13号で大変な被害を受けながら、担当課職員の皆様の休日返上してまでの復旧作業に対して、改めて感謝申し上げたいと思います。当町は昔から災害が多く、先人の職員の皆様から受け継いだ災害に対しての心構えがしっかりできていたのではないかと思います。まだ修復できていないところがあると思いますが、一日でも早い原状復帰ができることをお願い申し上げます。

また、監査委員審査意見及び基金の運用の報告があり、地方公共団体の財政健全化に基づく各指標や経済収支比率等、各種財政指標においても良好な状態が保てているとのことでございます。また、将来負担比率は早期健全化基準を大きく下回り、県内でも低い数字を保っているということでございます。

今後もこの低水準を保つよう職員の努力をお願いいたしますとともに、健全な財政運営の継続、維持をお願いしたいと思います。

一方、令和5年度の前年度、前々年度同様に、多くの事業が翌年度へ繰越しされております。その多くが災害復旧事業や災害の影響を受けたことにより、やむを得ない理由と認識していますが、計画に沿った事業実施に努めるようお願いいたします。

また、10日から11日まで常任委員会で詳細な説明を受け、質疑を行いました。

また、12日の現地調査では、大部分の事業が計画どおり実施されておりましたが、産地育成事業の現場を見て気になることがありました。

実は、横山の中田耕地地先のハーブパークの現地をよく見て、大変驚いたのでございます。ハーブの葉の中に雑草がはびこって、その雑草を取るのに大変だと思いました。また、このパークの周りの環境、そして地質、これらの管理するにはどうしたらよいか、事業の見直しが必要ではないかと思いました。担当課職員の皆さんも、何とか成功させたい気持ちは分かりますが、現場の現況を見ますと、早く結論を出したほうがよいのではないかと思いました。執行部の事業計画を再考していただき、結論を出していただきたいと望みます。

最後に、町民の行政に対する要望等は多岐にわたります。それらの全ての早期の対応は難しいのは理解しておりますが、計画的に可能な限り対応していただきたいと思います。

今まで何点か申し上げましたが、令和5年度は大きな災害の被害を受けましたが、災害復旧をはじめ、町民のための安全・安心な生活実現に向けた様々な施策が実施されていることから、令和5年度一般会計歳入歳出決算認定を承認する賛成討論といたします。

以上でございます。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに討論ありませんか。

反対者の討論はありませんか。

（発言する者なし）

○議長（渡邊泰宣君） なし。

それでは、賛成者の討論がありますので許します。

○5番（根本年生君） 根本です。議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定において、賛成の立場から討論させていただきます。

前年度は9月に大変な災害復旧があったと、本当に大変な災害だったと思います。その中において、当初予定していた予算の執行が多分思うようになかった面も多々あるのではなかろうかと思えますけれども、決算の内容を見せていただいたことで、いろんなことがありながら、事業の必要性とか効果性を適正に判断されて執行されていたことと思い感謝しております。

それで、やはり財政健全化というのが非常に大事だと思っておりますけれども、例年どおり交付税措置のある起債等有効に使って財政健全化が図られており、公共の福祉の推進がなされたものと感謝しております。

しかしながら、まだ今後、少子高齢化、地域公共交通など本当にいろいろな必要なことやらなくてはいけないことが多々あると思います。今後も町民をうまく導いていただいて、で

きるだけ町の活性化に努めていただけるよう、本当に職員数が減少する中、必要な事業が多い中、大変だと思いますけれども、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上をもって賛成の討論とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（渡邊泰宣君） ほかに討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本決算は認定することに賛成の方は挙手願ひます。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第47号 令和5年度大多喜町一般会計歳入歳出決算認定については認定することに決定しました。

◎議案第48号の質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第2、議案第48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定についての質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本決算は認定することに賛成の方は挙手願ひます。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第48号 令和5年度大多喜町鉄道経営対策事業基金特別会計歳入歳出決算認定については認定することに決定しました。

◎議案第49号の質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第3、議案第49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(渡邊泰宣君) 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(渡邊泰宣君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本決算は認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第49号 令和5年度大多喜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定については認定することに決定しました。

◎議案第50号の質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第4、議案第50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本決算は認定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（渡邊泰宣君） 挙手全員です。

したがって、議案第50号 令和5年度大多喜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定については認定することに決定しました。

ここでしばらく休憩します。

なお、10時50分から再開します。

（午前10時37分）

○議長（渡邊泰宣君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時00分）

◎議案第51号の質疑、討論、採決

○議長（渡邊泰宣君） 日程第5、議案第51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についての質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(渡邊泰宣君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本決算は認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第51号 令和5年度大多喜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定については認定することに決定しました。

◎議案第52号の質疑、討論、採決

○議長(渡邊泰宣君) 日程第6、議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定についての質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(渡邊泰宣君) 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(渡邊泰宣君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定についてを採決します。

本決算は認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○議長(渡邊泰宣君) 挙手全員です。

したがって、議案第52号 令和5年度大多喜町水道事業会計決算認定については認定することに決定しました。

◎休会について

○議長（渡邊泰宣君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

お諮りします。

本定例会は、議事の都合により、明日18日から12月31日まで休会したいと思います。

これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（渡邊泰宣君） 異議なしと認めます。

よって、明日18日から12月31日まで休会とすることに決定いたしました。

◎散会の宣告

○議長（渡邊泰宣君） 本日はこれをもって散会とします。

お疲れさまでした。

（午前11時03分）

会議の経過を記載し、その相違ない事を証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長 渡 邊 泰 宣

署 名 議 員 吉 野 僖 一

署 名 議 員 山 田 久 子